

令和 7 年 1 2 月 2 4 日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

報告事項

資料①

番号	件 名	主 管 課	
1	山口県文化財専門員の採用選考試験の結果について	教育政策課	p. 2
2	令和7年度山口県学力定着状況確認問題の結果について	義務教育課	p. 3
4	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について	学校安全・ 体 育 課	p. 4 8

報告事項 1

山口県文化財専門員の採用選考試験の結果について

1 選考日程

- (1) 募 集 令和 7 年 8 月 1 日(金)～9 月 1 8 日(金)
- (2) 第 1 次選考 令和 7 年 1 0 月 1 4 日(火) … 書類選考
- (3) 第 2 次選考 令和 7 年 1 1 月 2 3 日(日) … 面接試験、職位審査
- (4) 採用予定日 令和 8 年 4 月 1 日

2 応募・合格者数

応 募 者	第 1 次選考合格者	最終合格者
2 名	2 名	1 名

3 参考

(1) 職務内容

山口県知事部局（主に観光スポーツ文化部文化振興課）、山口県埋蔵文化財センター（指定管理）、山口県立山口博物館において、埋蔵文化財等に関する業務その他の行政事務に従事。

- 埋蔵文化財の保護・活用
- 埋蔵文化財の発掘調査の指導・調整
- 考古資料（遺構、遺物）等に関する調査研究、資料収集、展示、教育普及、研究発表等
- その他、文化財保護行政に関すること

(2) 応募資格

次のいずれにも該当する者。

- ア 昭和 5 6 年（1981 年）4 月 2 日以降に生まれた者
- イ 大学又は大学院で考古学又は文化財学を専攻又は研究した者で、大学院の修士課程修了（令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者を含む。）又は、同等の研究経験・実務経験を有する者
- ウ 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）に定める学芸員の資格を有する者（令和 8 年 3 月 31 日までに資格取得見込みの者を含む。）

令和 7 年度
山口県学力定着状況確認問題
～結果報告資料～

令和 7 年 1 1 月

山口県教育庁義務教育課

目 次

I	実施概要	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P	5
II	教科の問題に関する結果	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P	7
III	児童生徒質問調査の結果	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P	18
IV	学力向上に向けた今後の取組	・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P	47

I 実施概要

1 目 的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。さらに、C B T*¹で実施することにより、児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力*²、デジタル読解力等の資質・能力の育成を図る。

* 1 C B T…Computer Based Testing の略。コンピュータで実施する調査のこと。

* 2 情報活用能力…本調査をC B Tで実施することで児童生徒に育成できる力の一つ
「情報技術は人々の生活にますます身近なものとなっていくと考えられるが、そうした情報技術を手段として学習や日常生活に活用できるようにしていくことも重要」

「情報活用能力は、各教科等の学びを支える基盤であり、これを確実に育んでいくためには、各教科等の特質に応じて適切な学習場面で育成を図ることが重要」

「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編（平成 29 年 7 月）」

「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編（平成 29 年 7 月）」

2 実施期間

令和 7 年 10 月 10 日（金）～10 月 15 日（水）小学校第 6 学年、中学校第 2 学年

令和 7 年 10 月 15 日（水）～10 月 17 日（金）小学校第 5 学年、中学校第 1 学年

※ 学校の実情に応じて、各期間で実施することとし、一日の実施教科数、実施教科の順序等は、各学校が定める。

3 実施内容

（1）実施対象等

学 年		実施人数	内 容（時 間）
小学校	第 5 学年	9, 3 5 7 人	国語、算数(各 40 分)及び質問
	第 6 学年	9, 7 7 3 人	国語、算数(各 40 分)及び質問
中学校	第 1 学年	9, 2 0 9 人	国語、数学(各 45 分)及び質問
	第 2 学年	9, 1 7 0 人	国語、数学、英語(各 45 分)及び質問

（2）教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題（1 問）を出題する。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

(3) 質問調査について

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

【データの処理について】

○各学年の実施人数について

・教科調査及び質問調査を実施した児童生徒数の最大値を示している。

○平均正答率の算出方法について

・問題を実施した全ての児童生徒の解答結果から算出している。

Ⅱ 教科の問題に関する結果

1 結果概要

(1) 平均正答率

①小学校

	国 語	算 数
第 5 学年	5 6 . 1 %	3 5 . 1 %
第 6 学年	5 5 . 3 %	5 0 . 4 %

②中学校

	国 語	数 学	英 語
第 1 学年	6 1 . 7 %	5 2 . 8 %	
第 2 学年	6 2 . 2 %	4 0 . 2 %	4 4 . 6 %

(2) 各教科における成果と課題

成果…指導改善や学習改善が図られていると判断できるもの

○過去の調査で出題された類似問題と比較して、正答率が伸びていたり、解答類型に望ましい変化が見られたりした問題

課題…引き続き指導改善や学習改善が必要であると判断できるもの

●過去の調査で出題された類似問題と比較して、正答率が伸びていなかったり、解答類型に望ましい変化がなかったりした問題

※過去の調査…全国学力・学習状況調査、4月確認問題、県学力定着状況確認問題

小学校国語

成果	課題
○情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと ・該当問題 第 6 学年 設問 2 (2) 正答率 83.6% ・過去の類似問題 R 7 全学調第 6 学年 大問 1 (2) 正答率 64.9% (山口県) 63.1% (全国)	●引用しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること ・該当問題 第 5 学年 設問 3 (3) 正答率 24.5% ・過去の類似問題 R 6 全学調第 6 学年 設問 1 (2) 正答率 26.1% (山口県) 26.7% (全国)

小学校算数

成果	課題
○百分率で表された割合を使ってもとにする量を求めること ・該当問題 第 6 学年 設問 3 (1) 正答率 60.4% ・過去の類似問題 R 7 全学調第 6 学年 設問 4 (4) 正答率 36.5% (山口県) 40.9% (全国)	●グラフから必要な情報を読み取り、その根拠について説明すること ・該当問題 第 5 学年 設問 5 (2) 正答率 9.9% ・過去の類似問題 R 7 県 4 月確認問題第 5 学年 設問 4 正答率 39.6% (山口県) ●伴って変わる二つの数量の関係を口を使った式に表すこと ・該当問題 第 5 学年 設問 2 正答率 14.1%

中学校国語

成果	課題
○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること ・該当問題 第2学年 設問2 (1) 正答率 82.2% ・過去の類似問題 R 6 全学調第3学年 設問1 (3) 正答率 42.8% (山口県) 44.0% (全国)	●根拠を明確にしながら、説明や具体例を加えるなどして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること ・該当問題 第2学年 設問3 (3) 正答率 38.7% ・過去の類似問題 R 7 全学調第3学年 設問1 (4) 正答率 33.1% (山口県) 31.0% (全国)

中学校数学

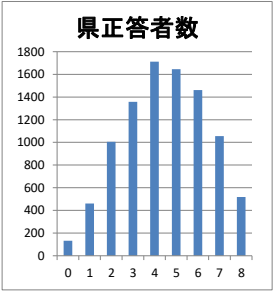
成果	課題
○立体の見取図の特徴を理解していること ・該当問題 第1学年 設問4 正答率 83.0% ・過去の類似問題 H28 全学調第3学年 設問5 (3) 正答率 80.5% (山口県) 78.8 (全国)	●整数の性質を文字式を用いて説明すること ・該当問題 第2学年 設問3 正答率 16.5% ・過去の類似問題 R 7 全学調第3学年 設問6 (2) 正答率 23.7% (山口県) 25.7% (全国)

中学校英語

成果	課題
○日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること ・該当問題 第2学年 設問1 (1) 正答率 58.9% ・過去の類似問題 R 5 全学調第3学年 設問2 正答率 56.4% (山口県)	●文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと ・該当問題 第2学年 設問6 (2) 正答率 17.1% ・過去の類似問題 R 6 県学力定着状況確認問題 第2学年 設問6 (2) 正答率 8.2%

小学校第5学年 国語

分類・区分別設問数			全体平均正答率 56.1%	
分類	区分		対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能		2	66.8
		話すこと・聞くこと	2	66.4
	思考力、判断力、表現力等	書くこと	2	41.8
		読むこと	2	49.2
評価の観点	知識・技能		2	66.8
	思考・判断・表現		6	52.5
問題形式	選択式		5	62.5
	短答式		2	55.6
	記述式		1	24.5

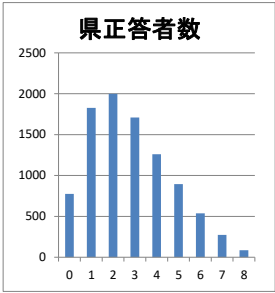


設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（令和7年度全国国語学力・学習状況調査）	県全体正答率（%）
					知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1	(1)	①	目的に応じて、文章と文章を結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができるかをみる。	5				○	○	○				小5_読む_07_☆やまぐちっ子プラス 読むこと1	3三(1)	53.4
1	(2)	②	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要点を捉えることができるかをみる。	4				○	○	○		○				45.0
2	(1)	③	話合いの目的に応じて、共に考えたいことは何かを踏まえ、情報を相手から引き出すことができるかをみる。	5		○				○	○				1三(1)	66.6
2	(2)	④	情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかをみる。	5	○				○		○			小5_話すこと聞くこと（話合い）☆やまぐちっ子プラス 話すこと聞くこと	1二	73.9
2	(3)	⑤	話全体の構成を考えて捉え、話の内容を明確にすることができるかをみる。	4		○				○		○				66.2
3	(1)	⑥	文章全体の構成について捉えることができるかをみる。	5			○			○	○				2一	59.1
3	(2)	⑦	修飾と被修飾の関係について理解できるかをみる。	4	○				○		○			小5_書く_07_☆やまぐちっ子プラス 書くこと1		59.6
3	(3)	⑧	引用しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるかをみる。	5			○			○			○		2二	24.5

小学校第5学年 算数

分類・区分別設問数		全体平均正答率 35.1%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	2	50.8
	図形	2	47.5
	変化と関係	2	26.1
	データの活用	2	16.0
評価の観点	知識・技能	6	38.8
	思考・判断・表現	2	24.1
問題形式	選択式	3	44.4
	短答式	4	34.4
	記述式	1	9.9

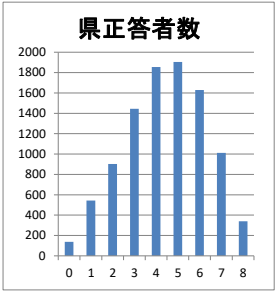


設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容	評価の観点	問題形式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（小学校6年度全国学力・学習状況調査問題（令和7年度全国学力・学習状況調査））	県全体正答率（％）					
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能				思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1		①	重さと値段を基に、重さをそろえてから値段を比べ、何倍の関係になっているかを求めることができる。	4		○		○	○			小4_変化と関係_17		38.2	
2		②	伴って変わる二つの数量の関係を口を使った式に表すことができる。	4		○		○		○		小4_変化と関係_12_変わり方		14.1	
3	(1)	③	対応する辺の長さを基に、正方形の面積を求めることができる。	4		○		○		○		小4_図形_09_面積		33.1	
3	(2)	④	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基にとらえ、比べることができる。	4		○		○		○		小4_図形_09_面積		62.0	
4	(1)	⑤	分数の意味を理解し、数直線上に表すことができる。	4	○			○			○	小4_数と計算_05_分数	3 (2)	40.9	
4	(2)	⑥	四則の混合した式について理解し、正しく計算することができる。	4	○			○			○	小4_数と計算_07_式と計算の順じよ		60.6	
5	(1)	⑦	上から2桁の概数の意味を理解し、適切な数値で表すことができる。	4				○	○			○	小4_数と計算_02_およその数		22.0
5	(2)	⑧	グラフから必要な情報を読み取り、その根拠について考察することができる。	4				○		○		○	小4_変化と関係_23_割合	1 (2)	9.9

小学校第6学年 国語

分類・区分別設問数		全体平均正答率 55.3%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	2	54.5
	話すこと・聞くこと	2	66.0
	思考力、判断力、表現力等	2	53.6
	書くこと	2	47.1
評価の観点	知識・技能	2	54.5
	思考・判断・表現	6	55.5
	読むこと	2	71.9
問題形式	選択式	4	71.9
	短答式	3	38.5
	記述式	1	38.9

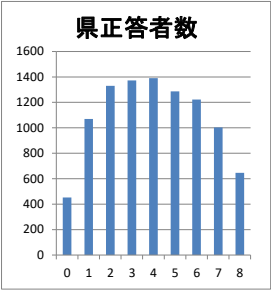


設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（令和7年度小学校6年度全国国語） 学習状況	県全体正答率（%）
					知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1	(1)	①	目的に応じて、文章と文章を結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。	5				○	○	○				小5_読む_07_☆やまぐちっ子プラス 読むこと1	3三(1)	68.9
1	(2)	②	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要点を捉えることができるかどうかをみる。	4				○	○			○				25.3
2	(1)	③	話合いの目的に応じて、共に考えたいことは何かを踏まえ、情報を相手から引き出すことができるかどうかをみる。	5		○				○	○				1三(1)	66.9
2	(2)	④	情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。	5	○				○		○			小5_話すこと聞くこと（話合い） ☆やまぐちっ子プラス 話すこと聞くこと	1二	83.6
2	(3)	⑤	話全体の構成を考えて捉え、話の内容を明確にすることができるかどうかをみる。	4		○				○		○				65.0
3	(1)	⑥	文章全体の構成について捉えることができるかどうかをみる。	5			○			○	○				2一	68.3
3	(2)	⑦	修飾と被修飾の関係について理解できるかどうかをみる。	4	○				○			○		小5_書く_07_☆やまぐちっ子プラス 書くこと1		25.3
3	(3)	⑧	引用しながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫できるかどうかをみる。	5			○			○			○		2二	38.9

小学校第6学年 算数

分類・区分別設問数		全体平均正答率 50.4%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	1	59.0
	図形	3	41.4
	変化と関係	3	53.0
	データの活用	1	60.5
評価の観点	知識・技能	6	50.3
	思考・判断・表現	2	50.5
問題形式	選択式	4	49.7
	短答式	3	54.5
	記述式	1	40.5

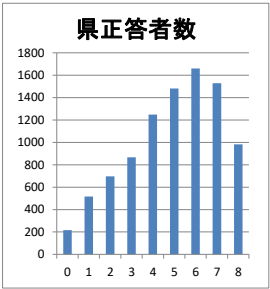


設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（小学校6年度全国学力・学習状況調査）	県全体正答率（％）
				数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
1		①	分数の通分、約分の意味を理解している。	5	○				○			○	小5_数と計算_04_分数2		3 (4)	59.0
2		②	直径と円周の関係について説明することができる。	5		○				○	○		小5_図形_09_円と正多角形2			40.5
3	(1)	③	百分率で表された割合を使ってもとにする量を求めることができる。	5			○		○			○	小5_変化と関係13_割合3		4 (4)	60.4
3	(2)	④	2つの数の関係を理解し、基準となる単位量をもとに考えることができる。	5			○		○		○		小5_変化と関係_11_単位量あたりの大きさ			54.5
3	(3)	⑤	比べる数をもとにする数の何倍にあたるかを立式することができる。	4			○		○			○	小4_変化と関係_17_割合1			44.1
4		⑥	示されたデータの中から、題意に合った情報を選択し説明することができる。	4				○		○	○		小4_データの活用_16_データの活用2			60.5
5	(1)	⑦	ひし形の定義を正しく判断することができる。	5		○			○		○		小4_図形_10_四角形2 小5_図形_06_面積3		2 (2)	43.3
5	(2)	⑧	三角形と台形の面積の求め方について説明することができる。	5		○			○			○	小5_図形_06_面積2		2 (4)	40.5

中学校第1学年 国語

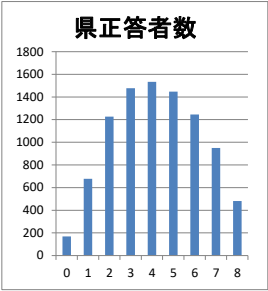
分類・区別設問数		全体平均正答率 61.7%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	3	64.4
	話すこと・聞くこと	1	70.0
	思考力、判断力、表現力等	1	55.0
	書くこと	3	58.6
評価の観点	知識・技能	3	64.4
	思考・判断・表現	5	60.1
	選択式	5	62.9
問題形式	短答式	2	62.2
	記述式	1	55.0



設問別集計結果			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（令和7年度全国学力・学習状況調査）	県全体正答率（%）
設問番号	問題番号	設問内容			知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1	(1)	① 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係をふまえながら、適切な語句を選択することができるかどうかをみる。		中1	○				○		○				3三	40.4
1	(2)	② 登場人物の行動について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。		中1				○		○	○					68.4
1	(3)	③ 文章全体の要旨について、叙述を基に捉え、把握できているかどうかをみる。		中1				○		○		○		やまぐちっ子学習プリントプラス中1 読むこと2		44.7
2	(1)	④ 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる。		中1	○				○			○				79.6
2	(2)	⑤ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えることができるかどうかをみる。		中1		○				○	○			やまぐちっ子学習プリントプラス中1 話すこと・聞くこと2		70.0
3	(1)	⑥ 接続する語句の役割について理解できるかどうかをみる。		中1	○				○		○					73.3
3	(2)	⑦ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。		中1				○		○	○				3四	62.7
3	(3)	⑧ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。		中1			○			○			○	やまぐちっ子学習プリント中1 書く	1四	55.0

中学校第1学年 数学

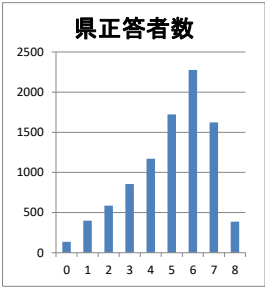
分類・区分別設問数		全体平均正答率 52.8%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と式	2	43.6
	図形	2	59.6
	変化と関係	2	59.0
	データの活用	2	49.1
評価の観点	知識・技能	4	57.6
	思考・判断・表現	4	48.1
問題形式	選択式	5	56.1
	短答式	2	51.6
	記述式	1	39.0



設問別集計結果																		
設問番号		出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容	図形	変化と関係	データの活用	評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（中学校3年度全国学力・学習状況調査）	令和7年度全国学力・学習状況調査	県全体正答率（％）	
1	①	一次式の減法の計算ができる。	中1	○				○				○		1年_文字を用いた式			44.0	
2	②	正の数・負の数を使って、条件に合う式に表すことができる。	中1	○					○		○			1年_正の数・負の数			43.2	
3	③	三角形の面積の求め方における底辺と高さの関係を理解し、2つの面積の大小を比較することができる。	小5		○				○		○			小5_面積			36.3	
4	④	立体の見取図の特徴を理解している。	小4		○				○		○			小4_直方体と立方体			83.0	
5	⑤	場合の数について求めることができる。	小6					○	○			○		小6_場合の数			59.2	
6	⑥	グラフを読み取り、比例の関係を使って求めることができる。	小6			○				○	○			小6_比例と反比例			73.7	
7	⑦	速さを比較することができる。	小5			○			○		○			小5_速さ			44.2	
8	⑧	適切な代表値を選んで、説明することができる。	小6					○		○			○	小6_資料の調べ方			39.0	

中学校第2学年 国語

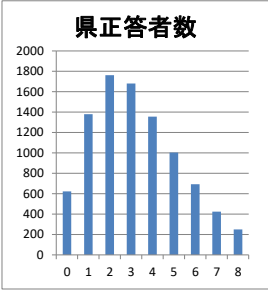
分類・区分別設問数		全体平均正答率 62.2%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	知識及び技能	3	60.3
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	73.4
		書くこと	38.7
		読むこと	68.1
評価の観点	知識・技能	3	60.3
	思考・判断・表現	5	63.3
問題形式	選択式	5	64.5
	短答式	1	82.2
	記述式	1	38.7



設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（令和7年度全国学力・学習状況調査）	県全体正答率（%）
					知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1	(1)	①	単語の類別について理解しているかどうかをみる。	中1	○				○		○			やまぐちっ子学習プリント中2言語事項2 ステップ1		22.9
1	(2)	②	叙述を基に、登場人物の行動を捉えることができるかどうかをみる。	中1				○	○			○		やまぐちっ子学習プリントプラス中1 読むこと		53.9
1	(3)	③	場面の展開をふまえ、人物像を捉えることができるかどうかをみる。	中1				○	○		○					84.5
2	(1)	④	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる。	中1	○				○			○				82.2
2	(2)	⑤	互いの立場や考えを尊重しながら話し合いの中で、結論を導くための言葉かけを読み取ることができるかどうかをみる。	中2		○				○	○			やまぐちっ子プラス 話すこと・聞くこと2		73.4
3	(1)	⑥	具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる。	中2	○				○		○					75.8
3	(2)	⑦	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。	中1				○	○		○				三四	65.9
3	(3)	⑧	根拠を明確にしながら、説明や具体例を加えるなどして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。	中1			○		○				○	やまぐちっ子学習プリント中1書く	一四	38.7

中学校第2学年 数学

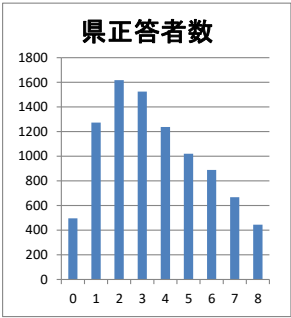
分類・区分別設問数		全体平均正答率 40.2%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
評価の観点	数と式	3	35.8
	図形	2	54.0
	関数	1	21.1
	データの活用	2	42.6
評価の観点	知識・技能	4	48.7
	思考・判断・表現	4	31.7
問題形式	選択式	5	37.9
	短答式	2	45.5
	記述式	1	41.1



設問別集計結果		主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	調査問題（令和7年度全国学力・学習状況調査）	県全体正答率（%）
設問番号	出題の趣旨		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1	① 小数を含む連立方程式が解ける	中2	○				○			○		2年_連立方程式		72.2
2	② 直方体の表面積を文字を用いて表すことができる	中2	○				○			○		2年_文字式の利用		18.8
3	③ 整数の性質を文字式を用いて説明することができる	中2	○					○	○			2年_文字式の利用	⁶ ₍₂₎	16.5
4	④ 表やグラフから数量の関係をとらえることができ、条件に合う数量を求める方法を理解している	中1			○			○	○			1年_比例・反比例	⁸ ₍₂₎	21.1
5	⑤ 特殊な立体を投影図で表すことができる	中1		○			○		○			1年_空間図形		59.8
6	⑥ 条件に合う作図の方法を説明することができる	中1		○				○	○			1年_平面図形		48.1
7	⑦ 度数分布表から平均値を求め、中央値がある階級を見つけることができる	中1				○	○		○			1年_データの活用		44.1
8	⑧ 度数を用いてデータの特徴を読み取り、問題の条件に合う説明ができる	中1				○		○		○		1年_データの活用		41.1

中学校第2学年 英語

分類・区分別設問数		全体平均正答率 44.6%	
分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	聞く	3	57.7
	読む	2	50.7
	書く	3	27.3
評価の観点	知識・技能	6	43.4
	思考・判断・表現	2	48.1
問題形式	選択式	5	54.9
	短答式	2	21.6
	記述式	1	38.6



設問別集計結果

設問番号			出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			関連するやまぐち学習支援プログラム問題	県全体正答率 (%)
					聞く	読む	書く	知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式		
1		①	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。	1	○			○			○			中1英語_02_一般動詞 (R5解説追加)	58.9
2		②	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。	1	○			○			○			中1英語_05_疑問詞で始まる疑問文	56.8
3		③	まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ることができる。	2	○				○		○			中1英語_07_命令文 (R5解説追加) 中2英語_01_未来の文 (R4改訂) 中2_02_英語接続詞 (R4改訂)	57.5
4		④	身近な話題に関する英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる。	2		○		○			○			中2英語_15_☆やまぐちっ子プラス読むこと(概要を捉える) (R4作成)	53.0
5		⑤	身近な話題に関するまとまりのある英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる。	2		○		○			○			中2英語_18_☆やまぐちっ子プラス読むこと(要点を捉える2) (R4作成)	48.5
6	(1)	⑥	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	2			○	○				○		中2英語_04_助動詞 (R4改訂)	26.2
6	(2)	⑦	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる。	1			○	○				○		中1英語_11_不規則動詞の過去形 (R4中2より移行)	17.1
7		⑧	自分の考えを整理し、まとまりのある英語の文章を書くことができる。	2			○		○				○	中1英語_16_☆やまぐちっ子プラス書くこと(学校行事の発表原稿)	38.6

Ⅲ 児童生徒質問調査の結果

小学校	中学校	質問項目
1	1	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。
2	2	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
3	3	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う。
4	4	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること（振り返り）ができていていると思う。
5	5	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。
6	6	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。
7	7	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。
8	8	やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。
9	9	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。
10	10	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
11	11	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）。
12	12	国語の勉強が好きだ。
13		算数の勉強が好きだ。
	13	数学の勉強が好きだ。
14	14	理科の勉強が好きだ。
	15	英語の勉強が好きだ。
15	16	あなたは学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。
16	17	ＩＣＴ機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
17	18	ＩＣＴ機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

18	19	自分には、よいところがあると思う。
19	20	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
20	21	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
21	22	読書は好きですか。
22	23	1ヶ月に本（漫画を除く）を何冊ぐらい読みますか。
23	24	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
24	25	（新）今住んでいる地域のことが好きですか。
25	26	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
26	27	学校で地域の大人が学ぶ姿を見て、自分もがんばろうと思ったことがありますか。
27	28	（新）将来、今住んでいる地域のために役に立つことをしたいと思いますか。
28	29	地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。
29	30	あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒になって体力向上の取組を進めていますか。

次ページからの資料の示し方

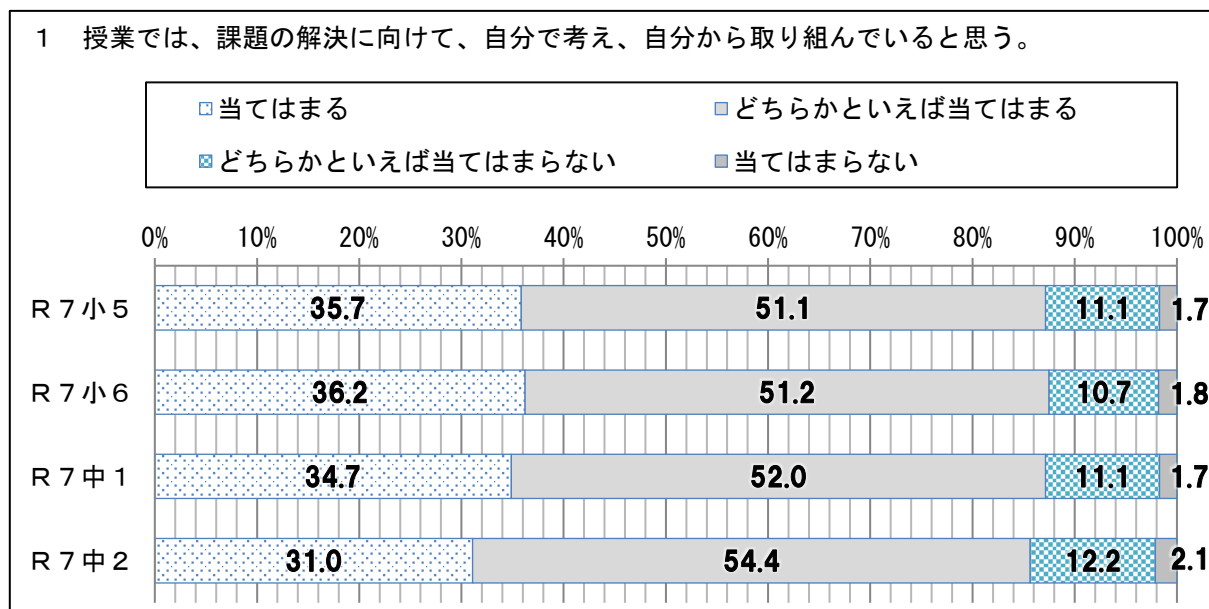
- ・ 資料上段…各質問に関する今回の調査結果
- ・ 資料下段…各質問と関連する過去の調査結果
（過去の県学力学習状況確認問題との比較）
- ・ 「やまぐちPRIDE」の醸成に関わる質問
〔小：質問18、中：質問19〕〔小：質問25、中：質問26〕 ※波線部分

質問ごとの結果（○：成果 △：一部成果 ●：課題）

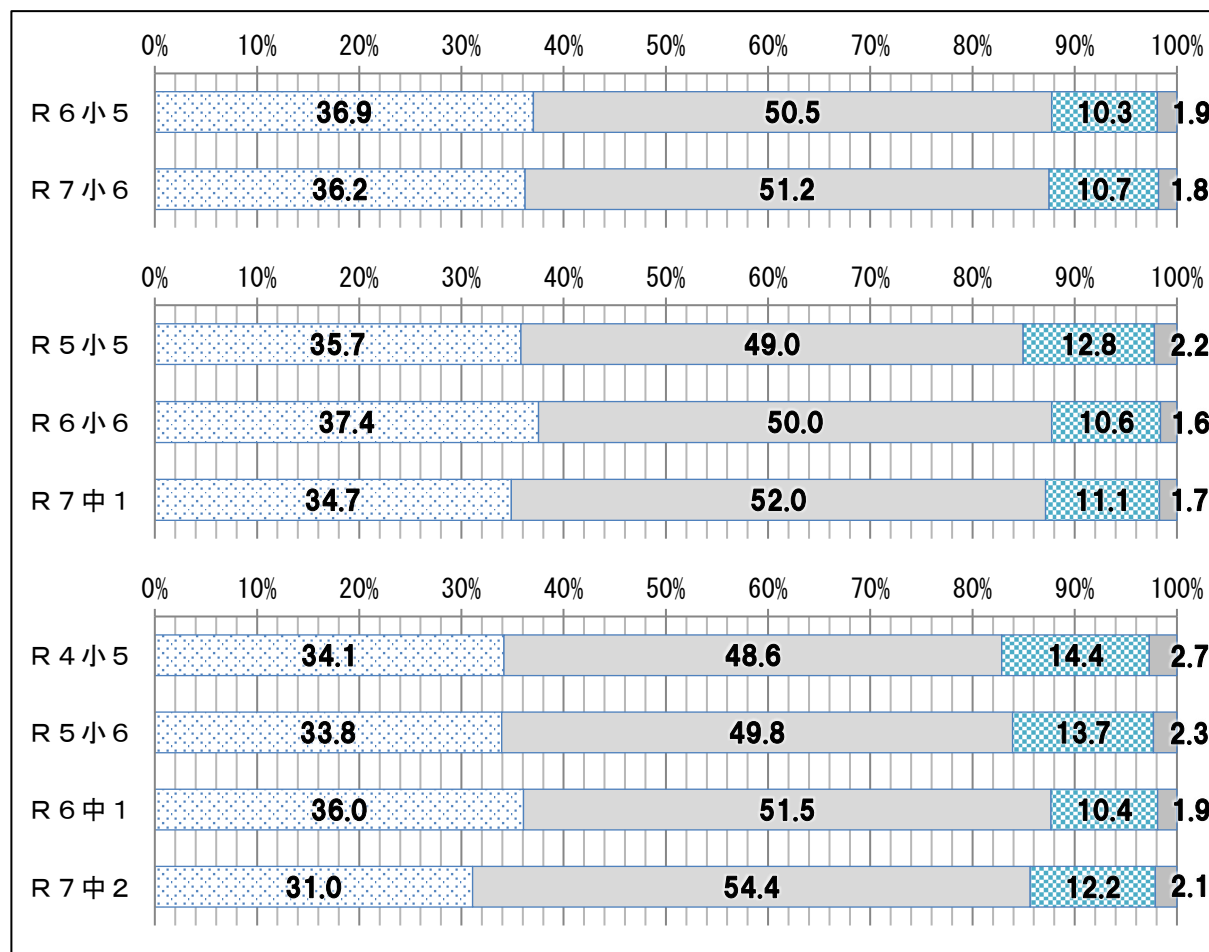
〔質問１〕授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で８０％を超えているものの、同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度よりも減少している。

【今年度調査の結果】



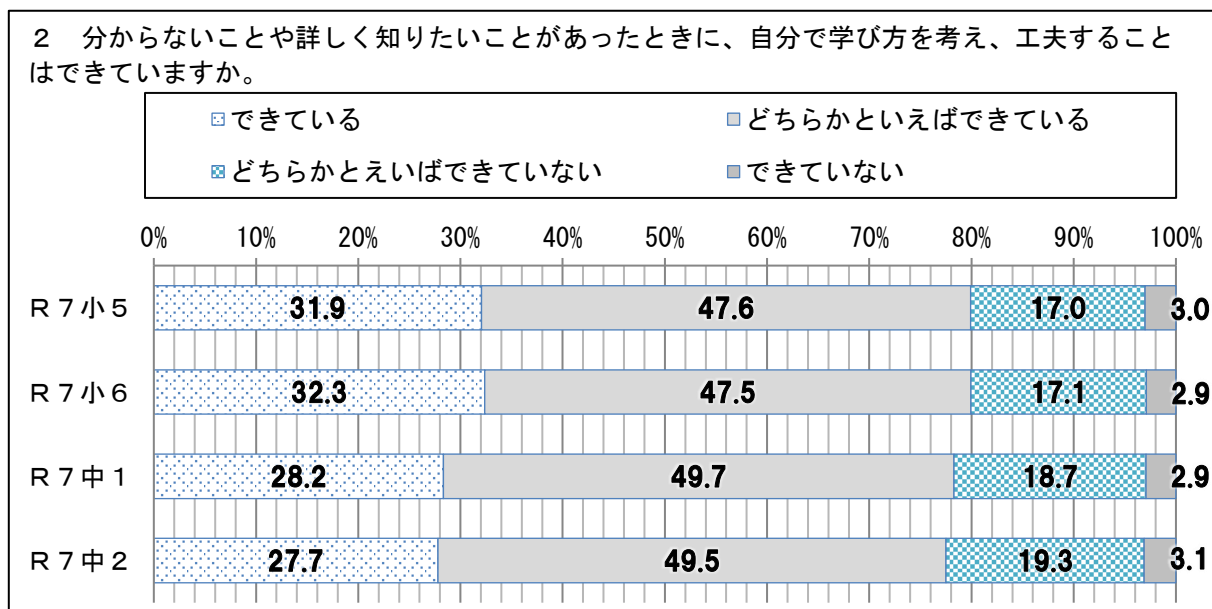
【同一児童生徒の経年比較】



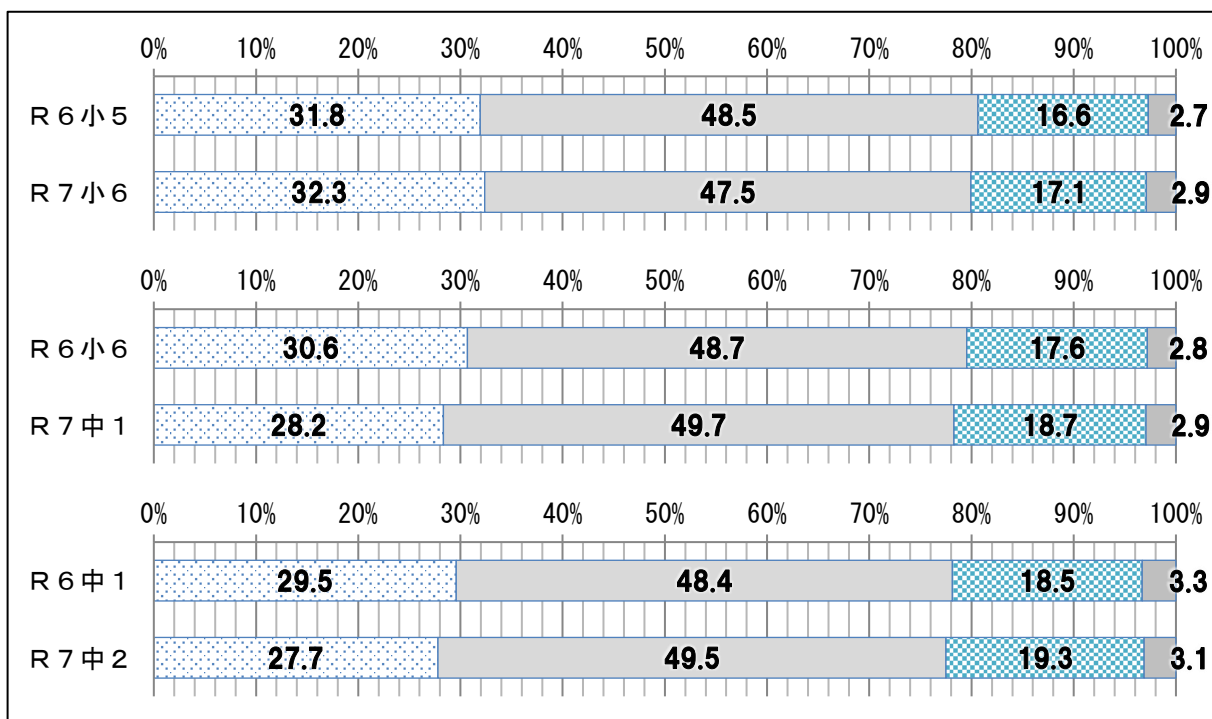
〔質問２〕 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で８０％程度であるものの、同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度よりも減少している。

【今年度調査の結果】



【同一児童生徒の経年比較】

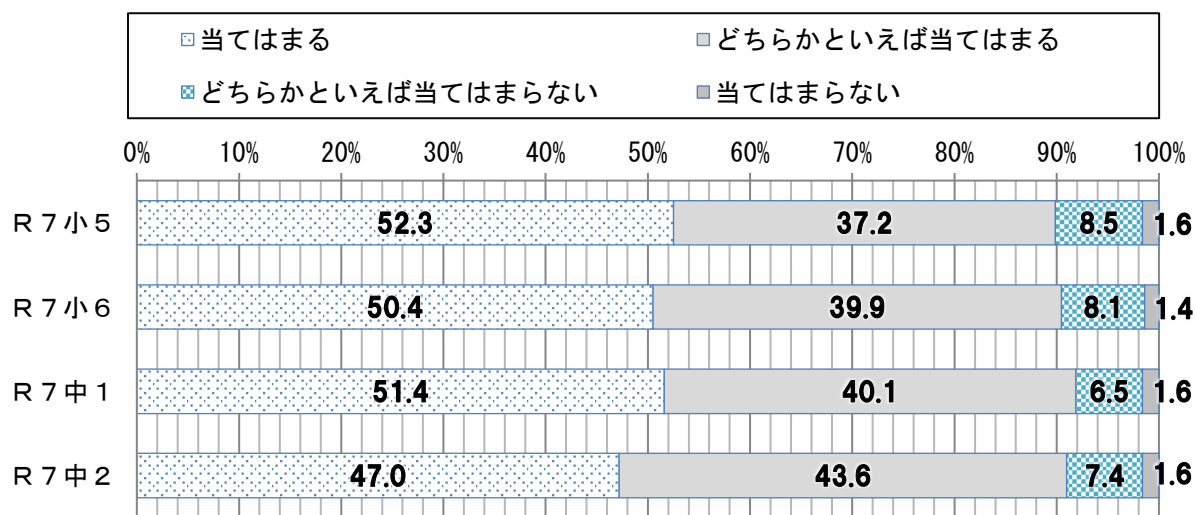


〔質問３〕学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う。

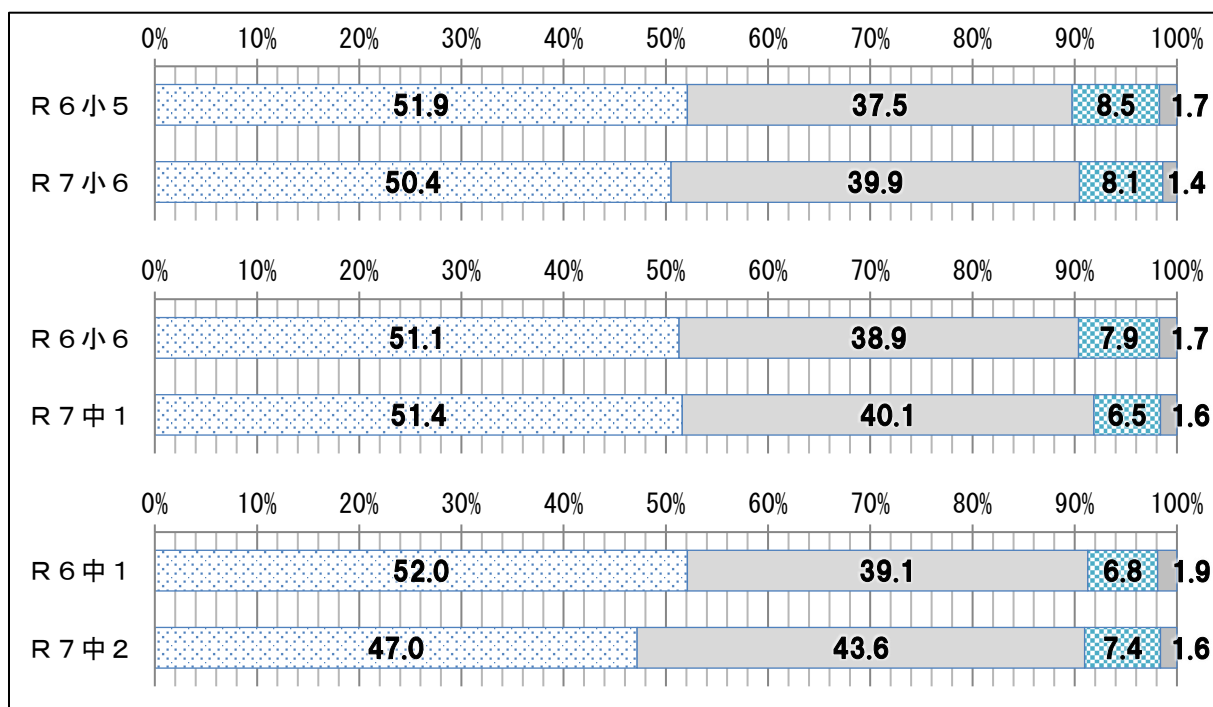
○ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で９０％程度となっている。

【今年度調査の結果】

３ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う。



【同一児童生徒の経年比較】

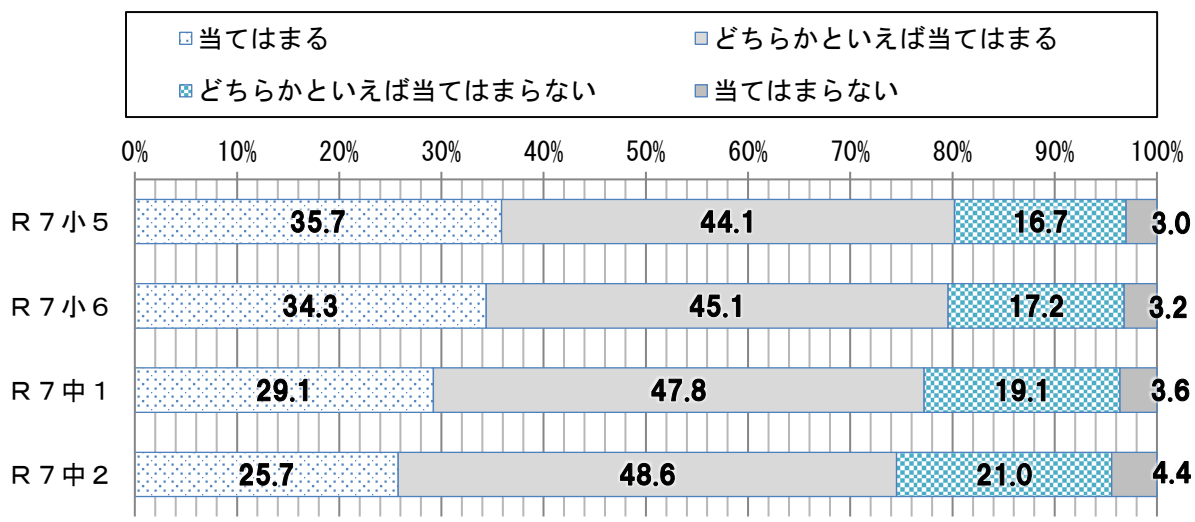


〔質問４〕学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること（振り返り）ができていると思う。

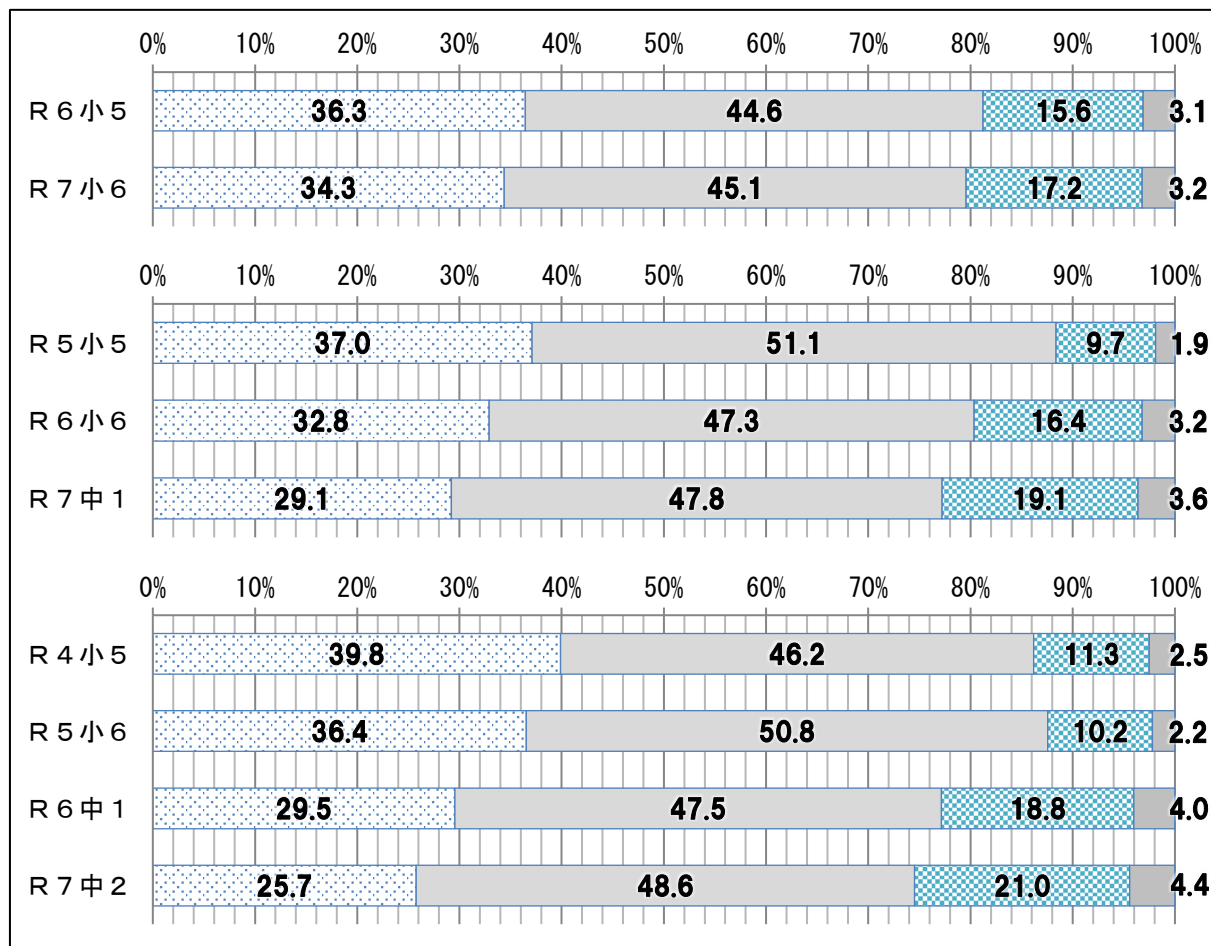
△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で８０％程度であるものの、学年が進むにつれて減少しており同一児童生徒の経年変化も昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】

４ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげること（振り返り）ができていると思う。



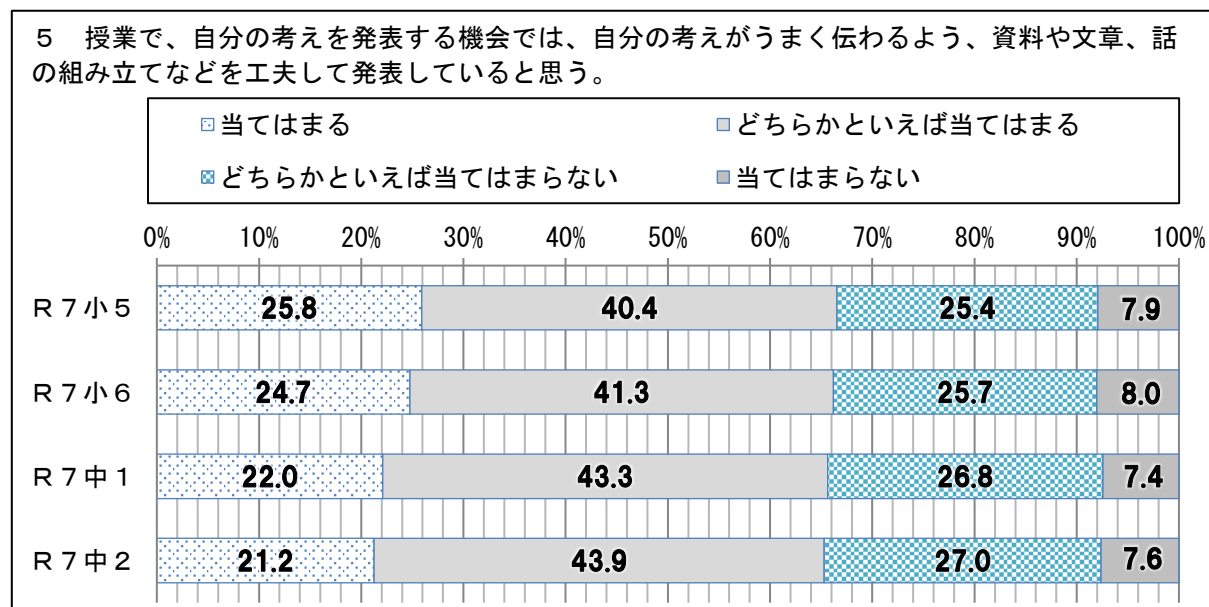
【同一児童生徒の経年比較】



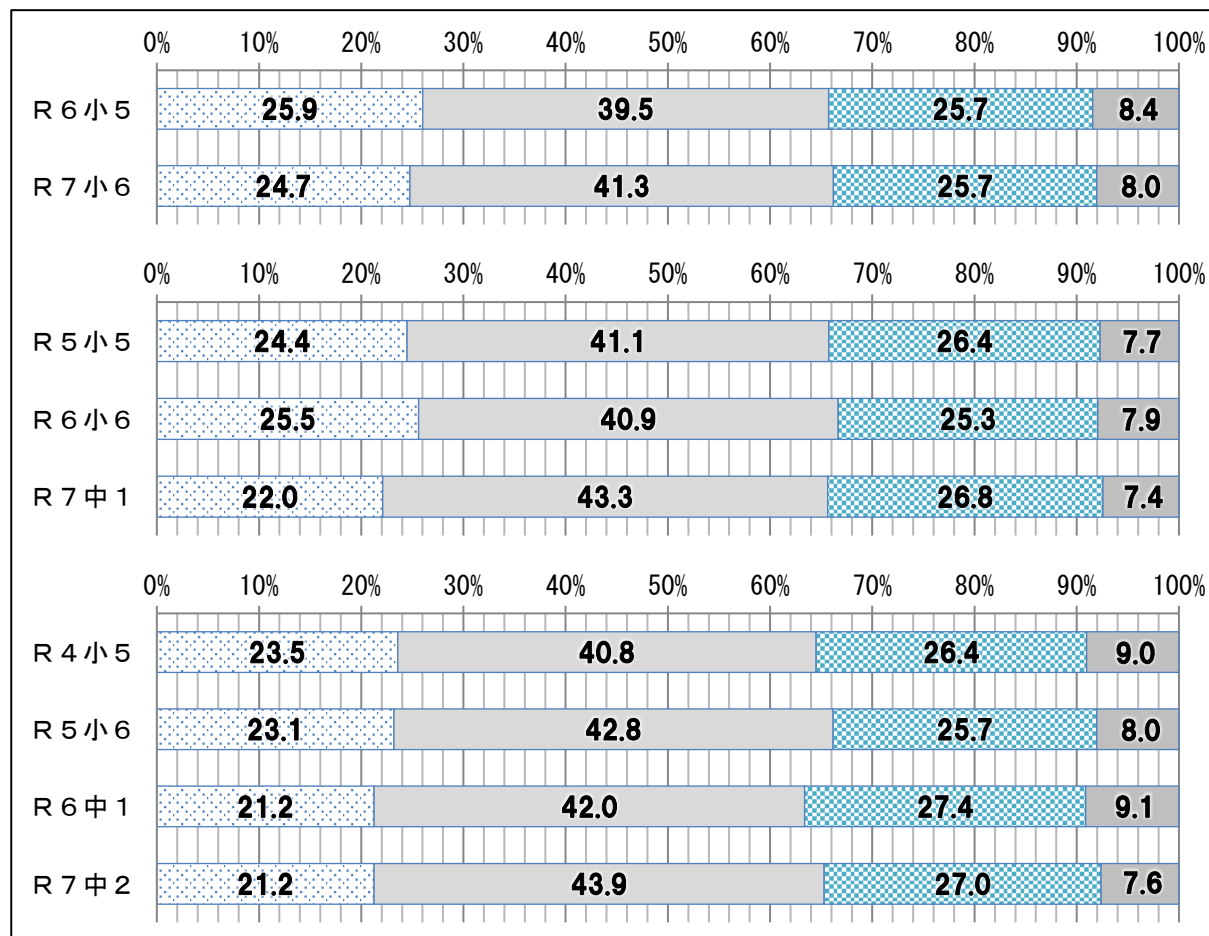
〔質問５〕授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思う。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で７０％未満となっている。

【今年度調査の結果】



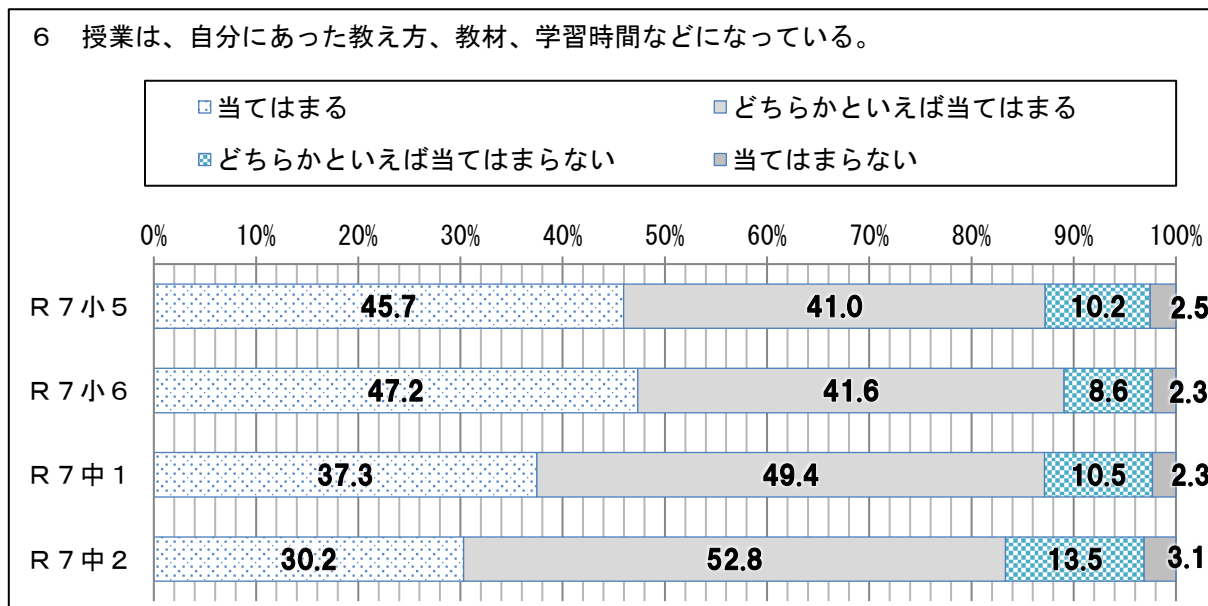
【同一児童生徒の経年比較】



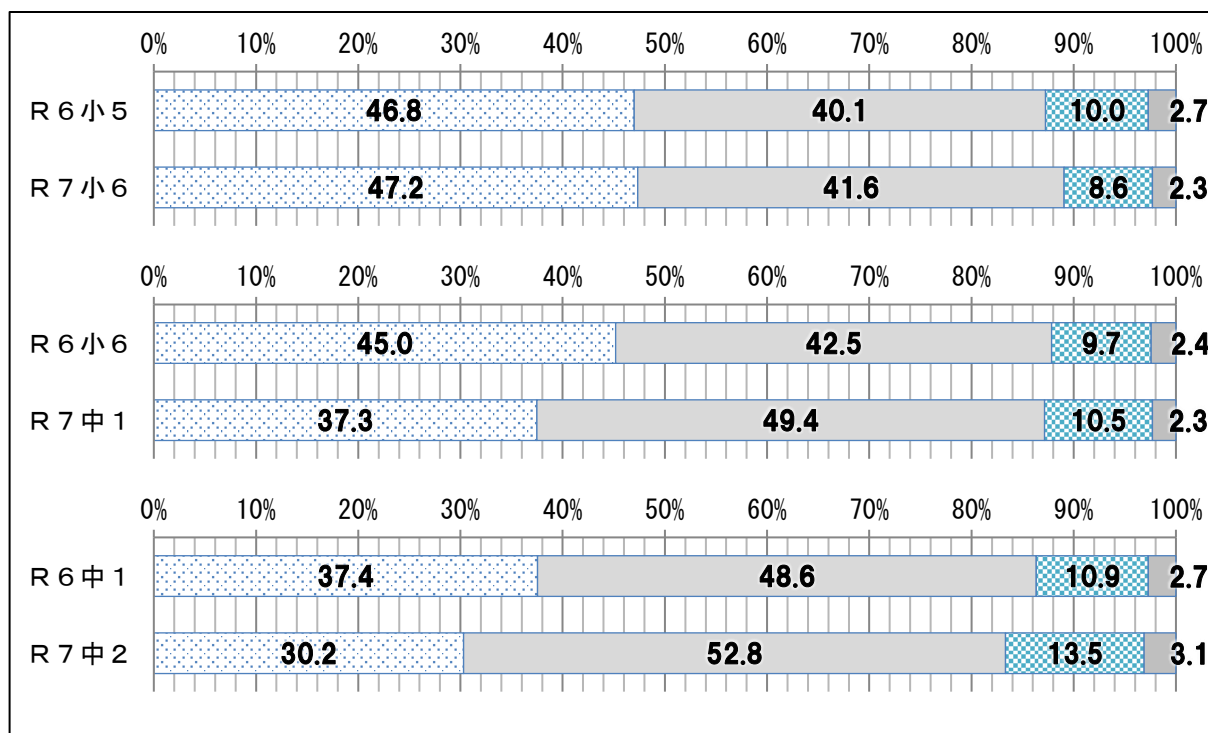
〔質問6〕授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で80%を超えているものの、同一児童生徒の経年変化を見ると中1・中2では減少している。

【今年度調査の結果】



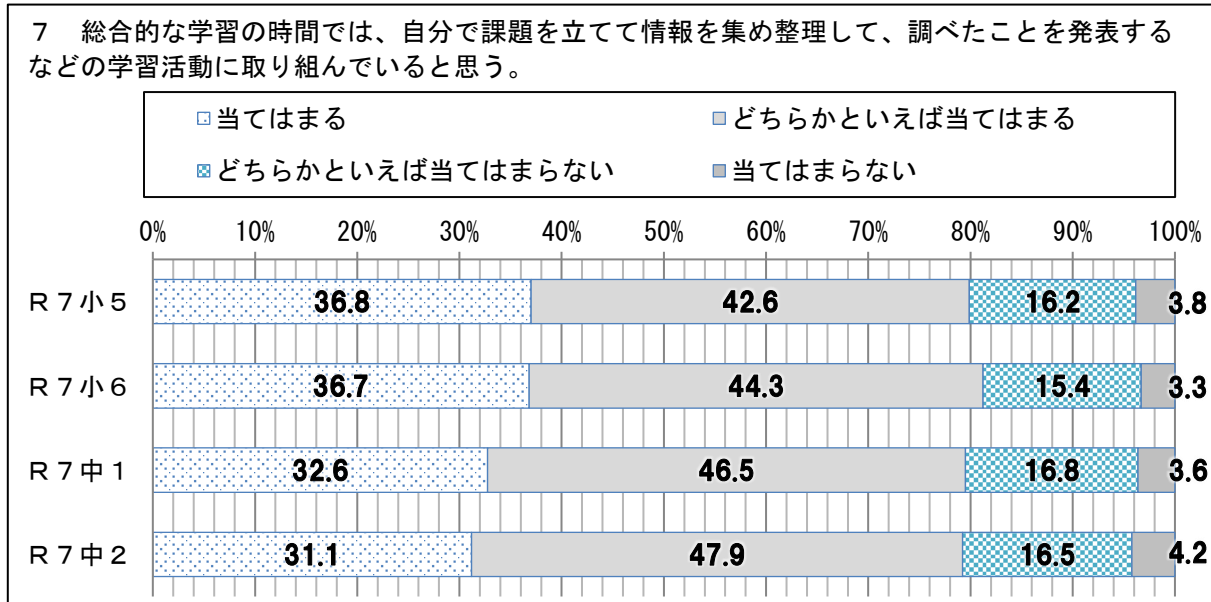
【同一児童生徒の経年比較】



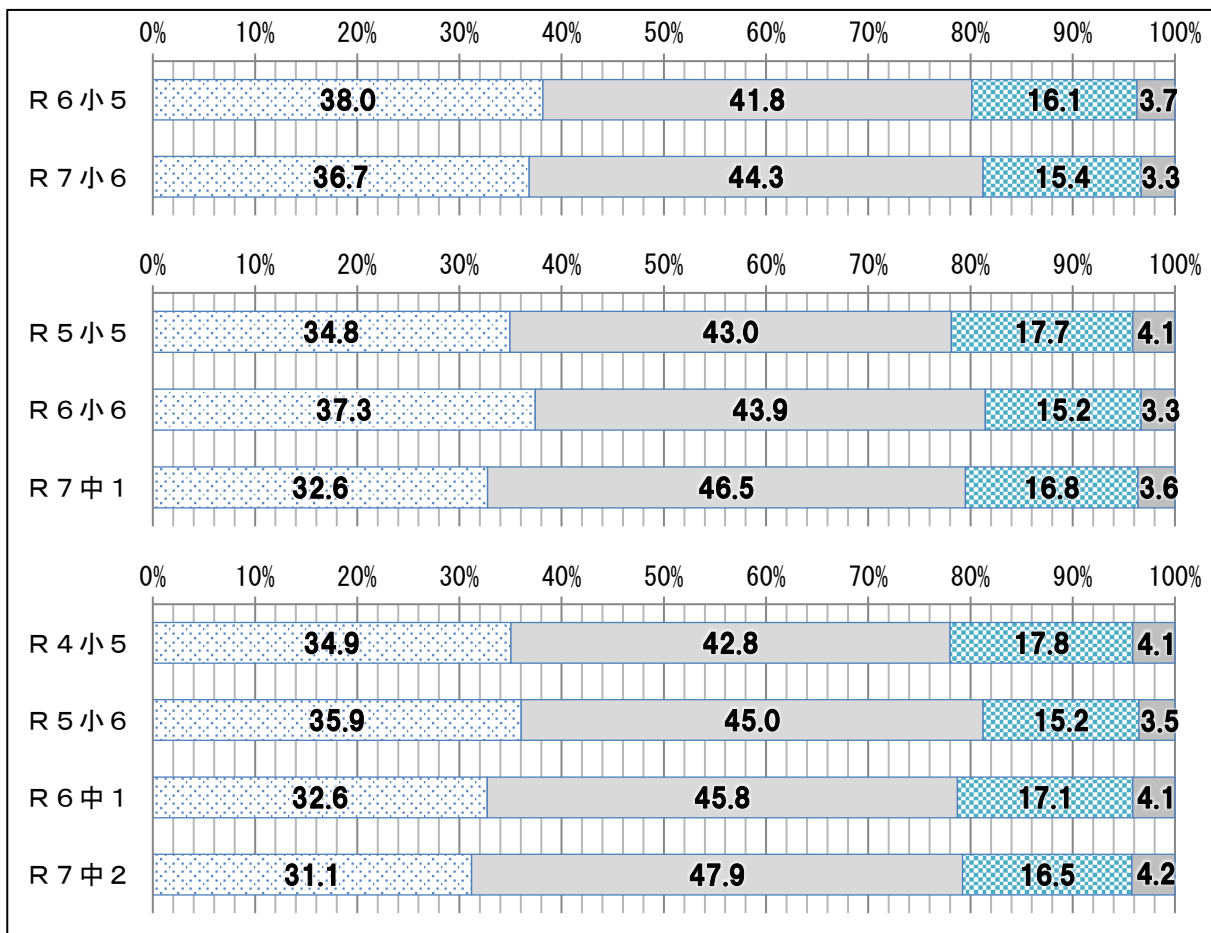
〔質問７〕総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。

△ 肯定的な回答の割合は全ての学年で８０％程度であるものの、「当てはまる」と回答した割合は同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度よりも減少している。

【今年度調査の結果】



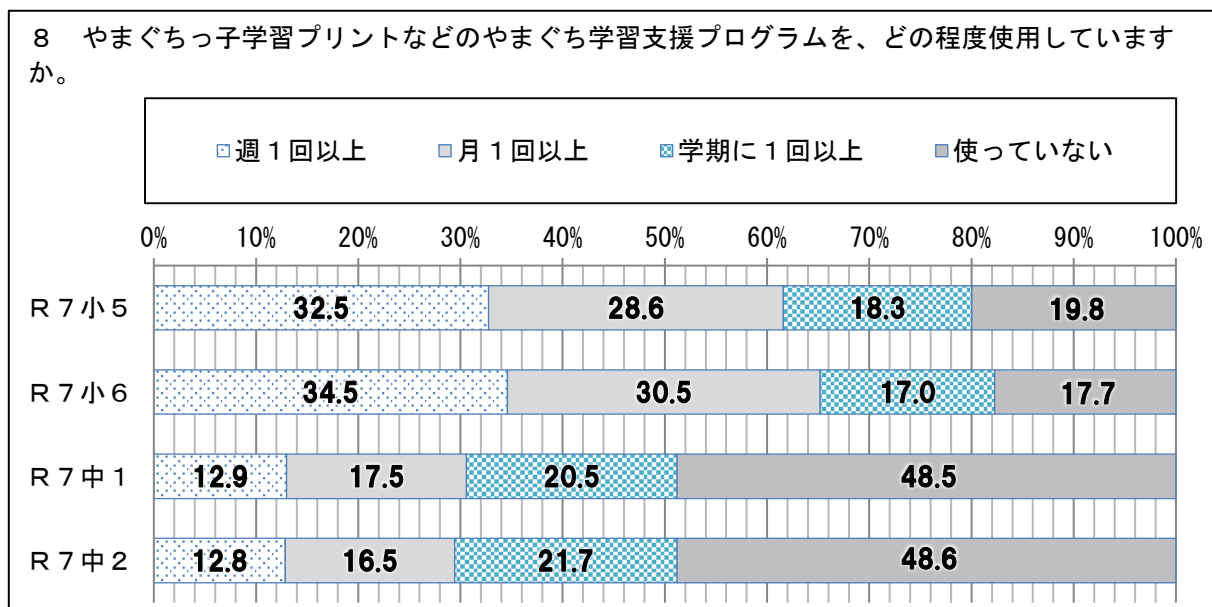
【同一児童生徒の経年比較】



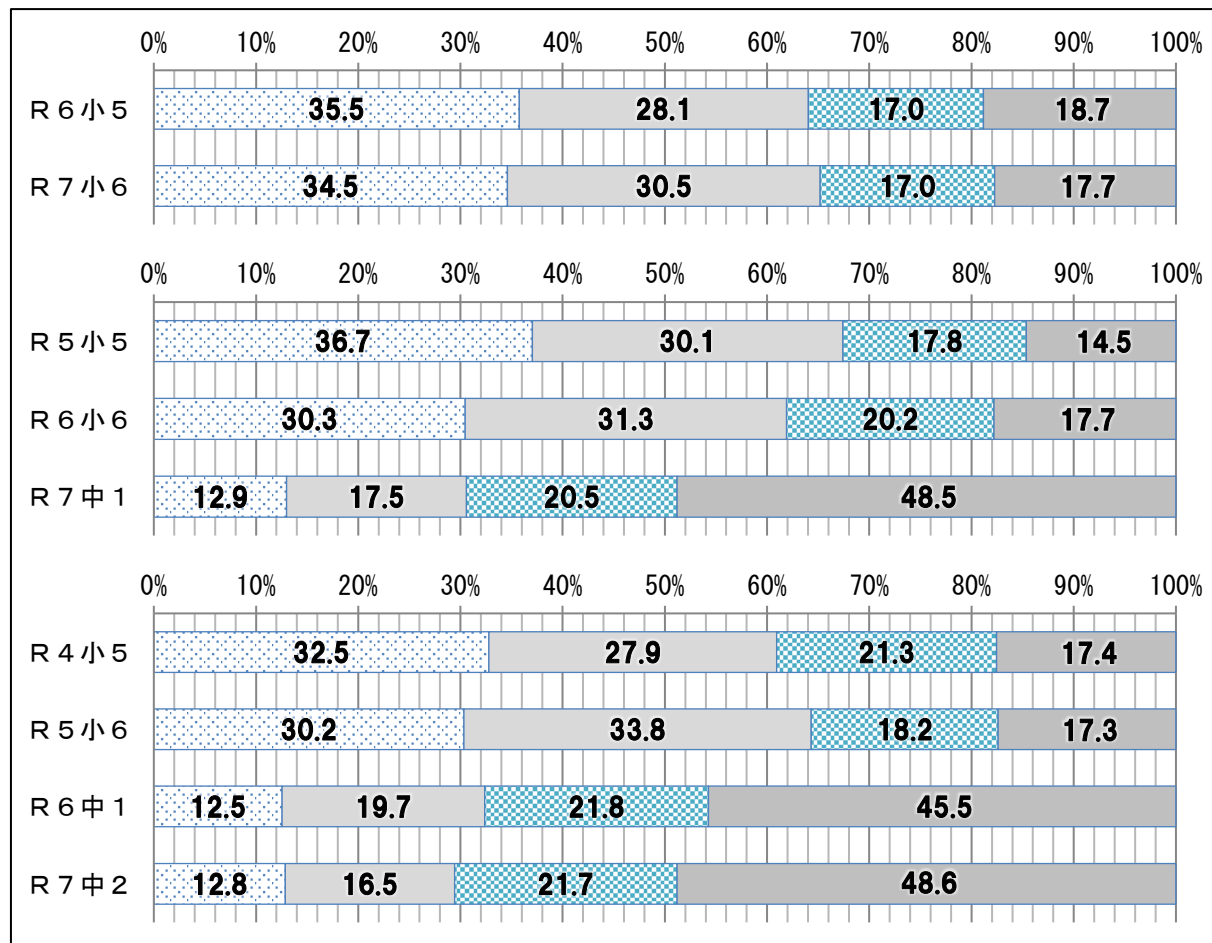
〔質問8〕やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

△ 「週1回以上」「月1回以上」と回答した割合は、小5・小6では60%を超えているが、中1・中2では約30%となっている。

【今年度調査の結果】



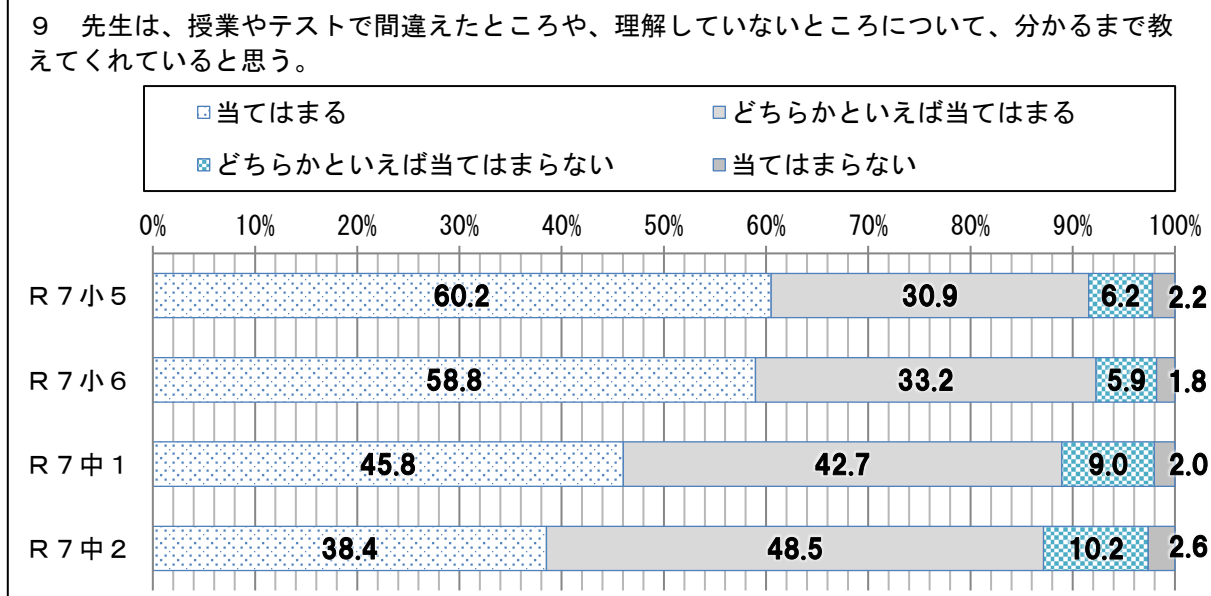
【同一児童生徒の経年比較】



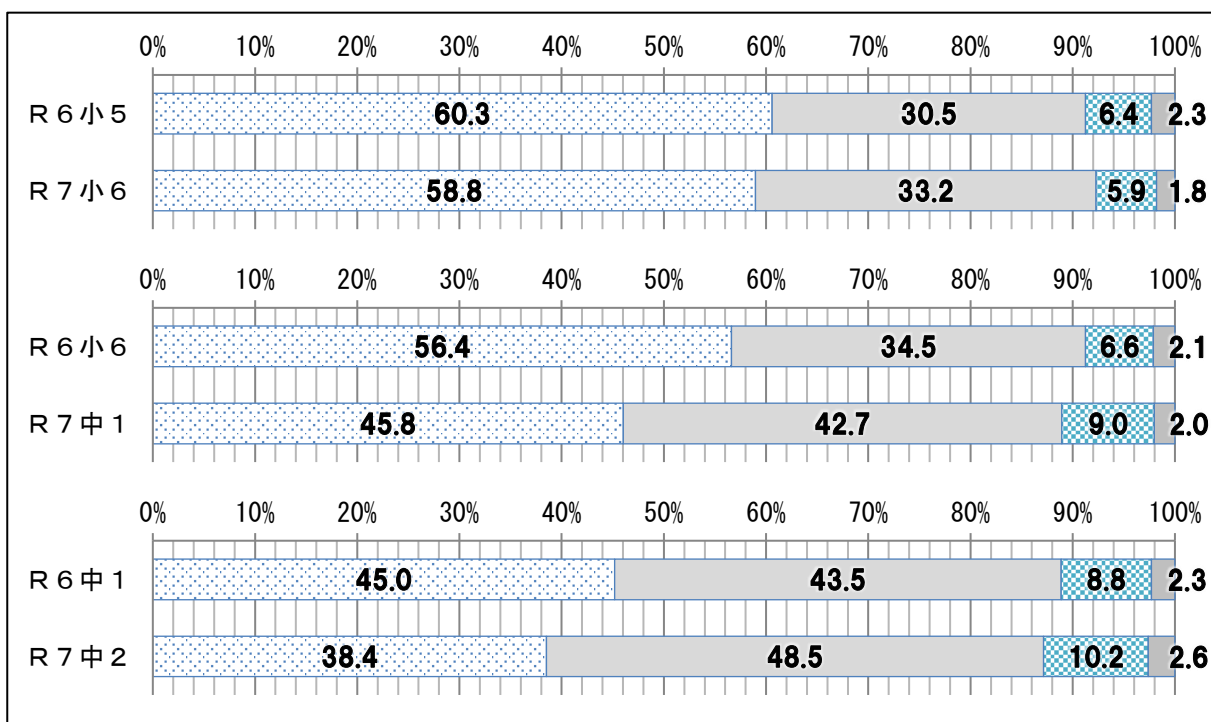
〔質問9〕先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。

△ 肯定的な回答の割合は全ての学年で90%程度であるものの、「当てはまる」と回答した割合は同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】



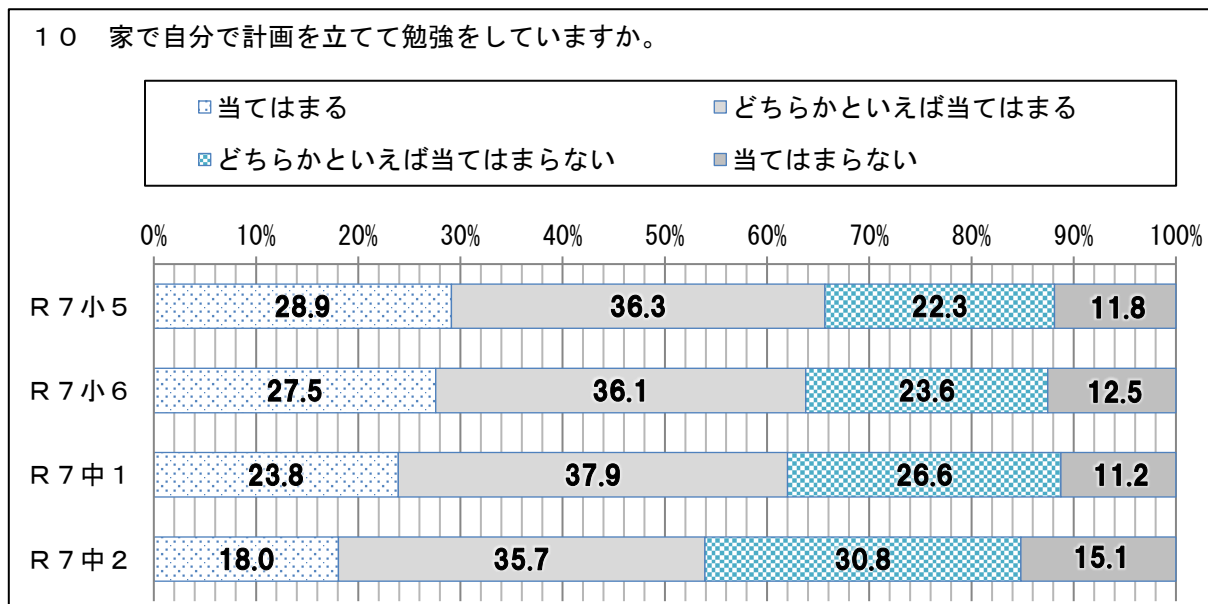
【同一児童生徒の経年比較】



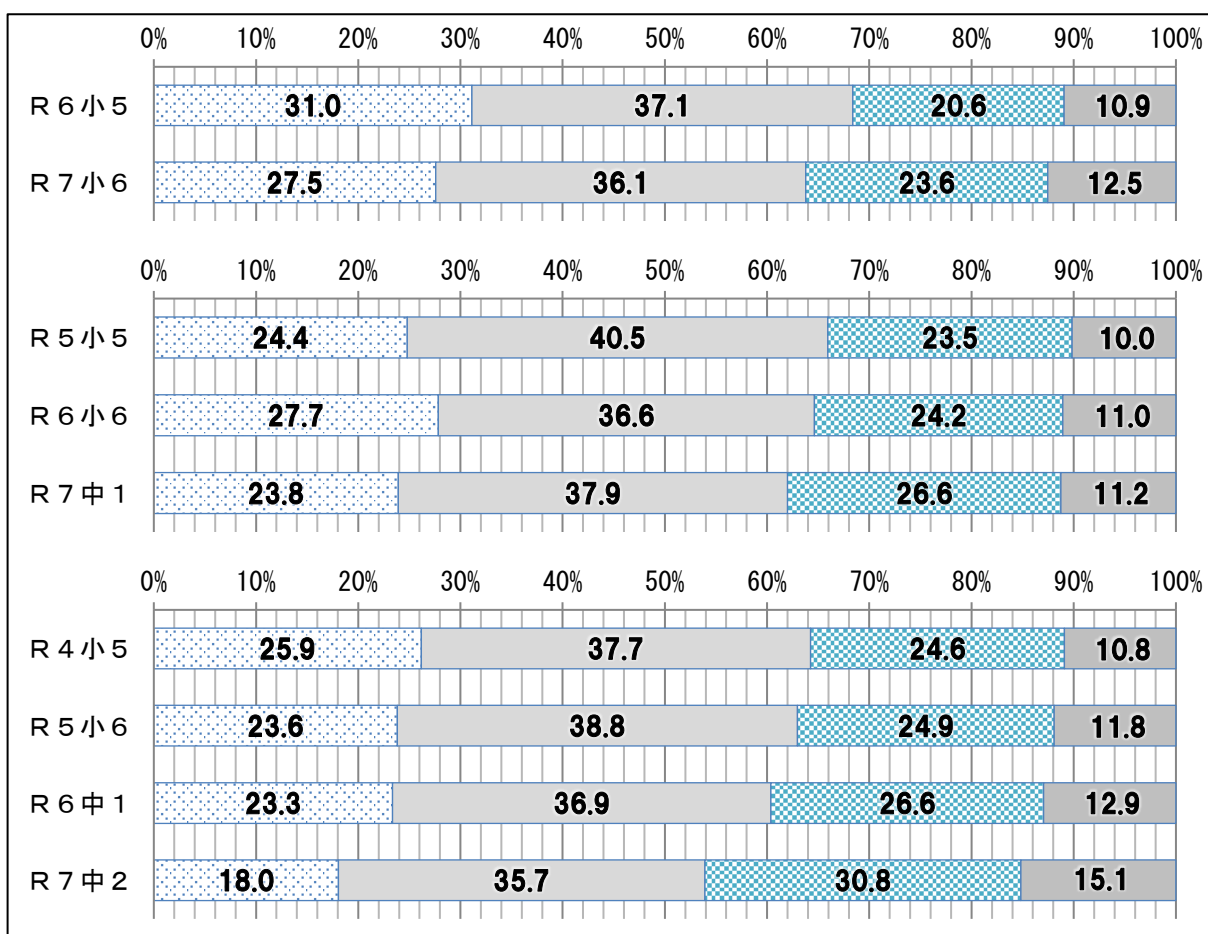
【質問１０】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で６０％程度であり、同一児童生徒の経年変化を見ても昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】



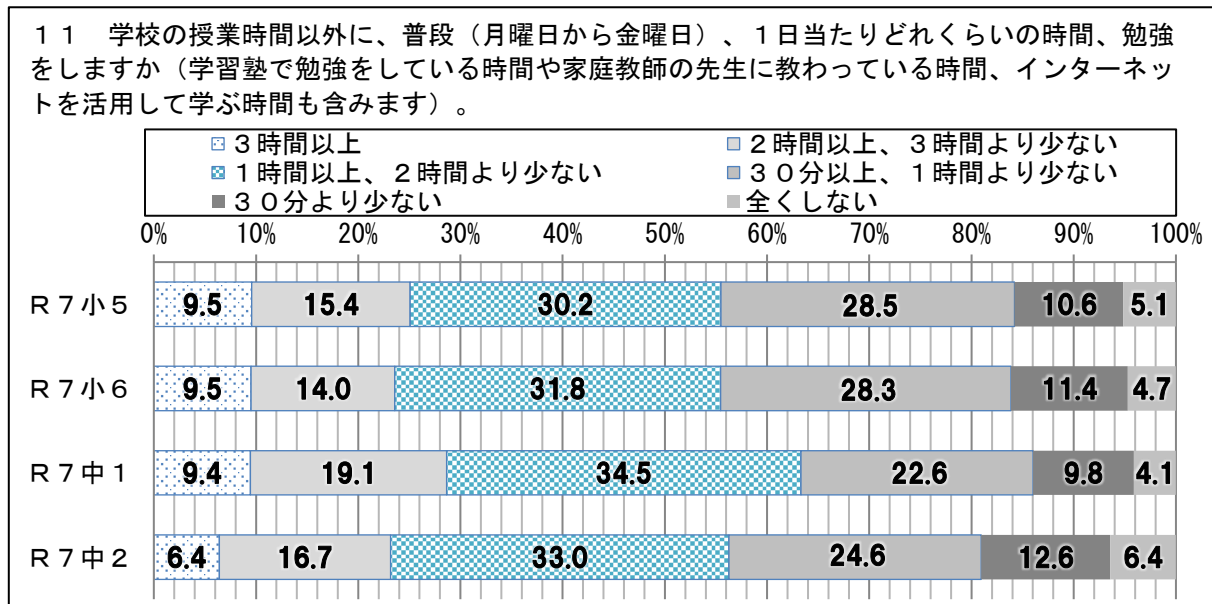
【同一児童生徒の経年比較】



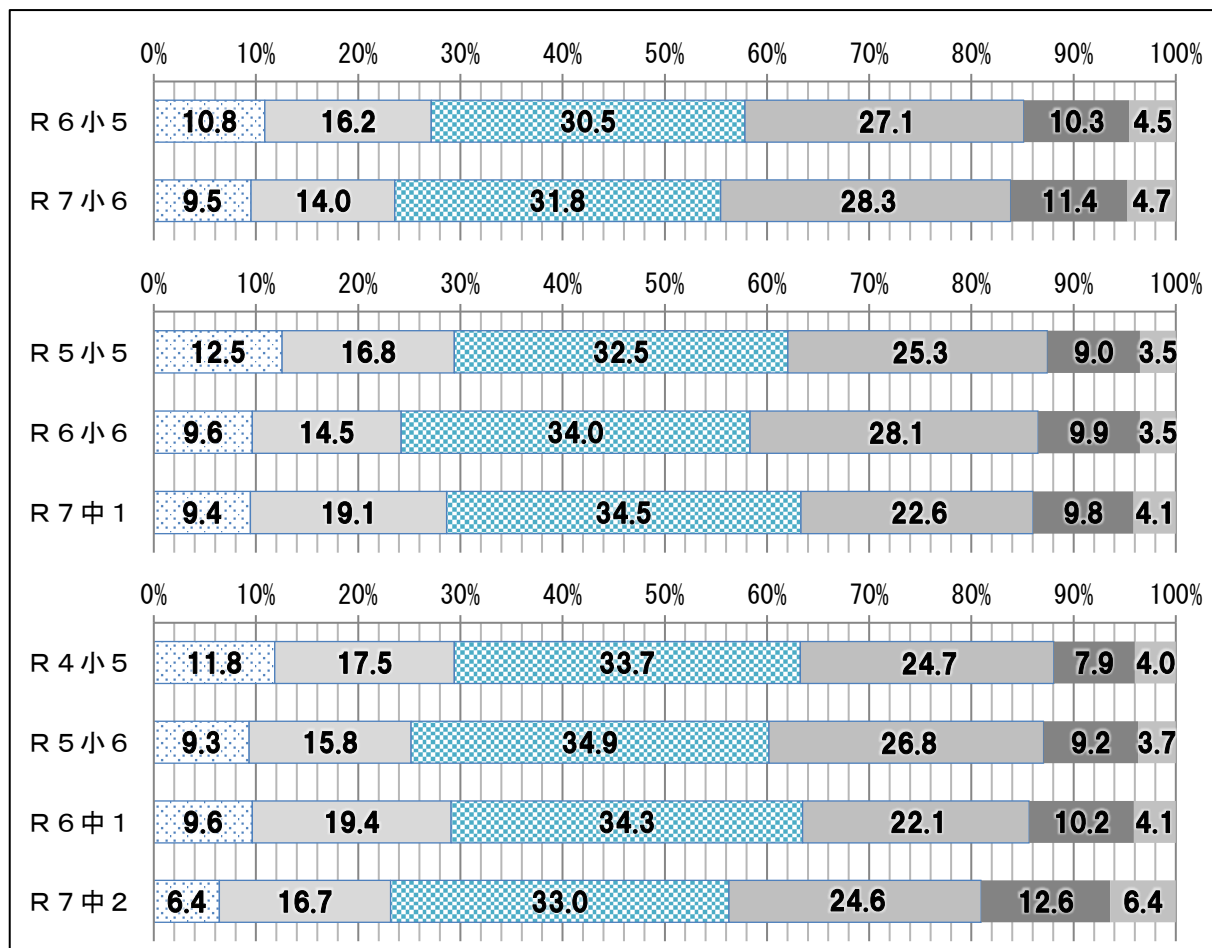
〔質問 1 1〕学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます）。

- 同一児童生徒の経年変化を見ると、「30 分より少ない」と回答した割合が増加している。

【今年度調査の結果】



【同一児童生徒の経年比較】



〔小：質問１２～１４ 中：質問１２～１５〕各教科の勉強が好きだ。

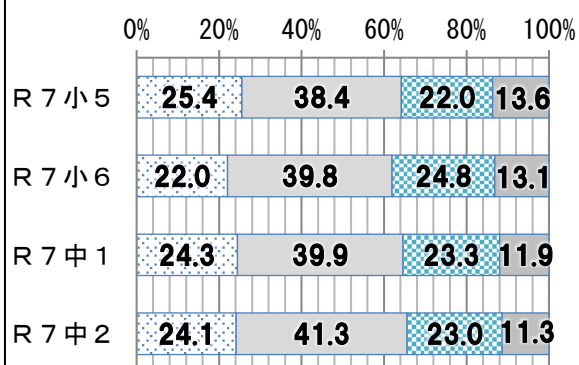
- 国語、算数・数学、英語では、肯定的な回答の割合が６０％程度となっている。

【今年度調査の結果】

国語科

１２ 国語の勉強が好きだ。

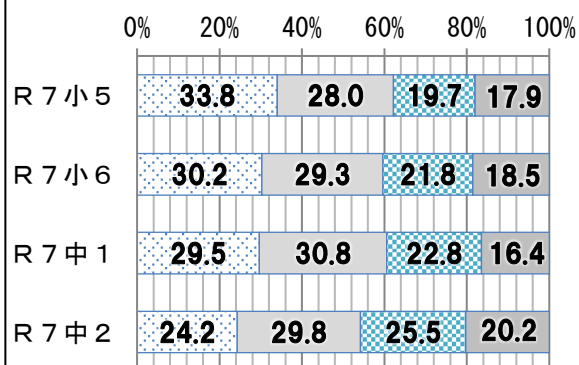
- ☐ 当てはまる
- ☐ どちらかといえば当てはまる
- ☒ どちらかといえば当てはまらない
- ☐ 当てはまらない



算数・数学科

１３ 算数・数学の勉強が好きだ。

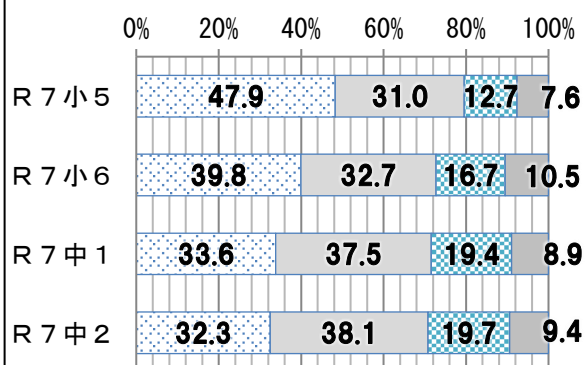
- ☐ 当てはまる
- ☐ どちらかといえば当てはまる
- ☒ どちらかといえば当てはまらない
- ☐ 当てはまらない



理科

１４ 理科の勉強が好きだ。

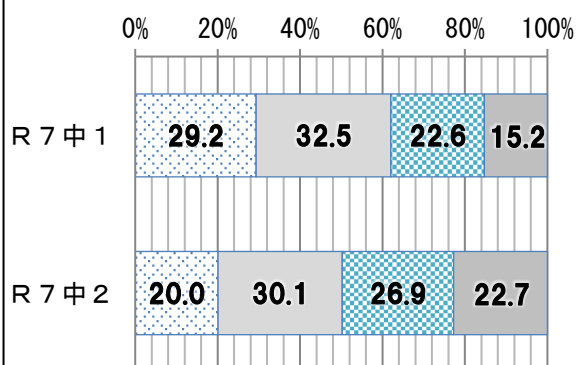
- ☐ 当てはまる
- ☐ どちらかといえば当てはまる
- ☒ どちらかといえば当てはまらない
- ☐ 当てはまらない



英語科

中１５ 英語の勉強が好きだ。

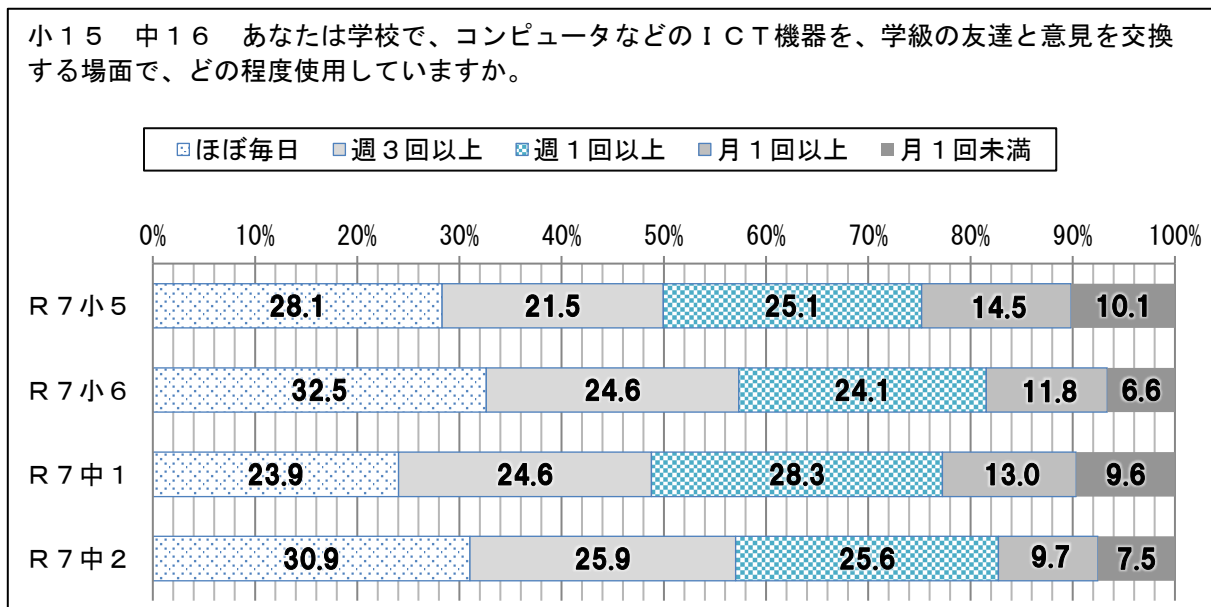
- ☐ 当てはまる
- ☐ どちらかといえば当てはまる
- ☒ どちらかといえば当てはまらない
- ☐ 当てはまらない



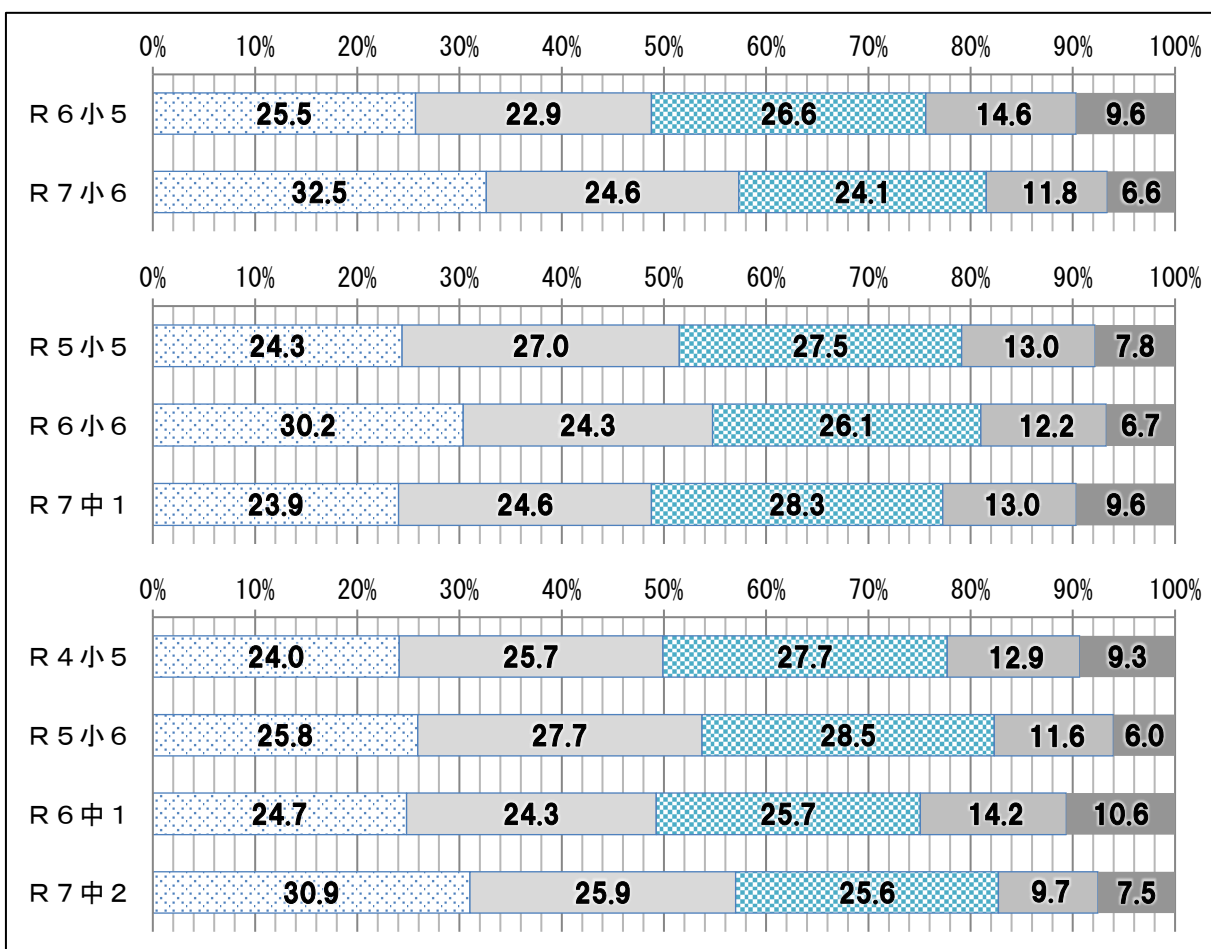
〔小：質問１５ 中：質問１６〕あなたは学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、学級の友達と意見を交換する場で、どの程度使用していますか。

○ 今年度調査の結果でも同一児童生徒の経年変化でも、「ほぼ毎日」と回答した割合は小５よりも小６、中１よりも中２の方が大きくなっている。

【今年度調査の結果】



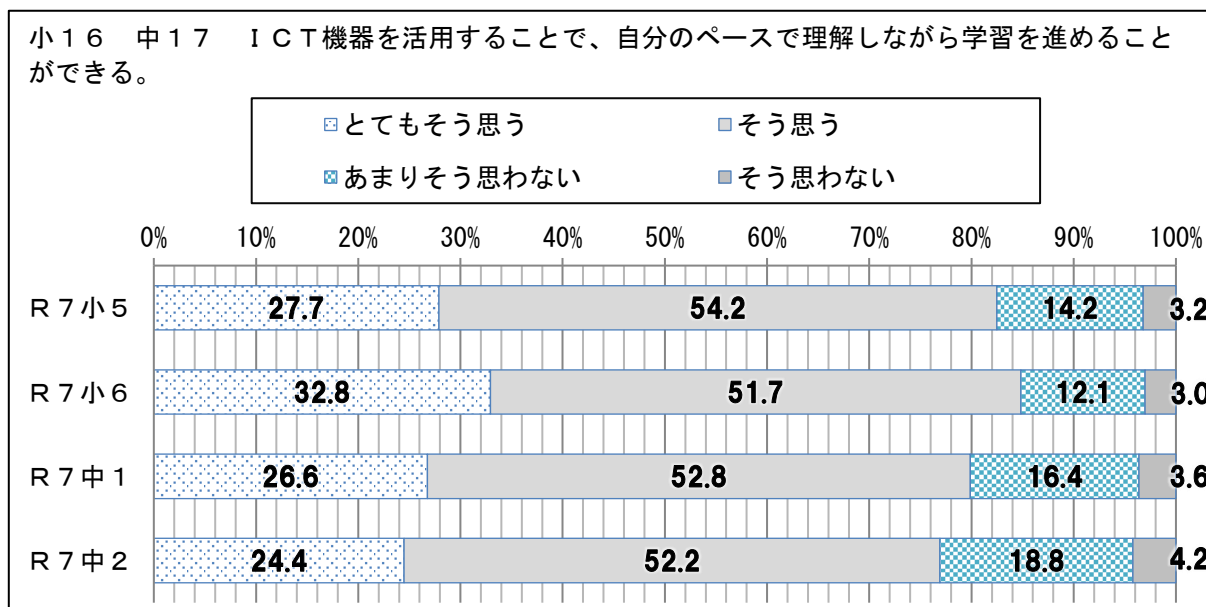
【同一児童生徒の経年比較】



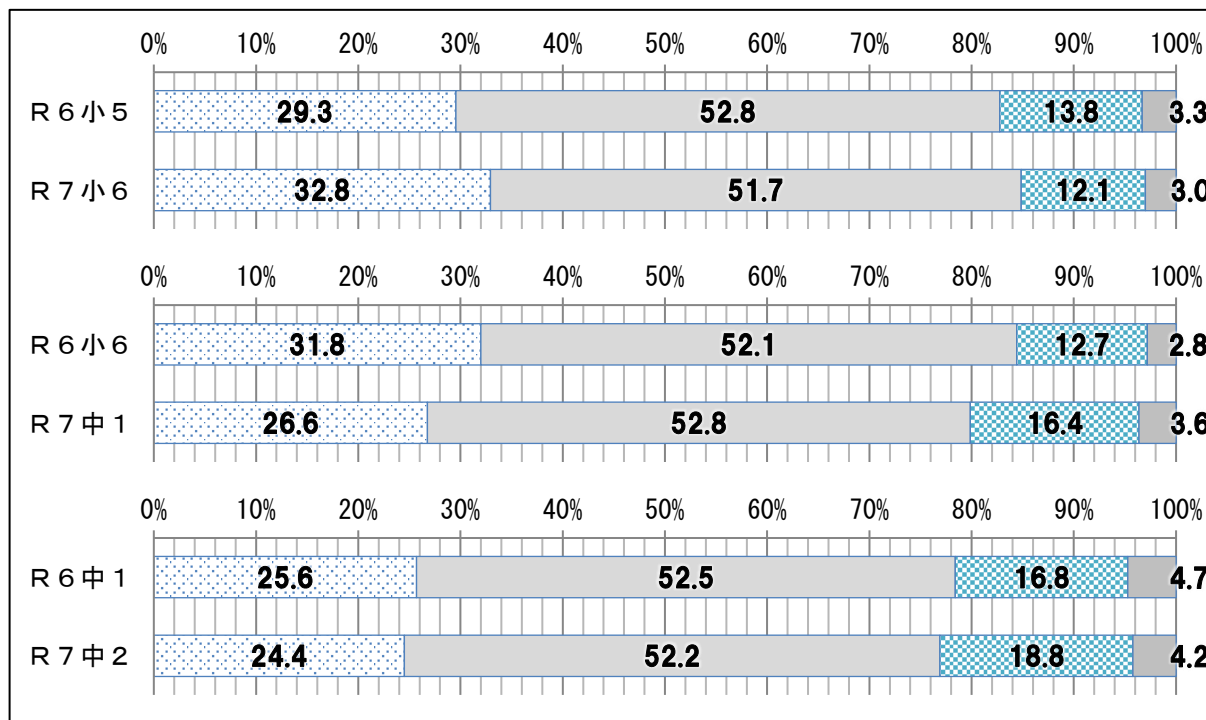
〔小：質問１６ 中：質問１７〕ＩＣＴ機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で８０％程度であるものの、同一児童生徒の経年変化を見ると中１・中２では昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】



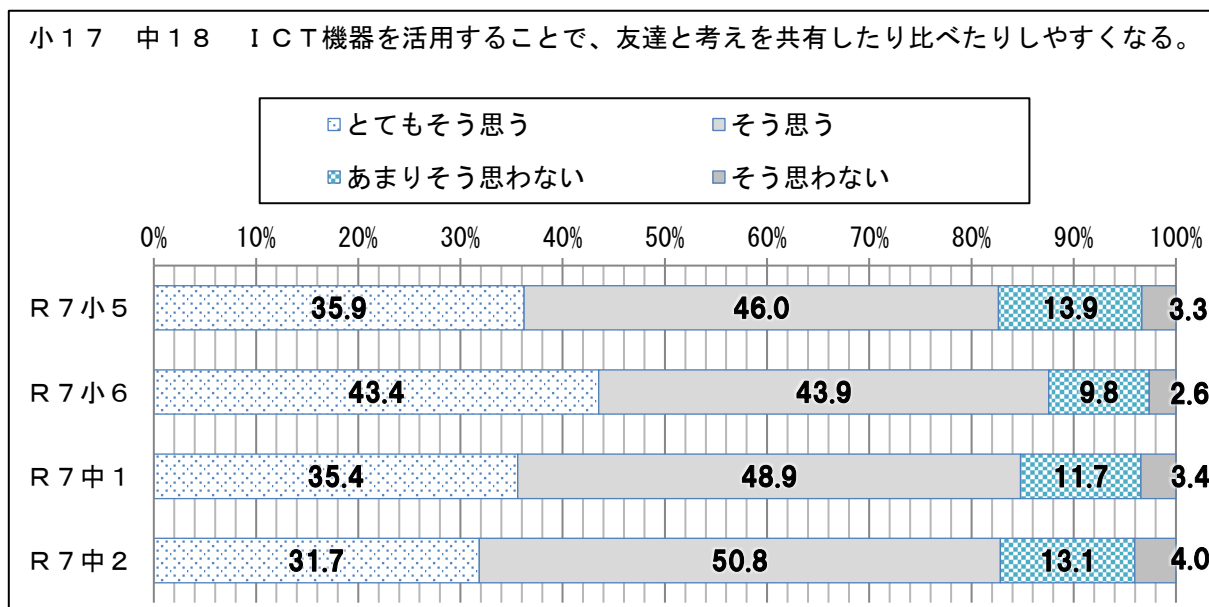
【同一児童生徒の経年比較】



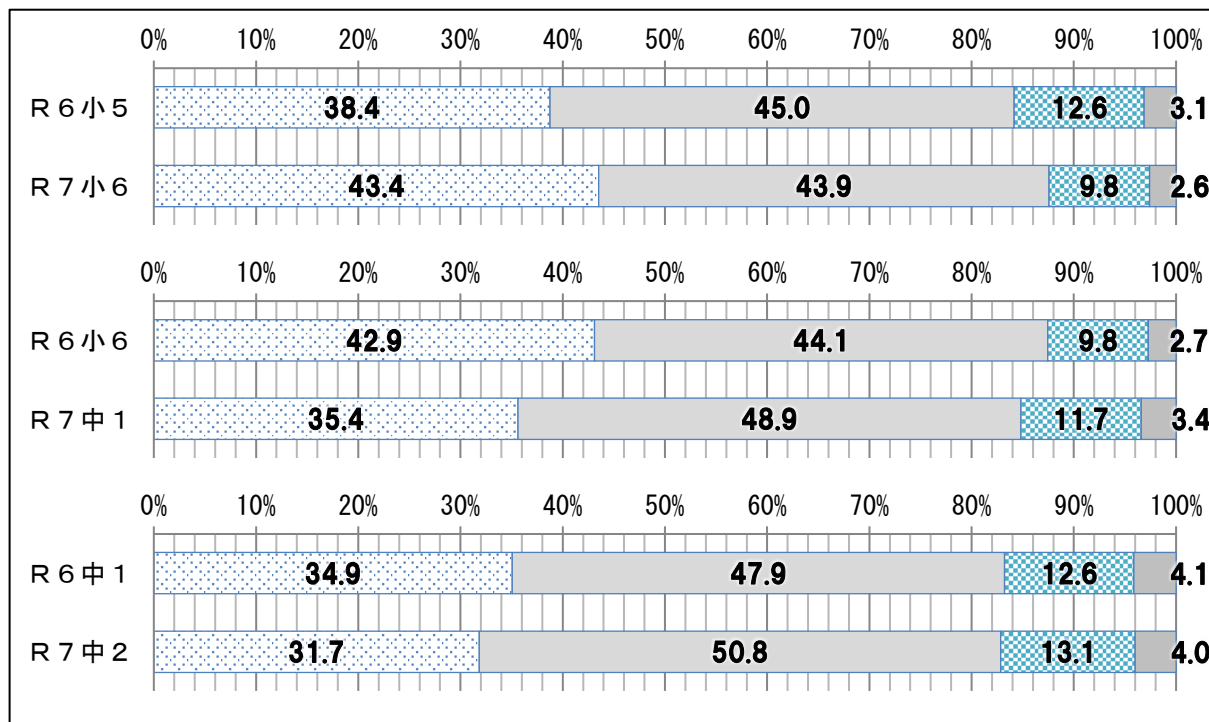
〔小：質問１７ 中：質問１８〕ＩＣＴ機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で８０％を超えているものの、同一児童生徒の経年変化を見ると中１・中２では昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】



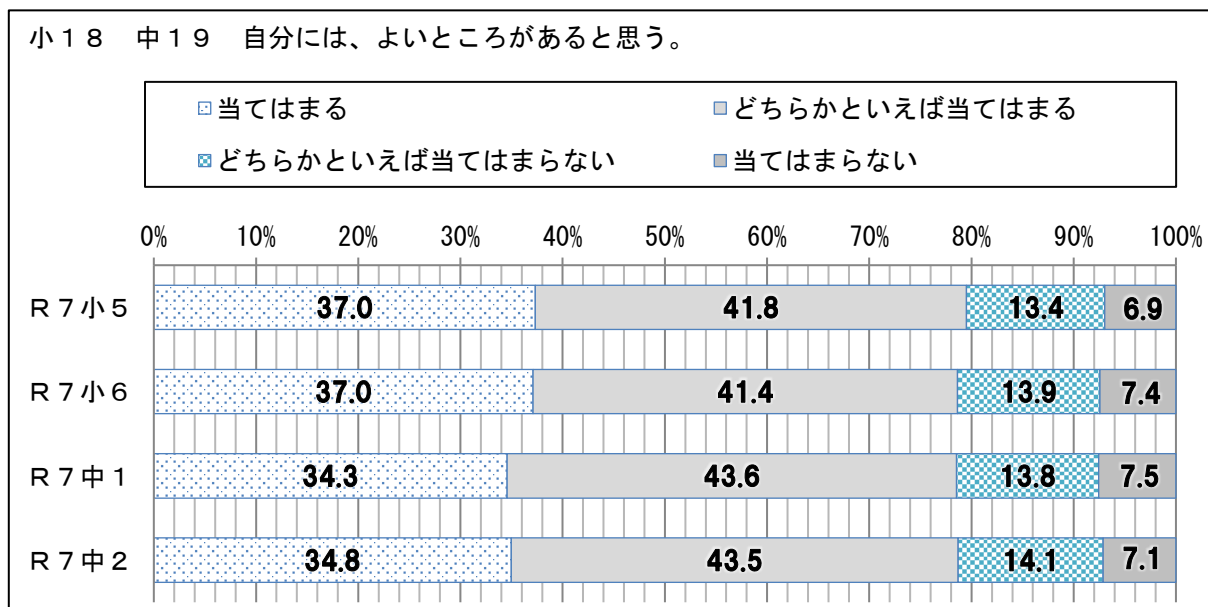
【同一児童生徒の経年比較】



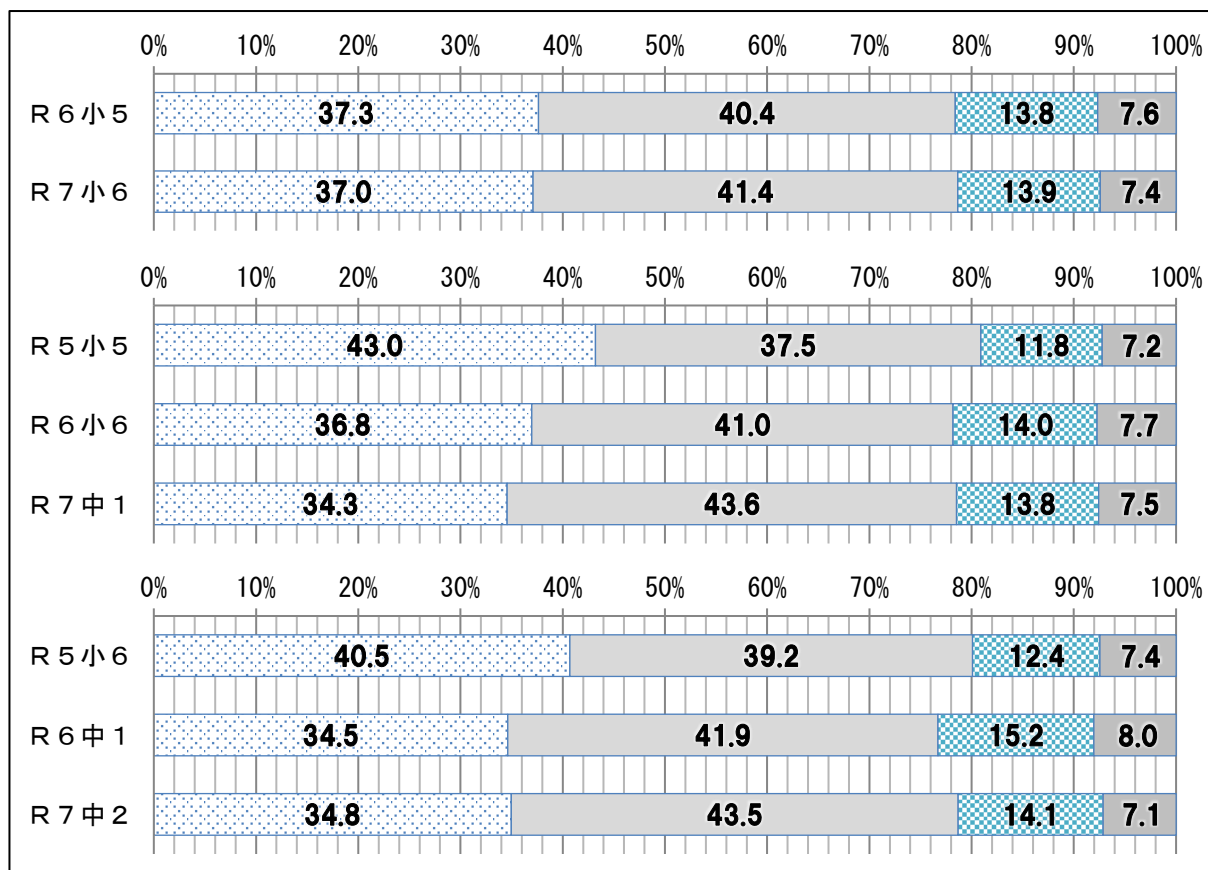
〔小：質問１８ 中：質問１９〕 自分には、よいところがあると思う。

△ 肯定的な回答の割合は全ての学年で８０％程度であるものの、「当てはまる」と回答した割合は３０％台に留まっている。

【今年度調査の結果】



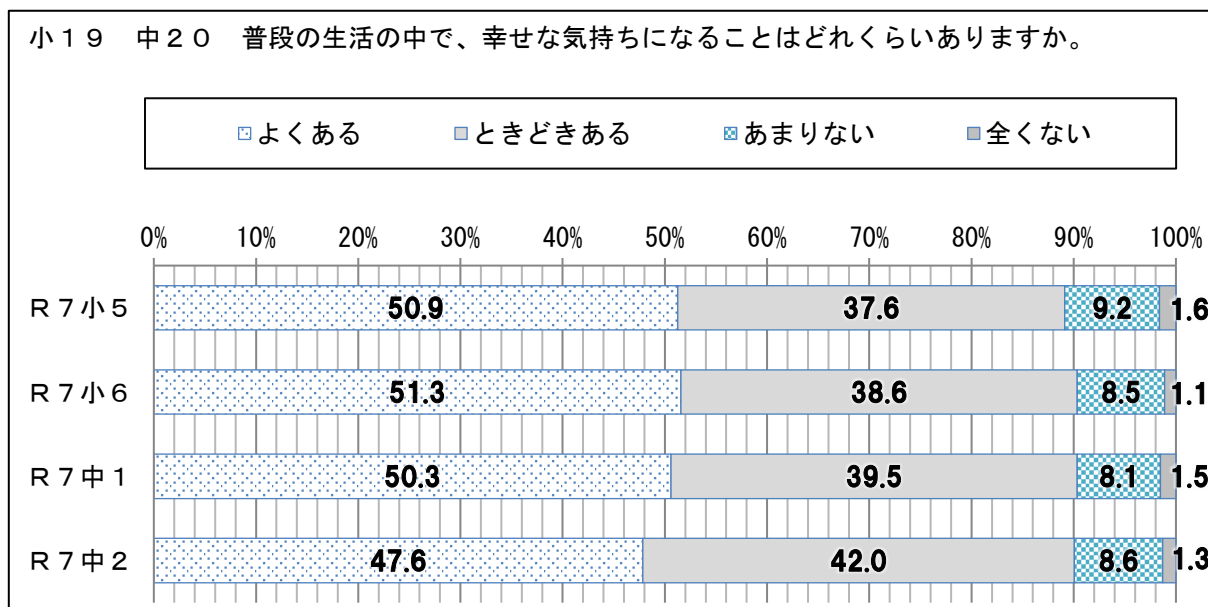
【同一児童生徒の経年比較】



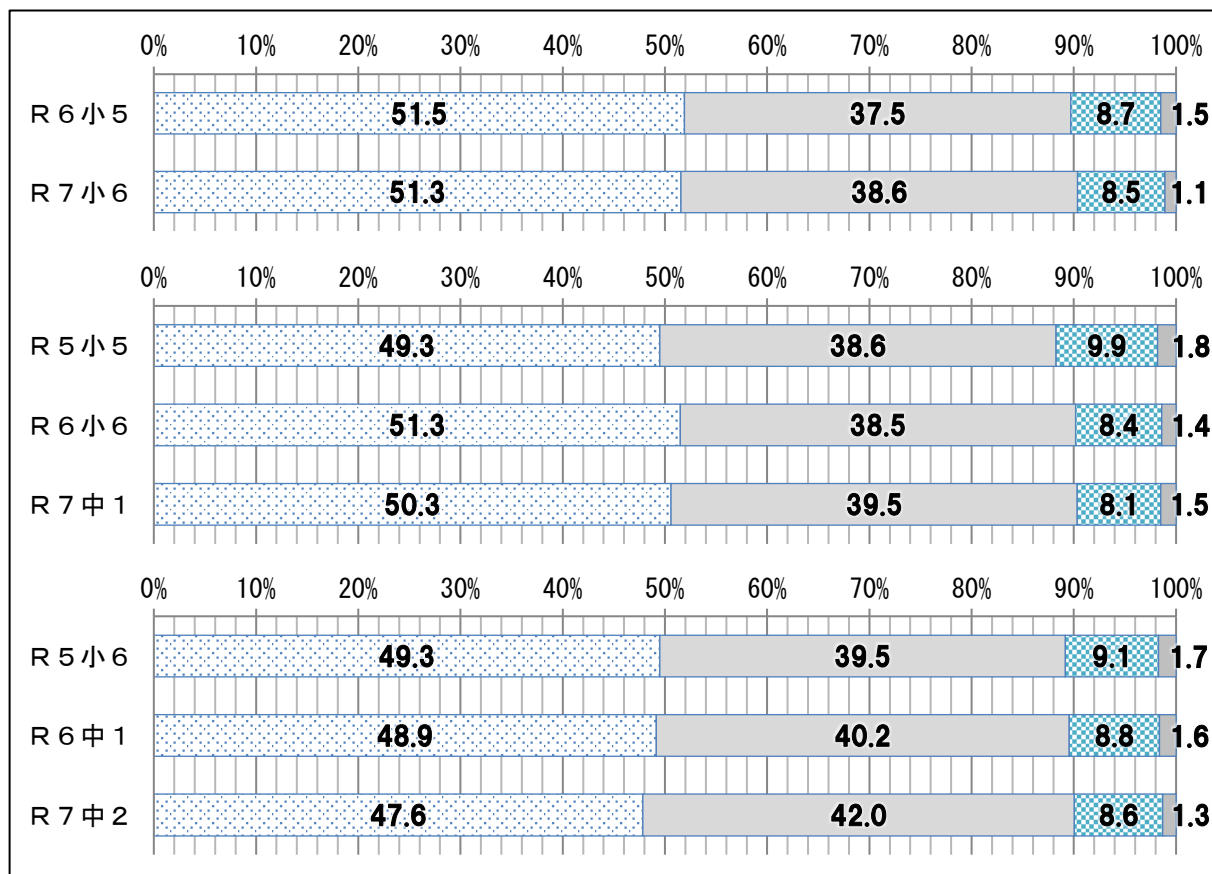
〔小：質問１９ 中：質問２０〕 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

○ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で９０％程度となっている。

【今年度調査の結果】



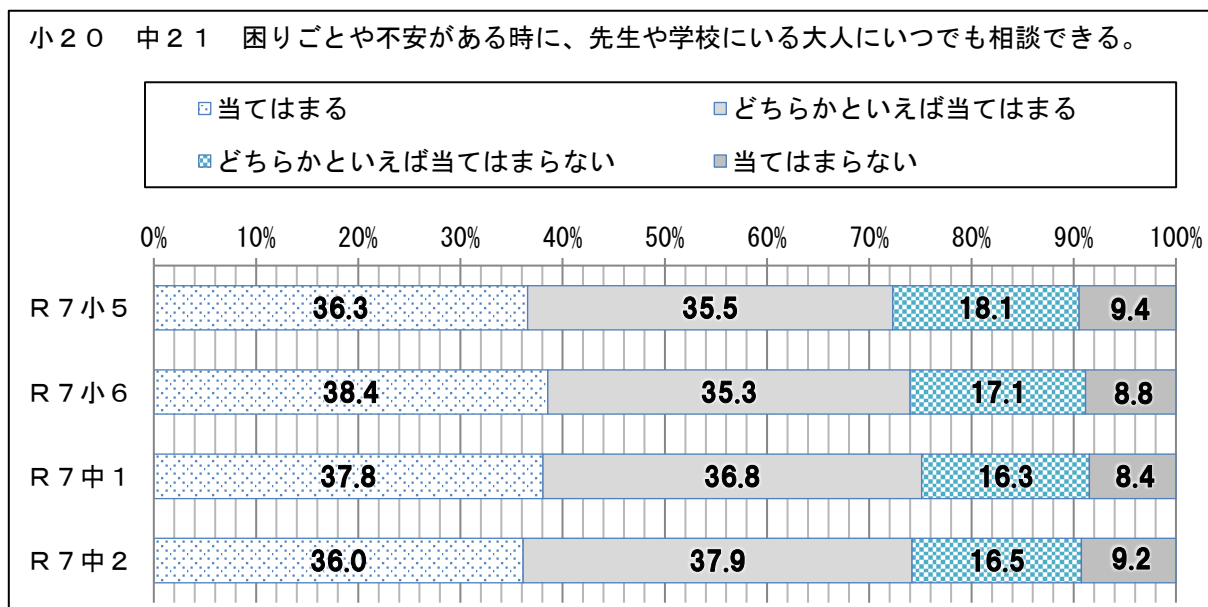
【同一児童生徒の経年比較】



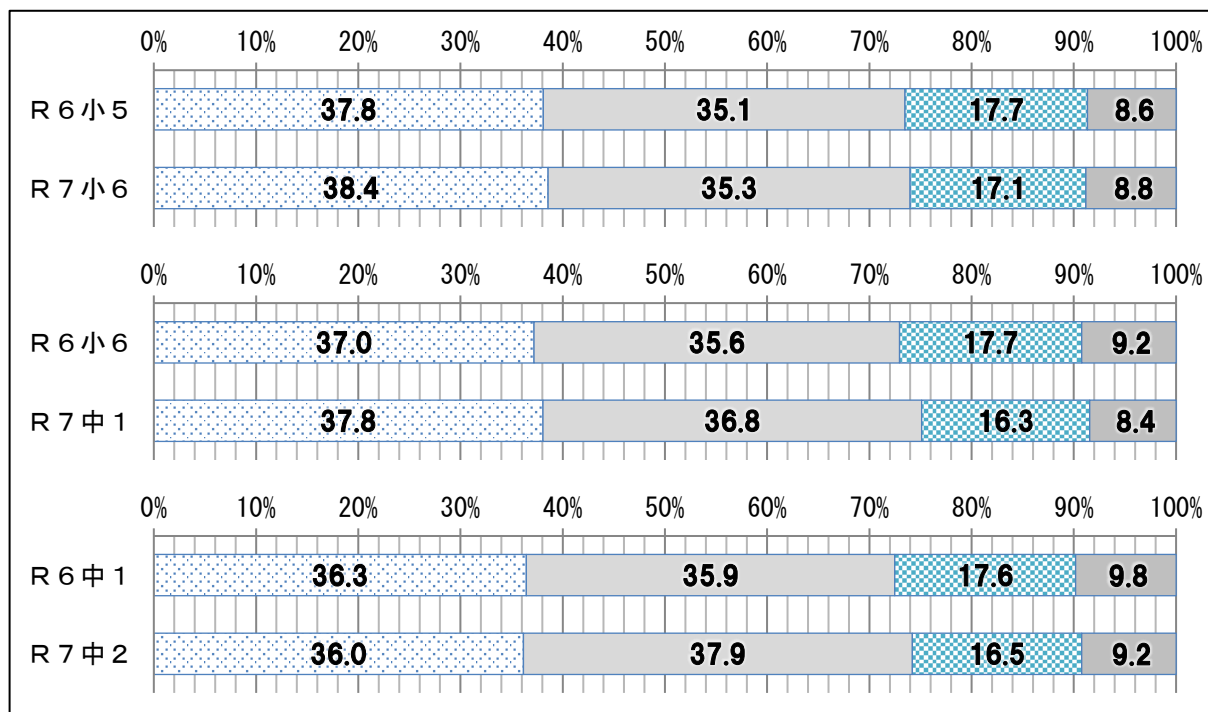
〔小：質問２０ 中：質問２１〕困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で７０％台にとどまっているものの、同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度より増加している。

【今年度調査の結果】



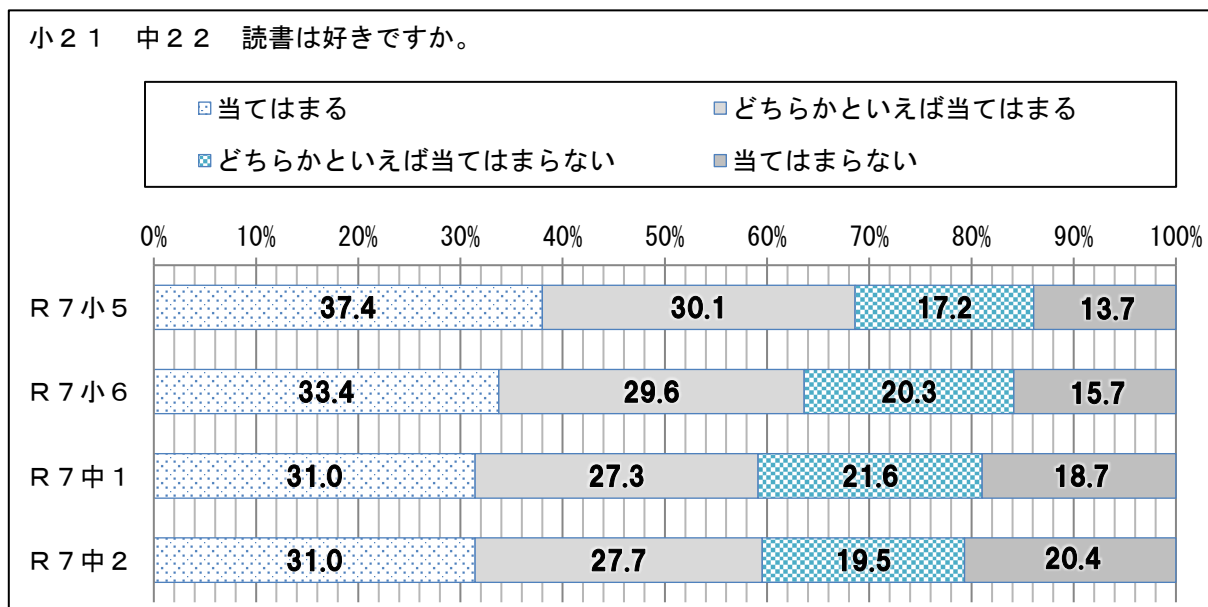
【同一児童生徒の経年比較】



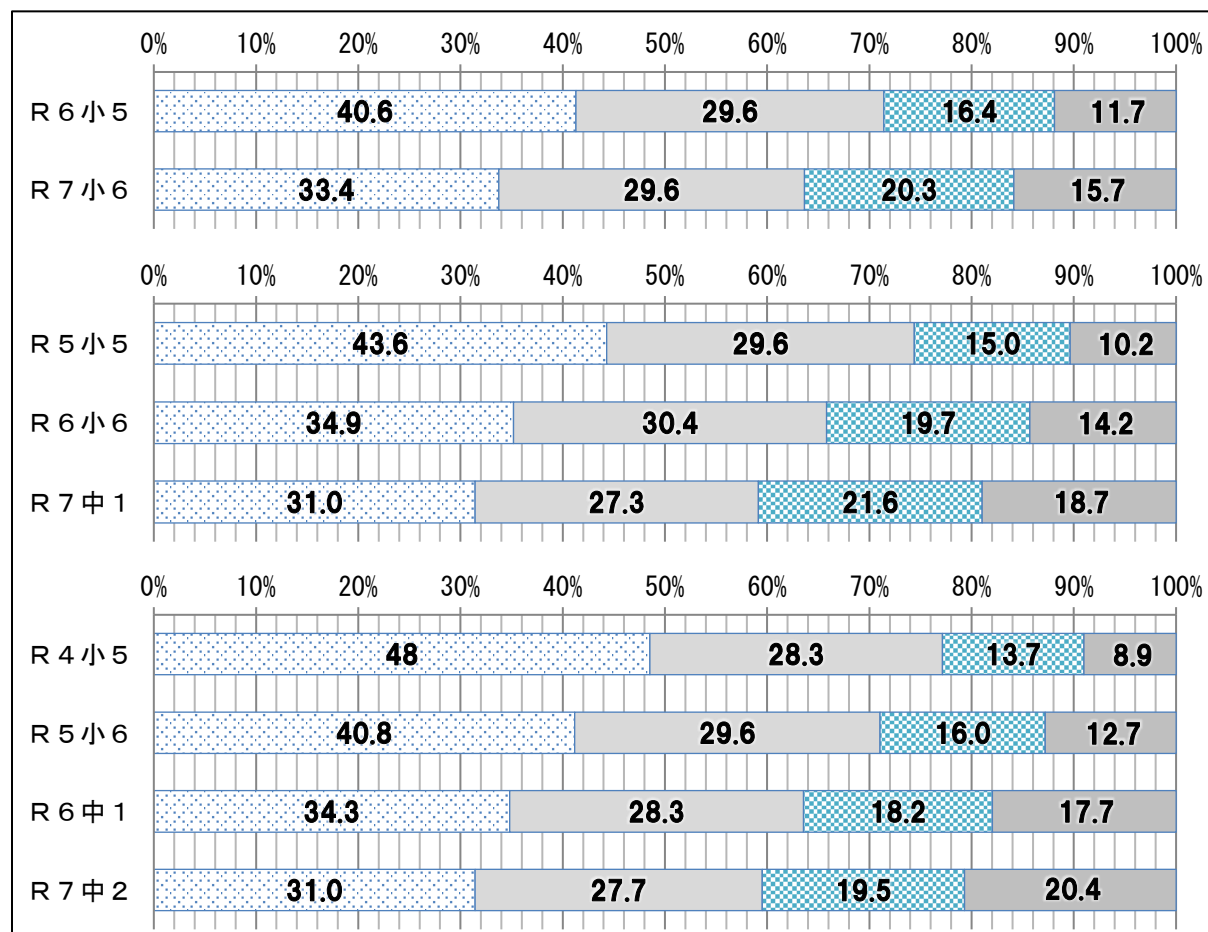
〔小：質問２１ 中：質問２２〕読書は好きですか。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で７０％未満であり、同一児童生徒の経年変化を見ても昨年度より減少している。

【今年度調査の結果】



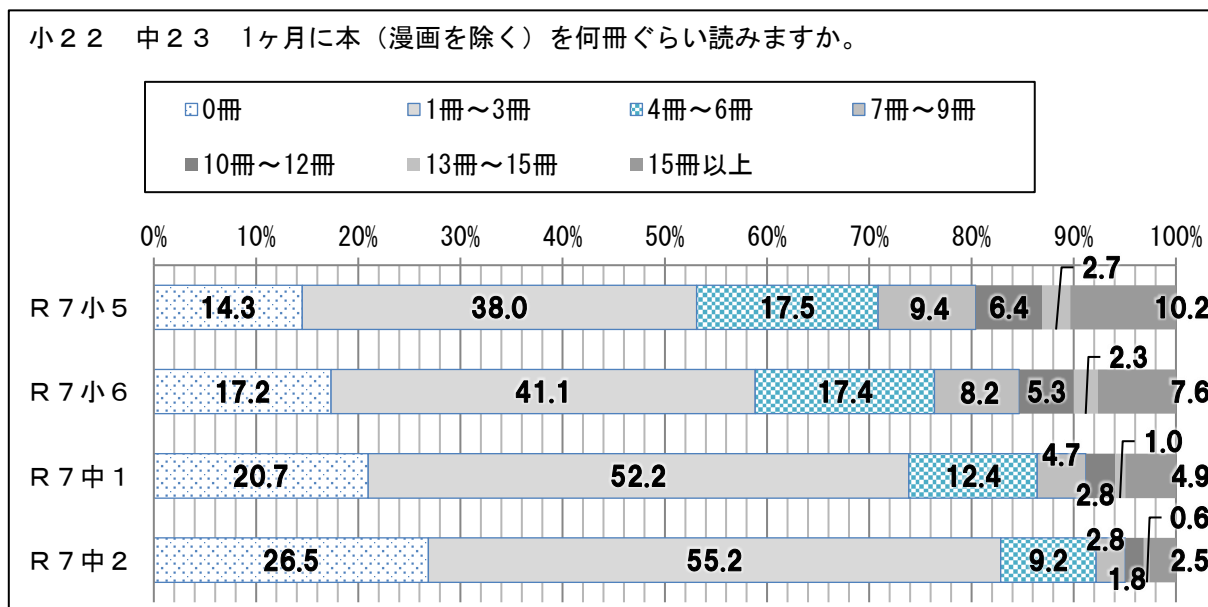
【同一児童生徒の経年比較】



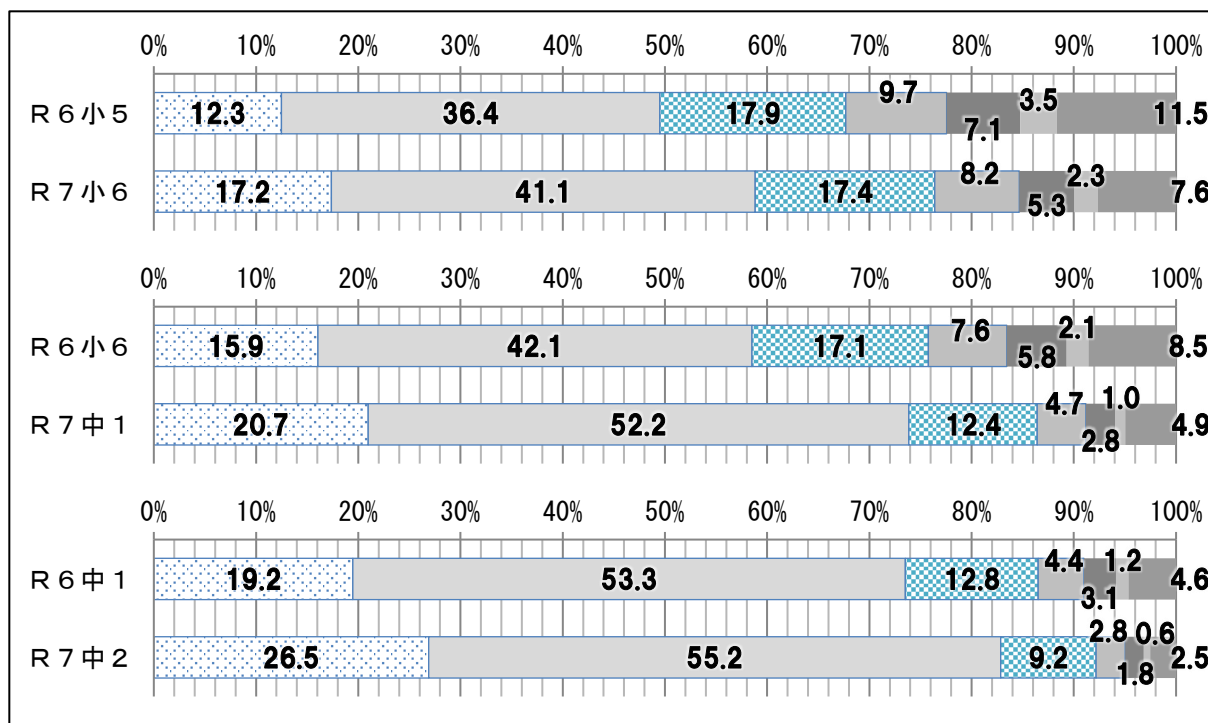
〔小：質問２２ 中：質問２３〕１ヶ月に本（漫画を除く）を何冊ぐらい読みますか。

- 「０冊」「１冊～３冊」と回答した割合は、全ての学年で５０％を超えており、学年が進むにつれて増加している。

【今年度調査の結果】



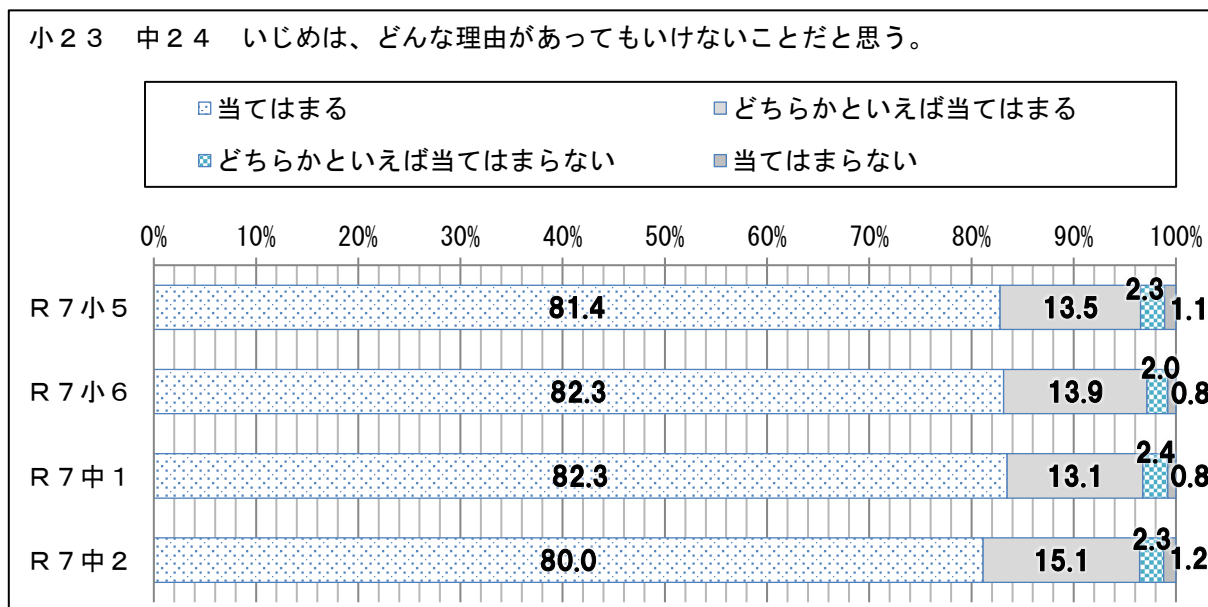
【同一児童生徒の経年比較】



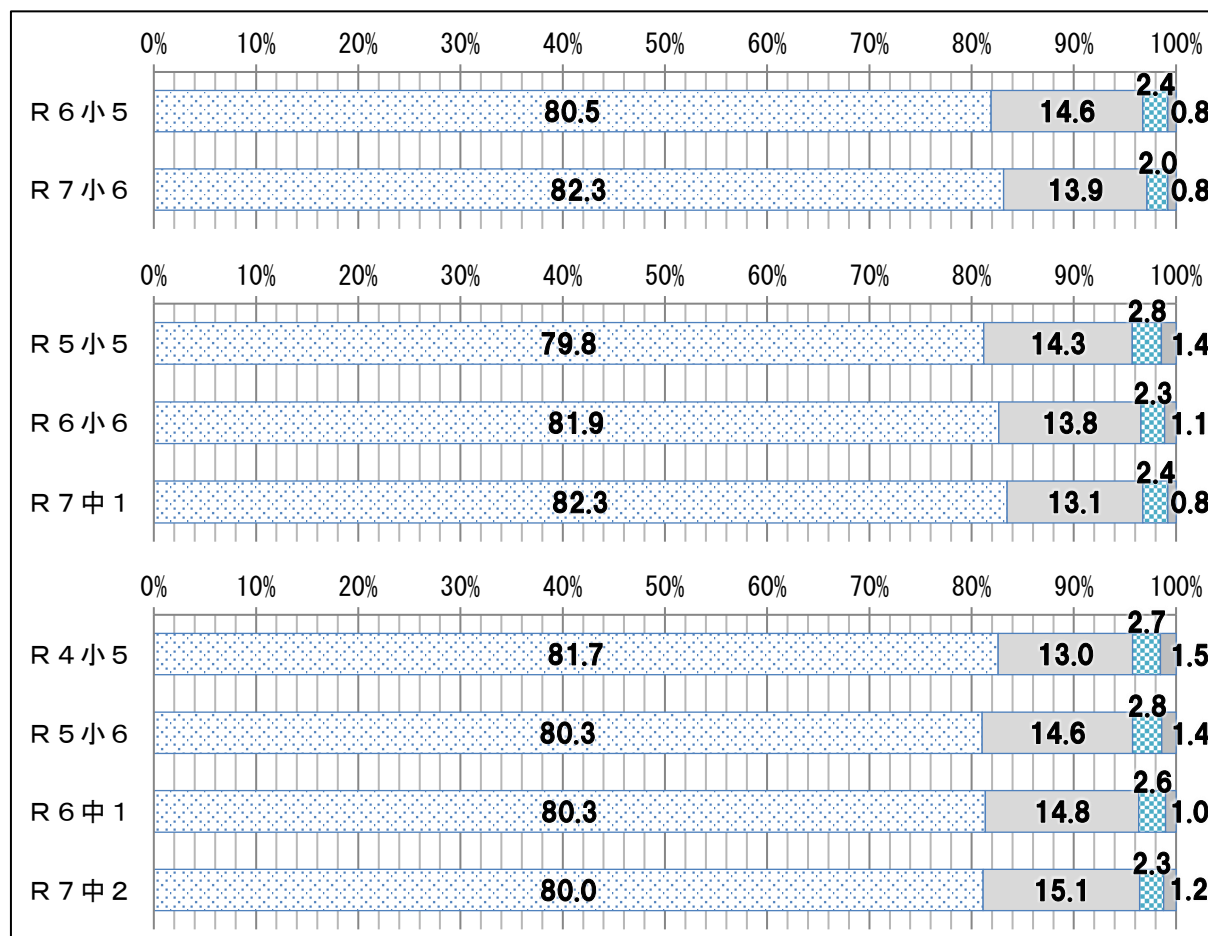
〔小：質問２３ 中：質問２４〕 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

△ 肯定的な回答の割合は全ての学年で９５％を超えているものの、否定的な回答もある。

【今年度調査の結果】



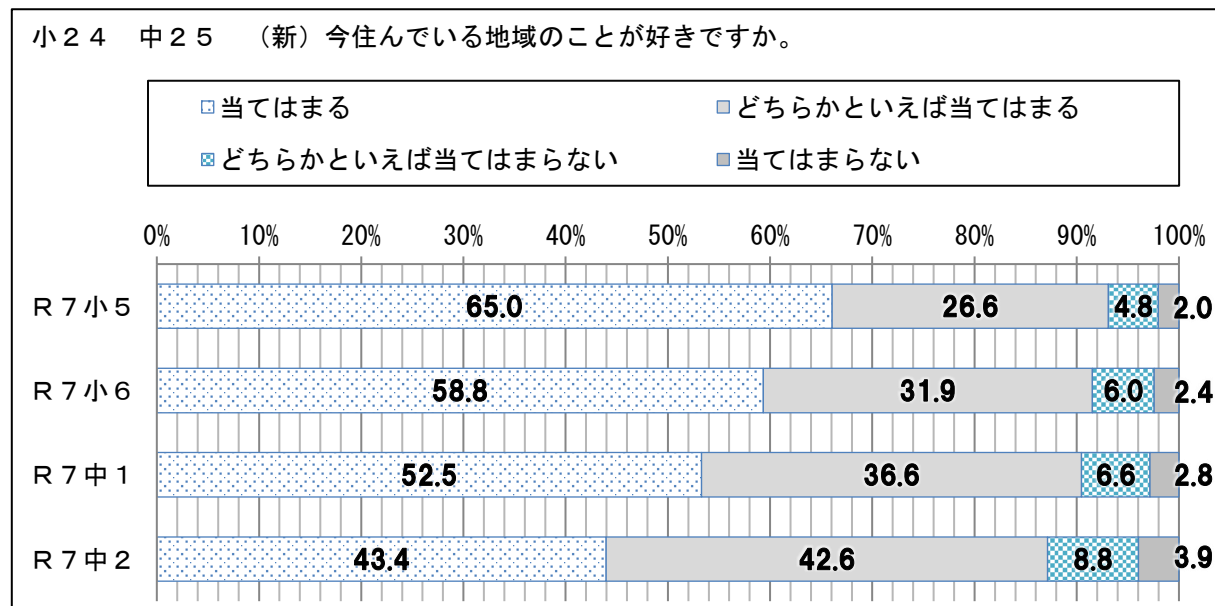
【同一児童生徒の経年比較】



〔小：質問２４ 中：質問２５〕今住んでいる地域のこと好きですか。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で 90%程度であるものの、学年が進むにつれて減少している。

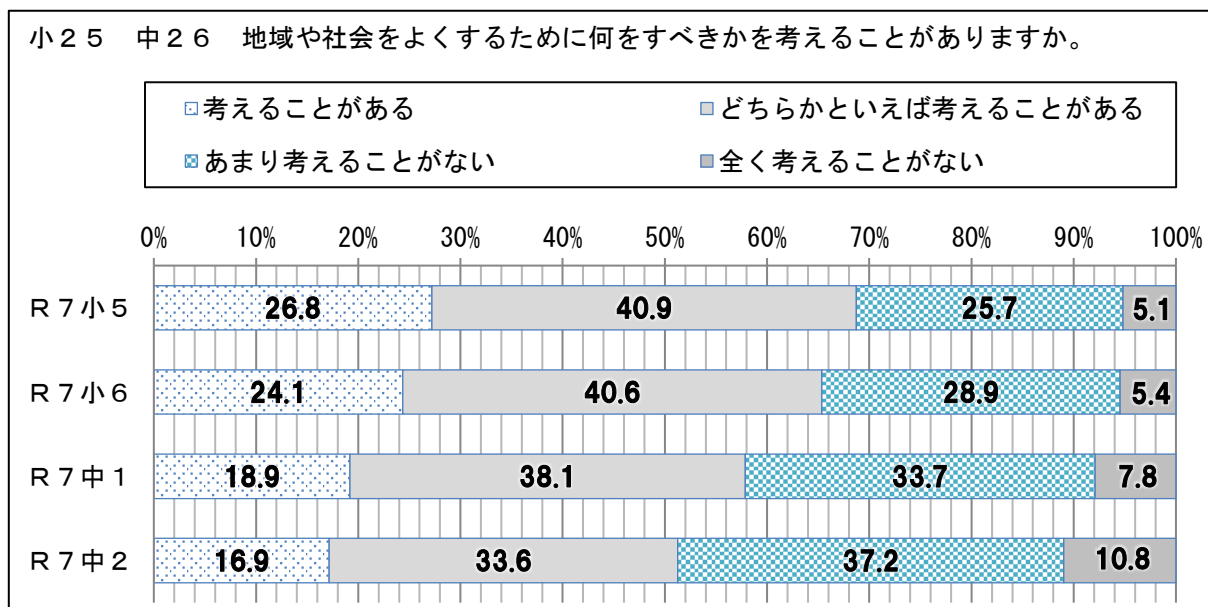
【今年度調査の結果】



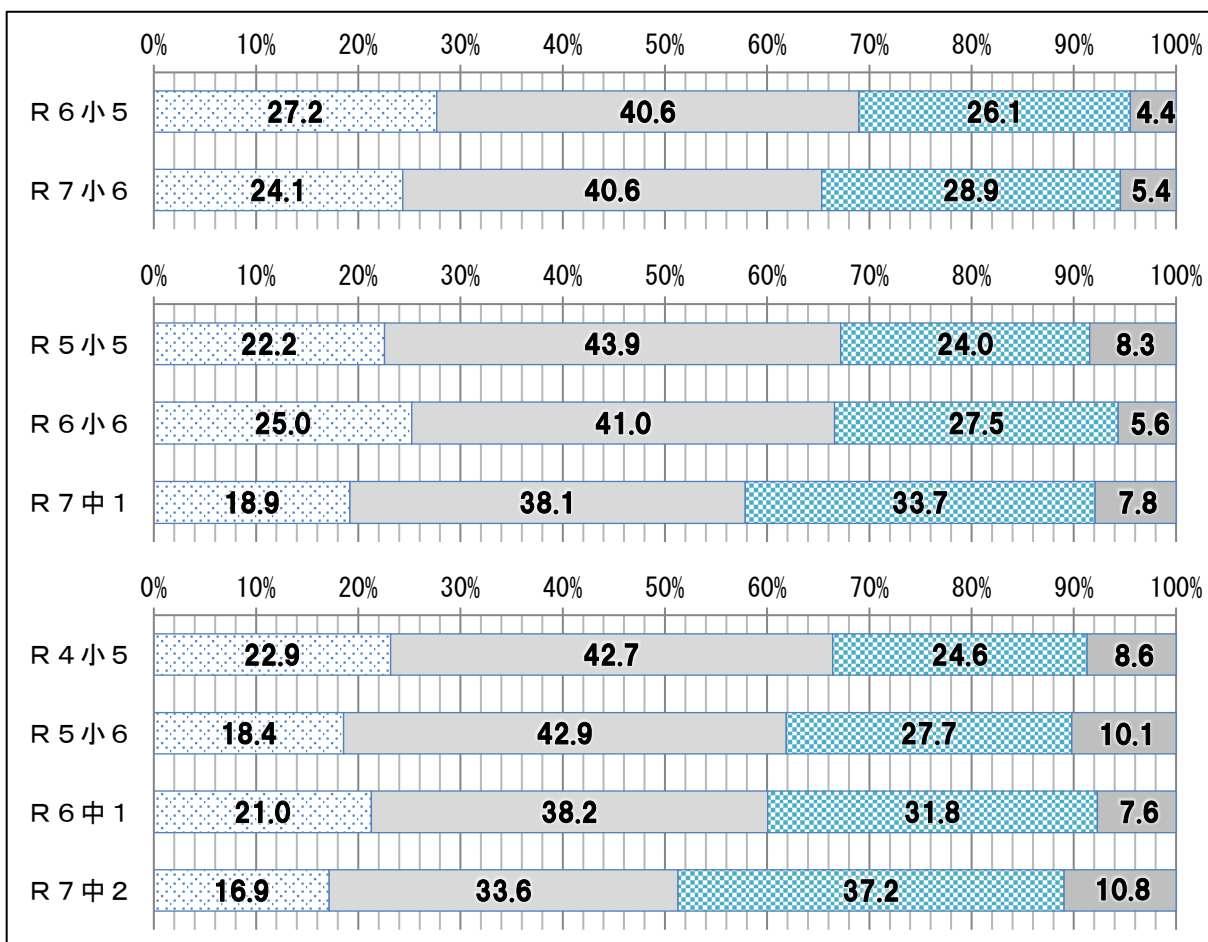
〔小：質問２５ 中：質問２６〕地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で７０％未満であり、学年が進むにつれて減少している。

【今年度調査の結果】



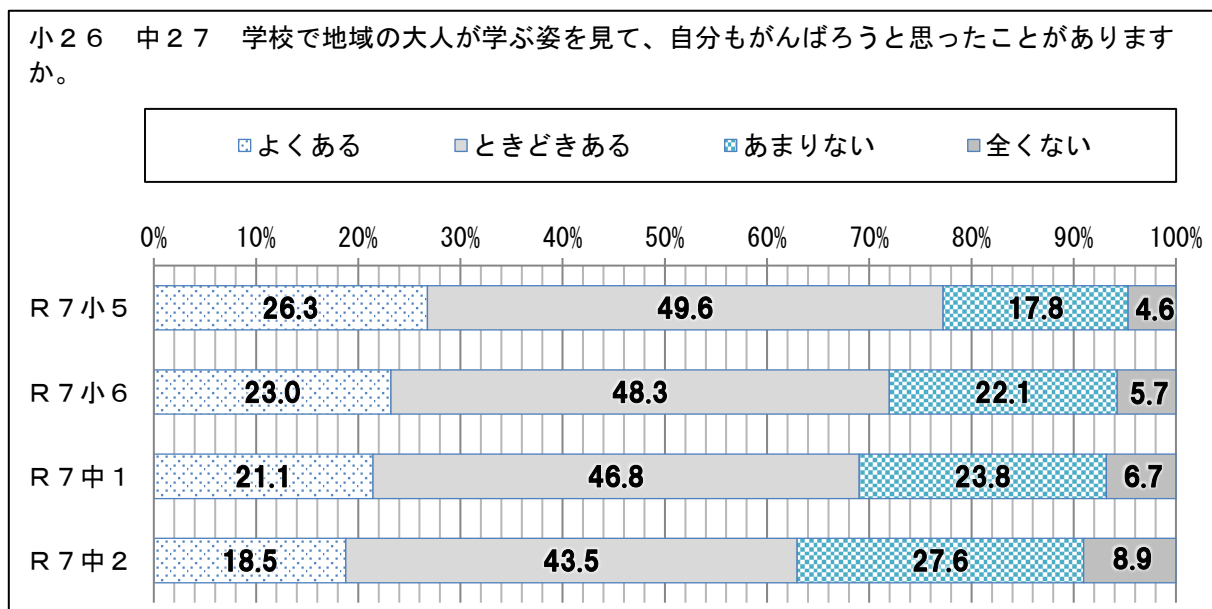
【同一児童生徒の経年比較】



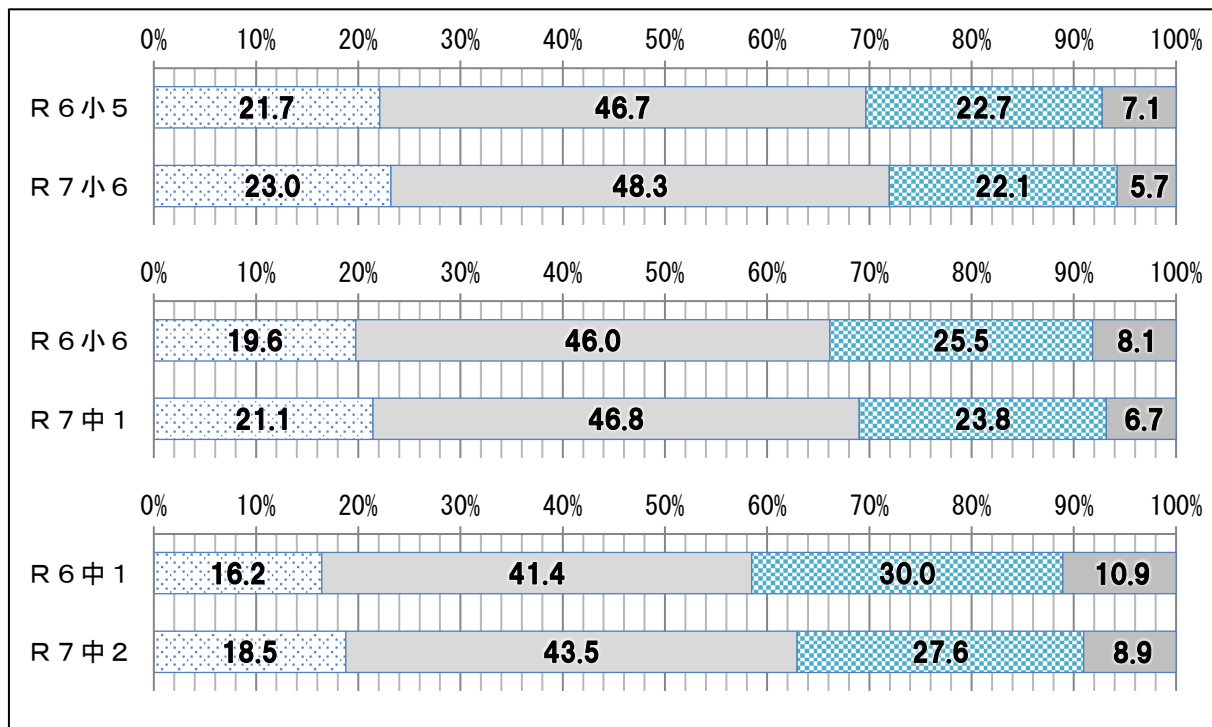
〔小：質問２６ 中：質問２７〕学校で地域の大人が学ぶ姿を見て、自分もがんばろうと思ったことがありますか。

△ 肯定的な回答の割合は、全ての学年で７０％程度であるものの、同一児童生徒の経年変化を見ると昨年度より増加している。

【今年度調査の結果】



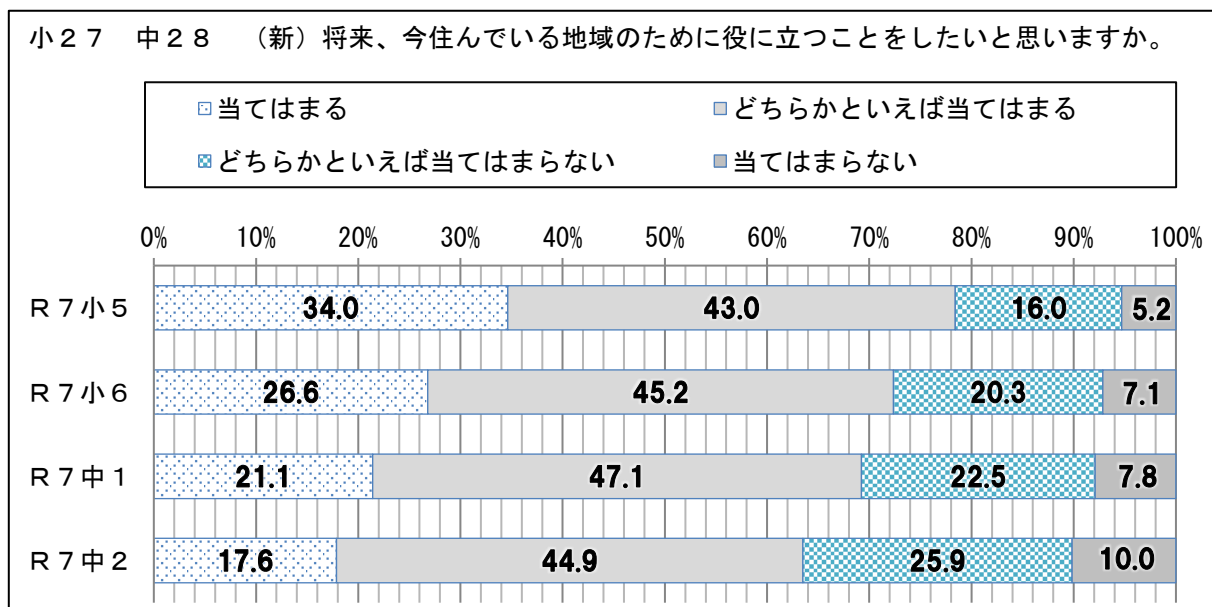
【同一児童生徒の経年比較】



〔小：質問２７ 中：質問２８〕将来、今住んでいる地域のために役に立つことをしたいと思いますか。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で７０％程度であり、学年が進むにつれて減少している。

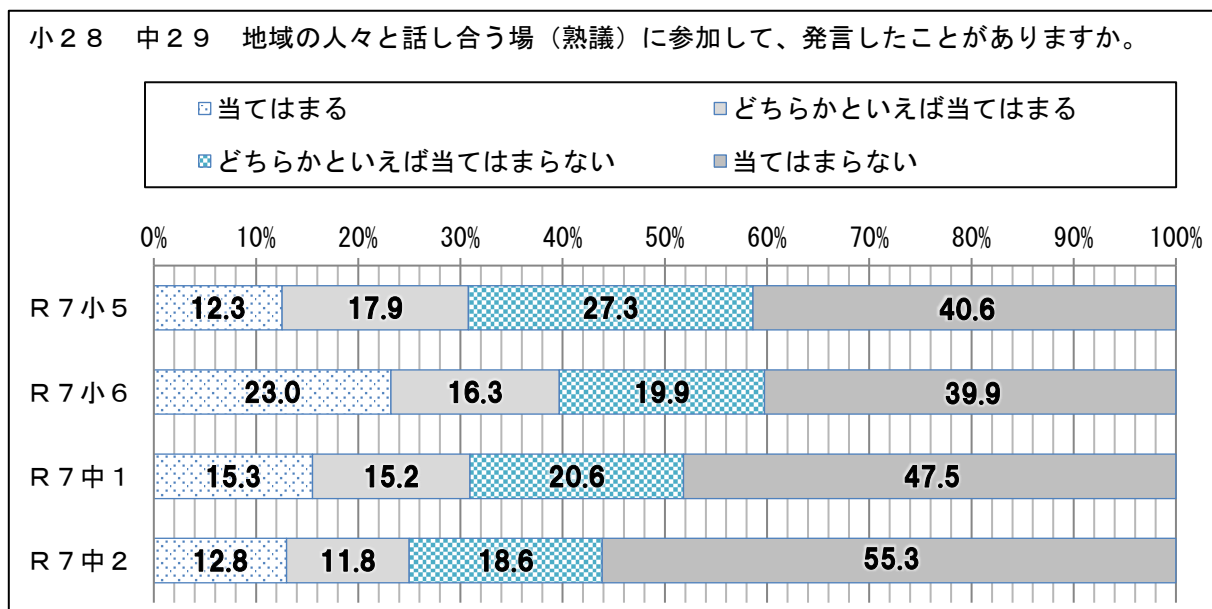
【今年度調査の結果】



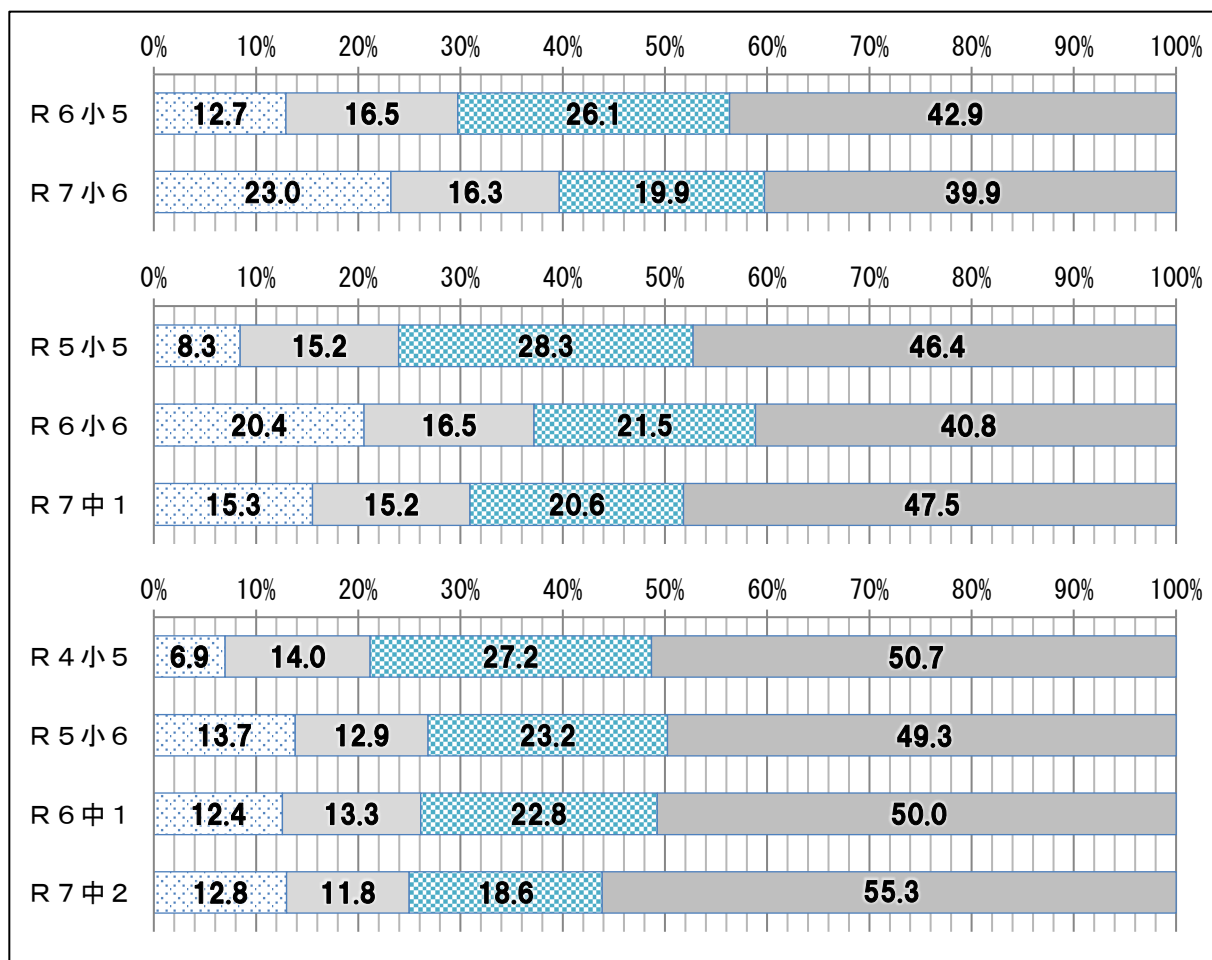
〔小：質問２８ 中：質問２９〕地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。

- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で３０％程度である。

【今年度調査の結果】



【同一児童生徒の経年比較】

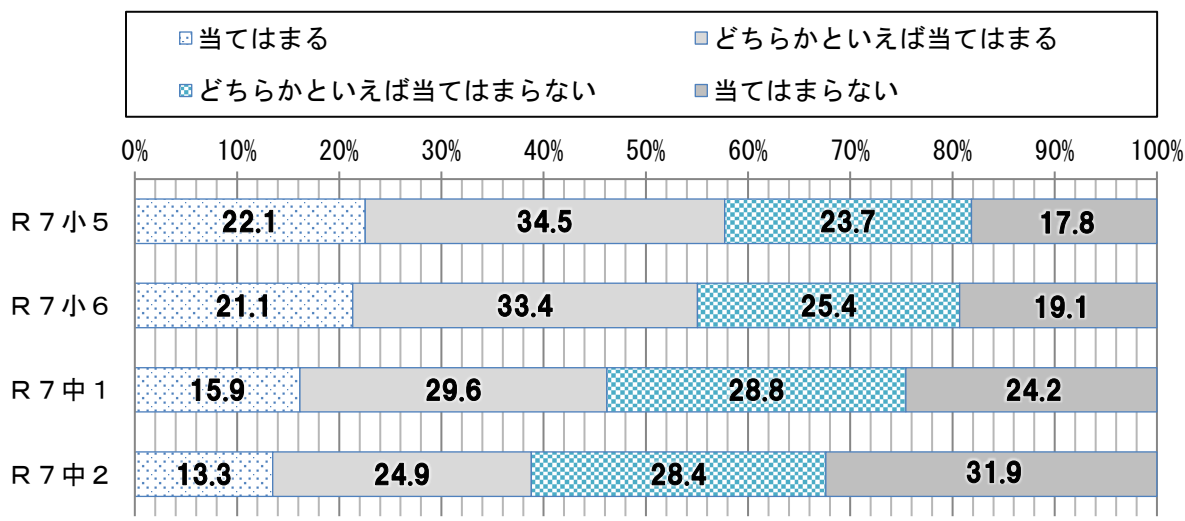


〔小：質問29 中：質問30〕あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒になって体力向上の取組を進めていますか。

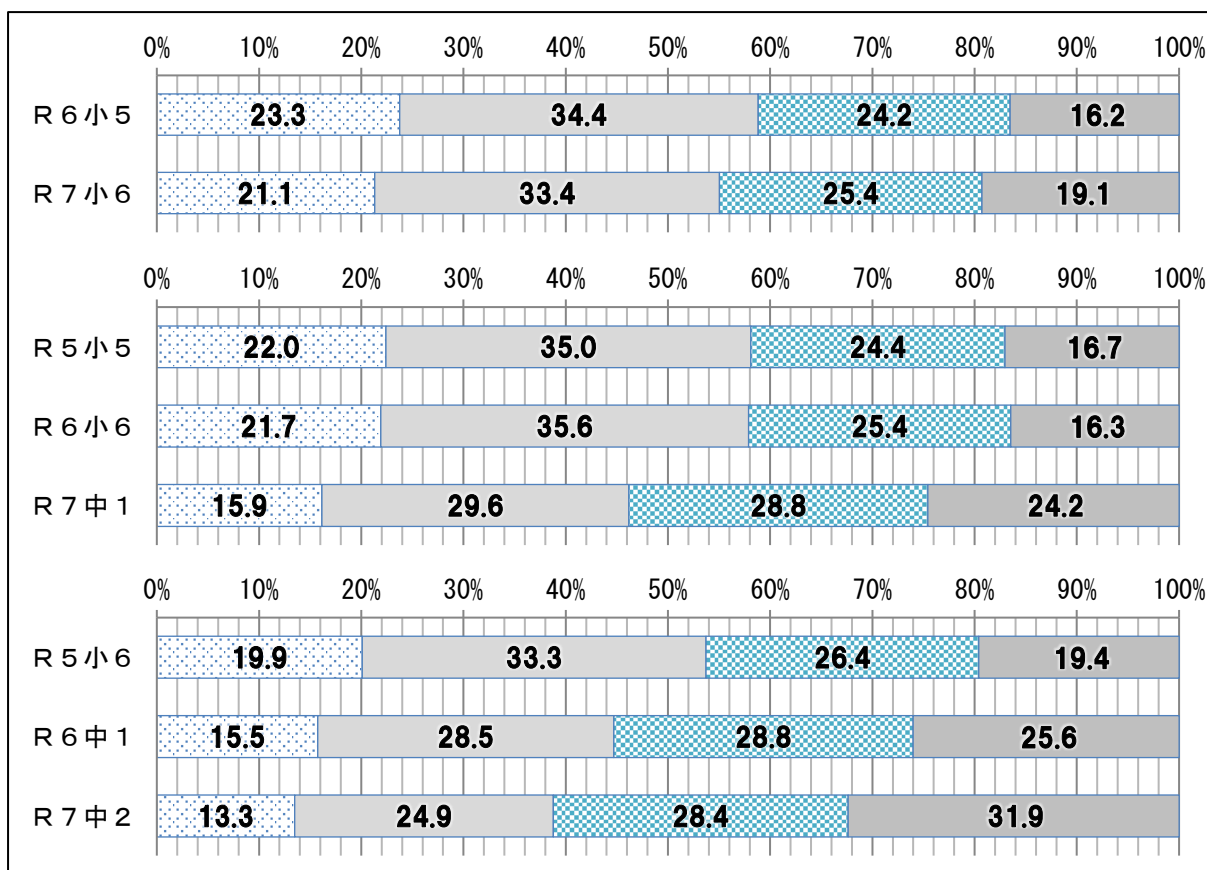
- 肯定的な回答の割合は、全ての学年で60%未満であり、学年が進むにつれて減少している。

【今年度調査の結果】

小29 中30 あなたの学校では、保護者や地域の人々が参加して新体力テストを行うなど、家庭と地域が一緒になって体力向上の取組を進めていますか。



【同一児童生徒の経年比較】



Ⅳ 学力向上に向けた今後の取組

県教委、各市町教委、各学校が連携して、以下の二つに取り組む。

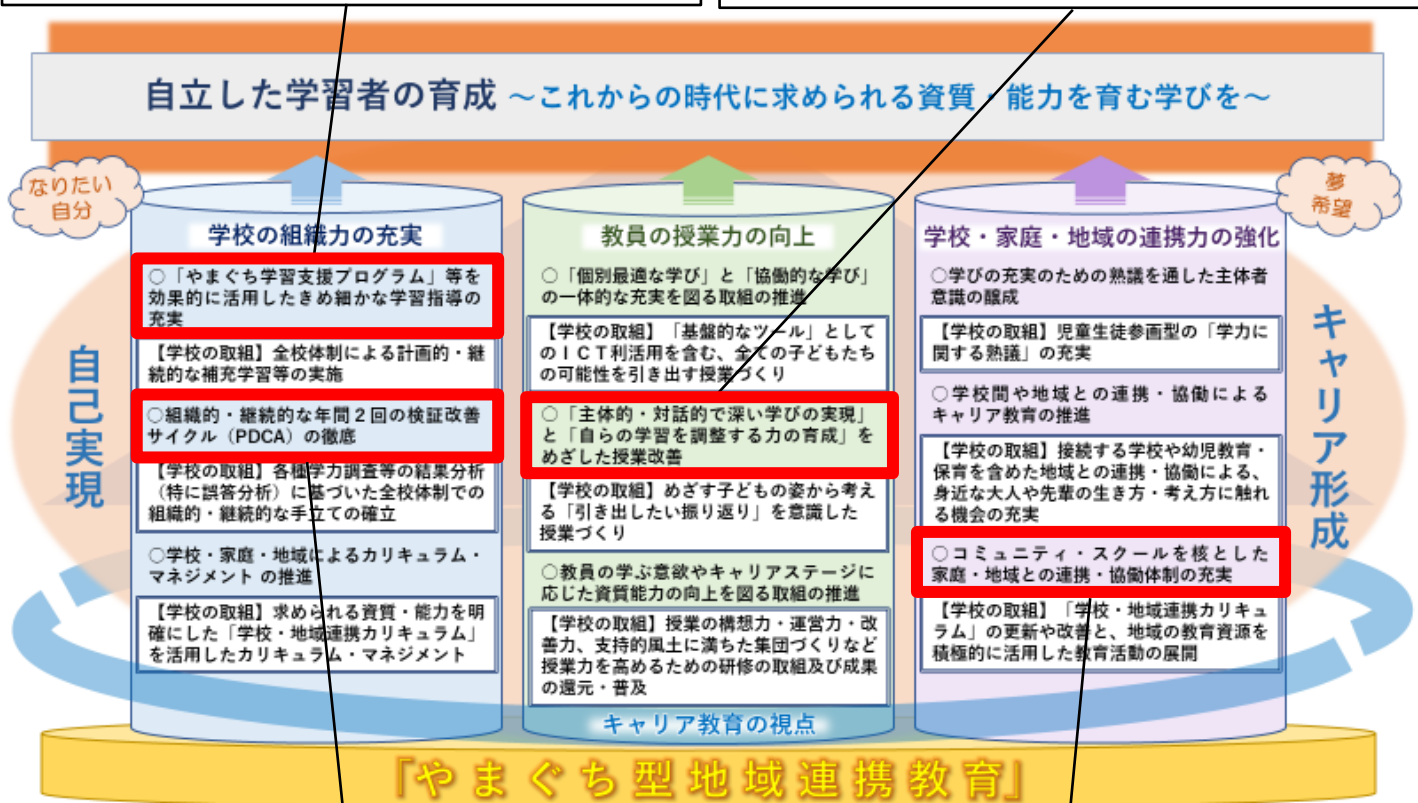
なお、取組を推進する際には、「取組の意義や目的を確認しながら推進すること」「取組の進捗状況を確認すること」を重視する。

- ◆ 「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とし、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点からの取組を推進するとともに、検証改善委員会からの客観的評価を受け、検証改善サイクルに取り組む。
- ◆ 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図る。

学力向上に関する取組の中で、今回の結果を受けて特に重点をおいて取り組むこと

今回の調査で課題のあった問題を克服することに特化した「やまぐち子学習プリント DASH」を提供し、今の学年で身に付けるべきことが着実に身に付くよう支援します。

子どもが、「めあてに対して何ができるようになったか、分かるようになったか」「友達や先生、地域の人などとの関わりによって気付いたこと」「次は、どのようなめあてをもって学んでいきたいか」等の視点で学習を振り返りながら資質・能力を高めていけるよう、授業改善の取組を支援します。



山口県学力定着状況確認問題～校内研修資料～を提供し、課題改善に向けたプロセスの例を示すことで、校内研修等において結果分析ができるよう支援します。

子どもたちの学習意欲の向上に向けて、学校・家庭・地域が連携・協働しながら、「学校・地域連携カリキュラム」の更新や改善を進めることができるよう支援します。

報告事項 4

令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

学校安全・体育課

1 調査名

令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

2 調査の概要

(1) 調査主体 スポーツ庁

(2) 調査期間 令和 7 年 4 月～令和 7 年 7 月末

(3) 調査内容

調査対象	○ 国公立の小学校 5 年生 ○ 国公立の中学校 2 年生
調査方式	○ 対象学年の全児童生徒を対象に全国悉皆調査
調査内容	○ 実技に関する調査 ・ 小学校 8 種目 ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20m シャトルラン ⑥50m 走 ⑦立ち幅とび ⑧ソフトボール投げ ・ 中学校 8 種目 ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤持久走 (男子 1500m、女子 1000m) 又は 20m シャトルラン ⑥50m 走 ⑦立ち幅とび ⑧ハンドボール投げ ○ 質問紙調査 ・ 児童生徒質問紙 (運動習慣、生活習慣等に関するもの) ・ 学校質問紙 (子供の体力向上や運動習慣の確立に向けた学校の取組等に関するもの)

(4) 備考

- ・ 本調査は H20 年度から国公立の小学校 5 年生、中学校 2 年生の全ての児童生徒を対象とした悉皆調査として開始 (本資料中の「過去最高値」とは、本調査が始まった H20 年度からの最高値のことを示す。)

※H22・24 年度は抽出調査、H23・R2 年度は調査中止

- ・ 各種目の結果を 10 点満点で換算し、「体力合計点」(合計 80 点満点) として表記
- ・ 全国数値については、国公立学校の児童生徒の数値、山口県数値については、公立学校の児童生徒の数値

3 調査学校数及び児童生徒数

校 種	区 分	調査学校数	調査児童生徒数 (人)		
			男子	女子	合計
小学校	R 7 山口県	256	4,669	4,350	9,019
	R 7 全国	18,656	470,224	454,752	924,976
中学校	R 7 山口県	143	4,507	4,397	8,904
	R 7 全国	10,000	442,851	425,075	867,926

4 児童生徒の体力の状況

(1) 各種目結果及び体力合計点

R 6 を上回る

全国平均値以上

校種	性別	区分	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	持久走 (秒)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール ソフトボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
小学5年生	男	R 6 山口県	15.7	19.1	32.4	41.0	49.9		9.6	149.6	20.7	52.2
		R 7 山口県	15.7	19.4	32.4	41.7	51.3		9.5	151.0	21.4	53.0
		R 7 全国	16.0	19.5	33.9	40.9	47.9		9.5	151.0	21.1	53.0
	女	R 6 山口県	15.5	18.0	36.9	39.3	41.0		9.8	141.9	13.0	53.8
		R 7 山口県	15.3	18.5	36.2	39.8	41.8		9.8	142.8	13.2	54.3
		R 6 全国	15.6	18.4	38.2	38.7	36.9		9.8	142.4	13.1	54.0
中学2年生	男	R 6 山口県	28.8	26.2	44.0	52.7	82.5	402.5	8.0	197.1	20.4	42.5
		R 7 山口県	28.5	26.1	44.8	53.0	80.5	411.2	8.0	196.2	20.2	42.3
		R 7 全国	28.9	26.0	45.0	51.6	78.6	410.2	8.0	197.5	20.7	42.1
	女	R 6 山口県	23.0	21.9	45.9	47.3	54.3	303.1	8.9	167.9	12.5	48.6
		R 7 山口県	23.0	21.7	47.0	47.2	52.8	308.2	9.0	166.7	12.5	48.2
		R 7 全国	23.1	21.6	47.0	45.8	50.4	310.3	9.0	166.4	12.4	47.5
体力要素	筋力		○	○					○	○	○	
	柔軟性				○							
	敏捷性					○			○			
	持久力			○			○	○				
	調整力					○				○	○	

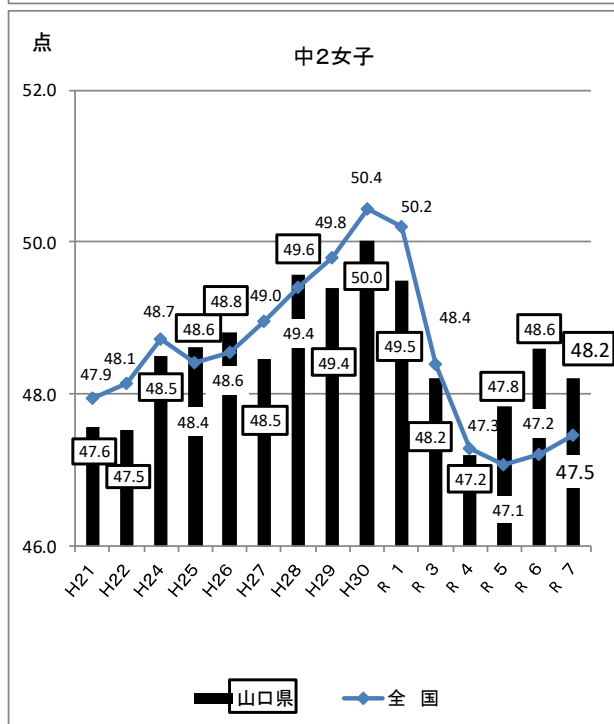
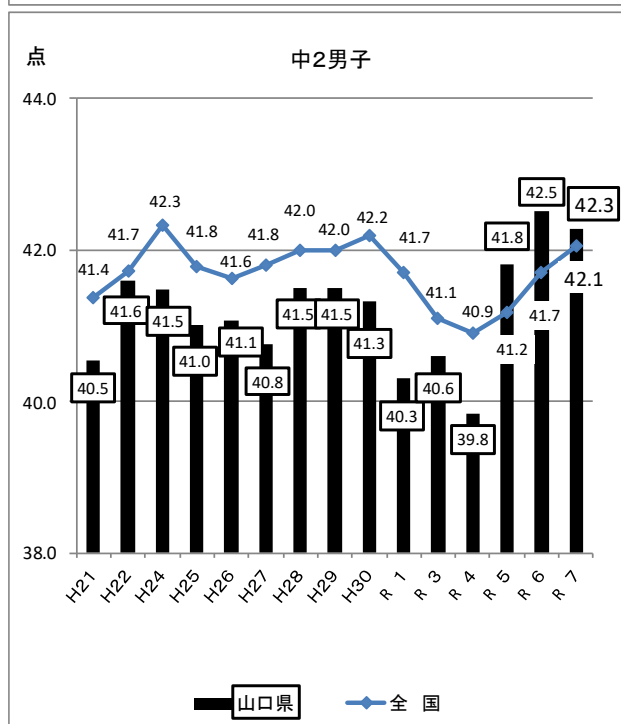
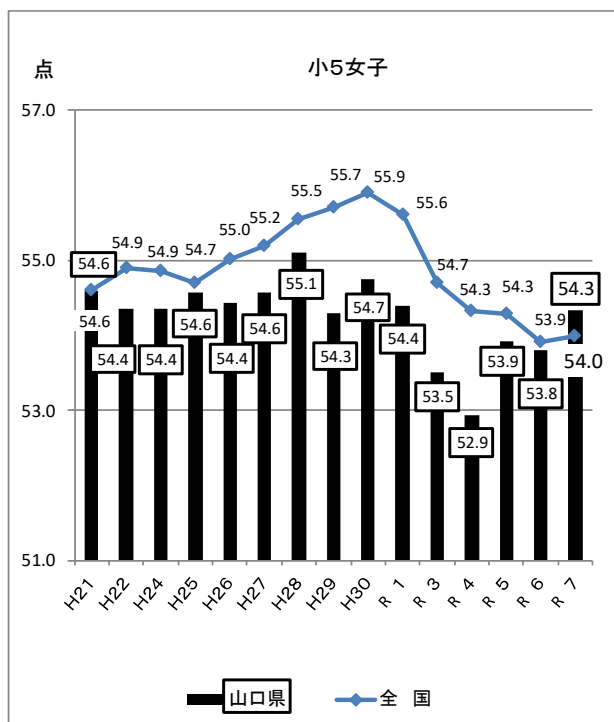
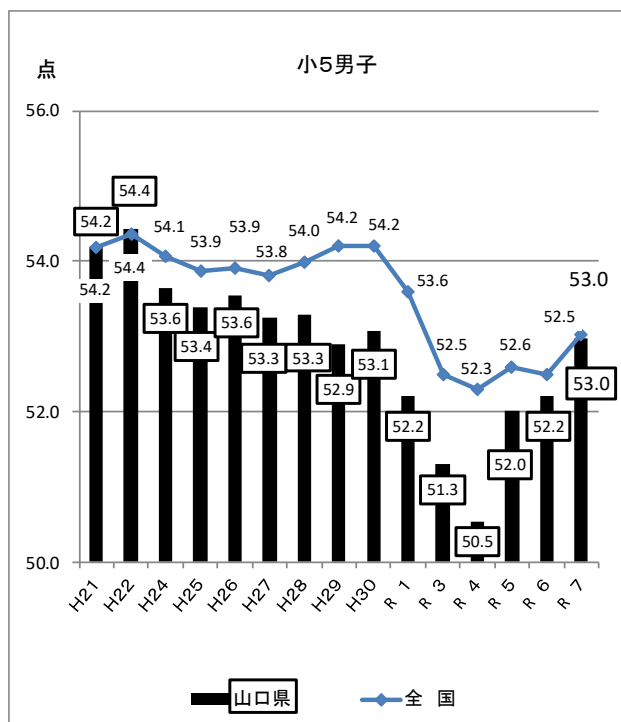
※本県過去最高値を記録 小5女子：上体起こし

中2男子：長座体前屈、反復横とび 中2女子：長座体前屈

※ 中学生は「20mシャトルラン」または、「持久走」のどちらかを選択して実施

※「ソフトボール投げ」は小学生、「ハンドボール投げ」は中学生

(2) 体力合計点の推移



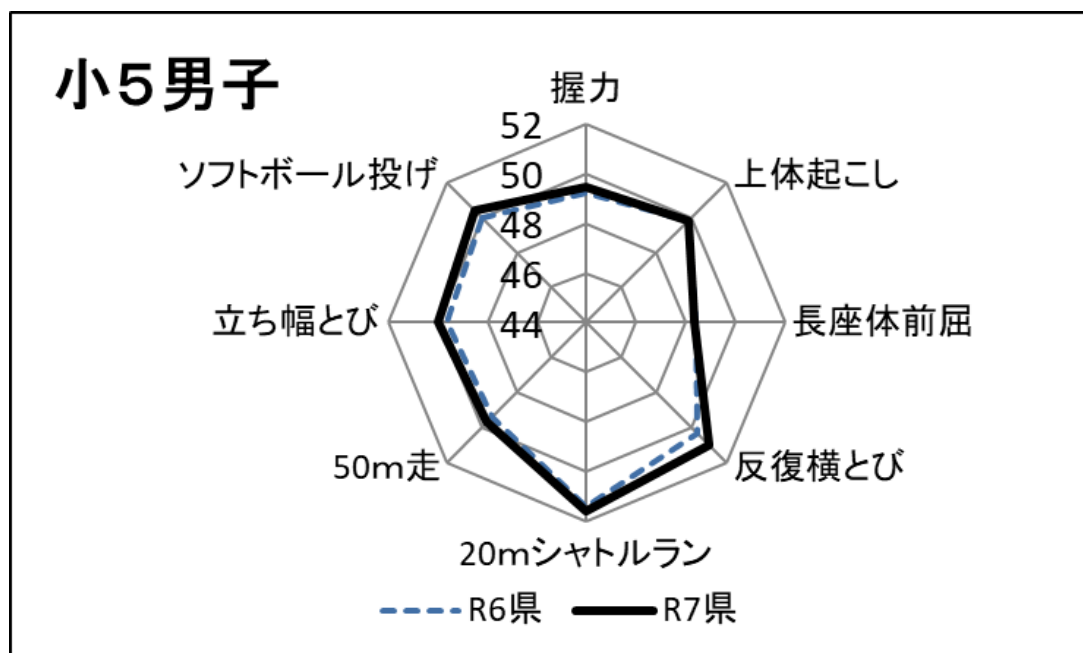
山口県 R 6 を上回る

全国平均値以上

令和6年度との比較							
小5男子	↑	小5女子	↑	中2男子	↓	中2女子	↓

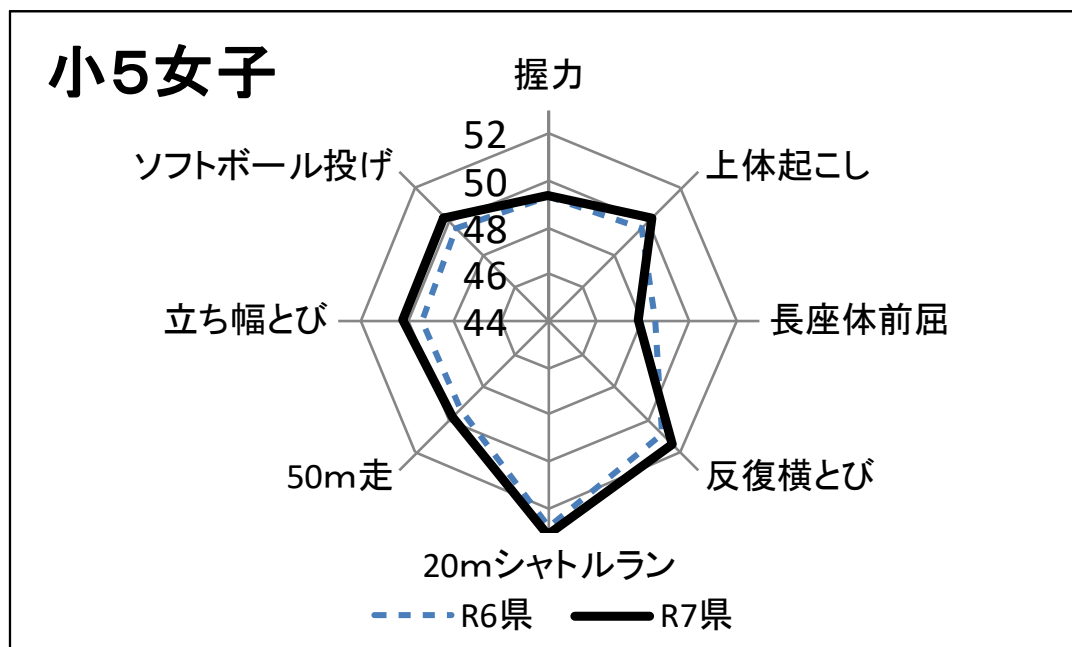
全国との比較							
小5男子	↓	小5女子	↑	中2男子	↑	中2女子	↑

(3) 令和6年度の児童生徒と令和7年度の児童生徒の各種目の比較
 【レーダーチャート：全国平均を50としたときのT得点による比較】



<小5男子>

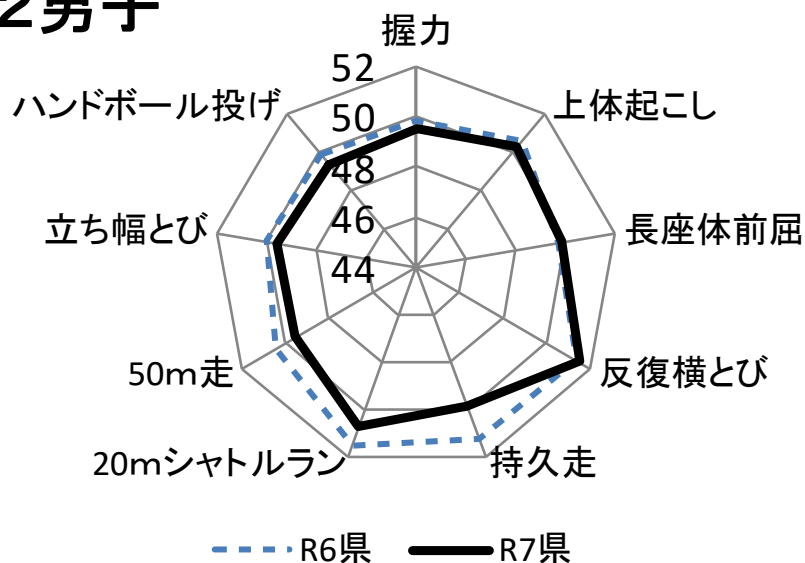
- 本県の令和6年度と記録と比較して、長座体前屈以外の7種目で上回った。
- 反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げについては、全国平均を上回った。



<小5女子>

- 本県の令和6年度と記録と比較して、長座体前屈以外の7種目で上回った。
- 上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げについては、全国平均を上回った。

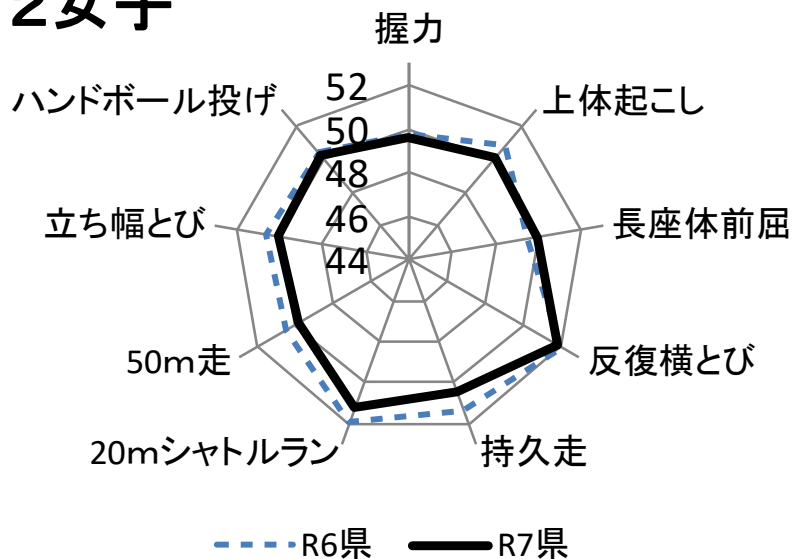
中2男子



<中2男子>

- 本県の令和6年度の記録と比較して、長座体前屈、反復横とびで上回った。
- 上体起こし、反復横とび、20mシャトルランについては、全国平均を上回った。

中2女子



<中2女子>

- 本県の令和6年度の記録と比較して、長座体前屈、ハンドボール投げで上回った。
- 握力、長座体前屈、50m走以外の種目については、全国平均を上回った。

5 児童生徒の体格の状況

R 6 を上回る

全国平均値以上

校種	性別	区分	身長 (cm)	体重 (kg)	身長・体重のバランスのとれた児童生徒の割合 (%) ※
小学5年生	男	R 6 山口県	138.7	34.7	84.6%
		R 7 山口県	138.8	34.3	84.6%
		R 7 全国	139.5	35.0	84.0%
	女	R 6 山口県	140.1	34.4	88.6%
		R 7 山口県	140.0	34.1	87.9%
		R 7 全国	140.8	34.7	87.2%
中学2年生	男	R 6 山口県	160.5	49.4	87.0%
		R 7 山口県	160.3	49.7	86.4%
		R 7 全国	161.4	50.1	86.7%
	女	R 6 山口県	154.3	46.4	88.9%
		R 7 山口県	154.3	46.4	88.5%
		R 7 全国	155.1	46.9	88.5%

※身長と体重のバランスのとれた児童・生徒の割合

全体から、肥満傾向及び痩身傾向の児童・生徒の割合を差し引いた割合

算出式：肥満度 (%) = [実測体重 (kg) - 身長別標準体重 (kg)] ÷ 身長別標準体重 (kg) × 100

痩身傾向	普通	肥満傾向
肥満度が-20%以下	-19%以上 19%以下	肥満度が 20%以上

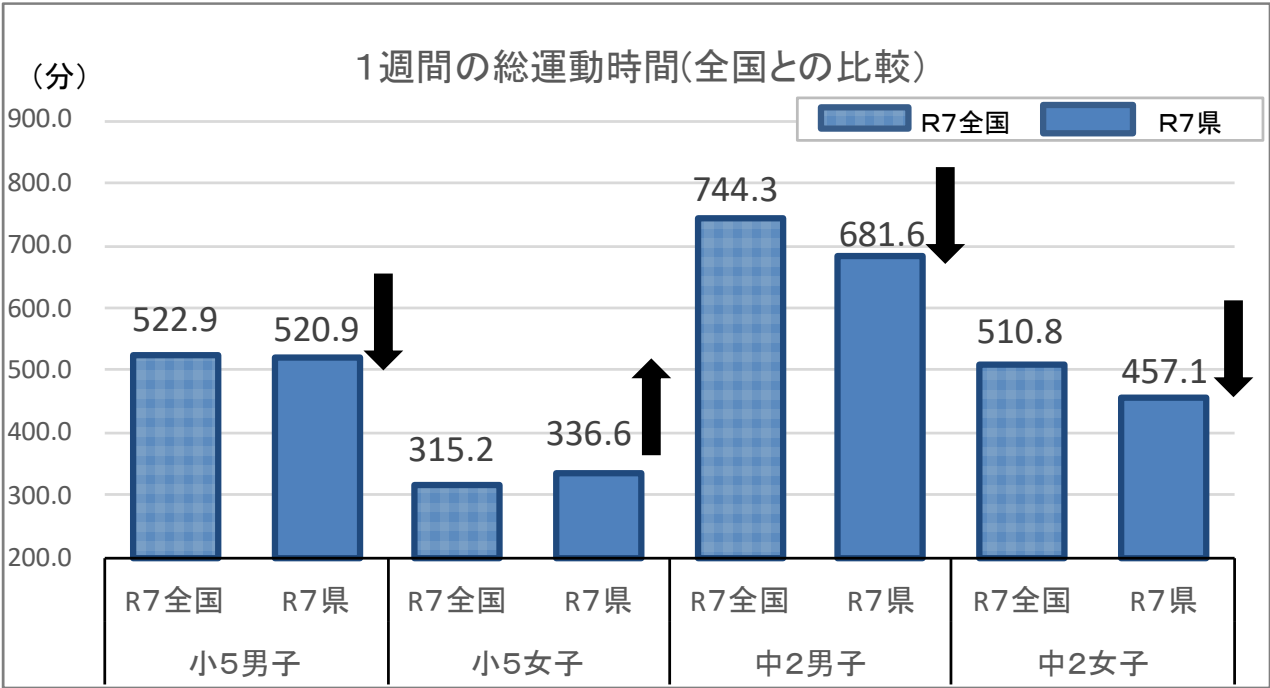
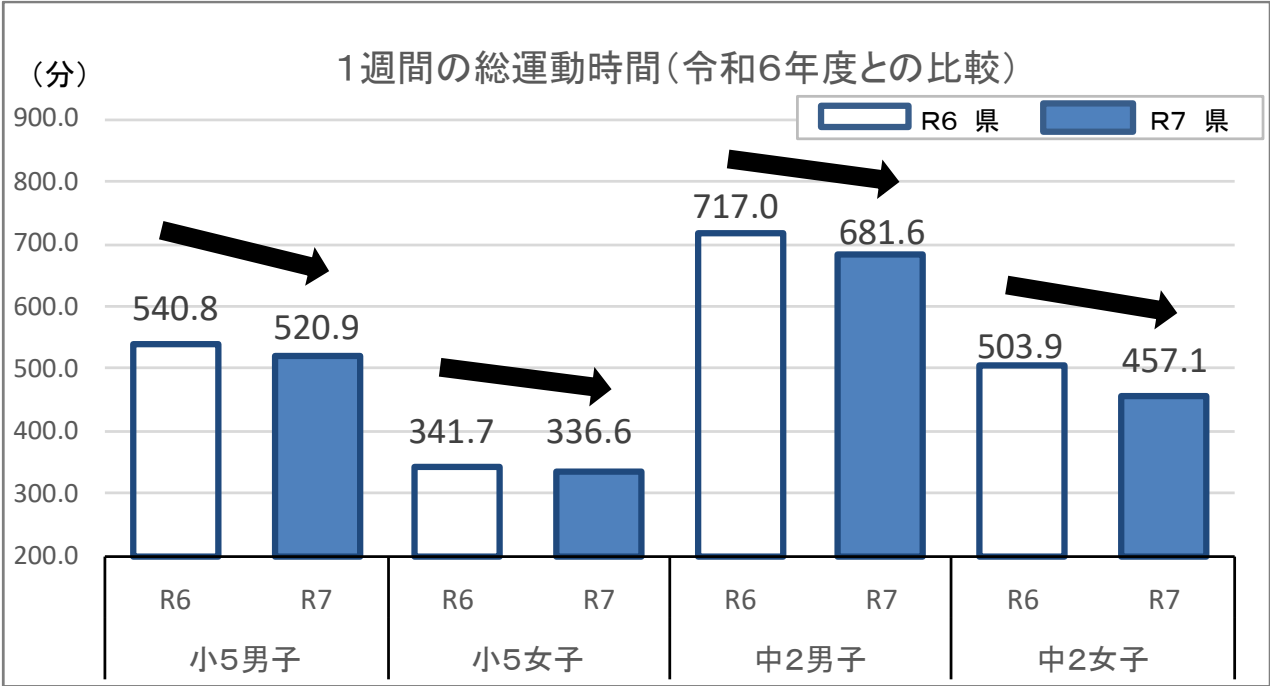
出典：「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」（公財）日本学校保健会

令和6年度との比較				
	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
身長	↑	↓	↓	↑
体重	↓	↓	↑	↑
身長と体重のバランスのとれた児童生徒	→	↓	↓	↓

全国との比較				
	小5男子	小5女子	中2男子	中2女子
身長	↓	↓	↓	↓
体重	↓	↓	↓	↓
身長と体重のバランスのとれた児童生徒	↑	↑	↓	↓

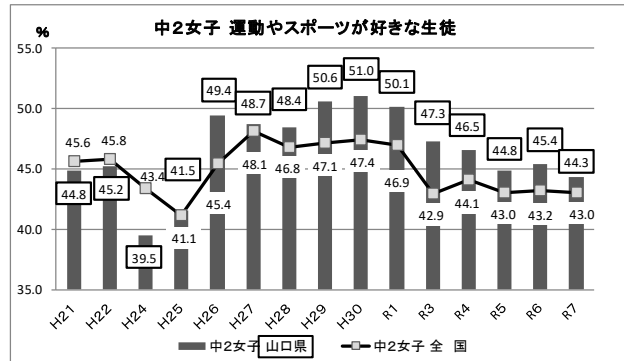
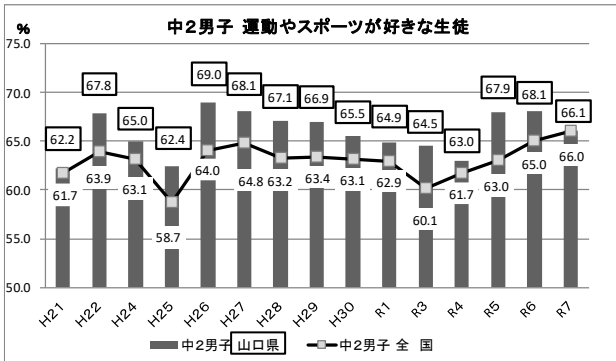
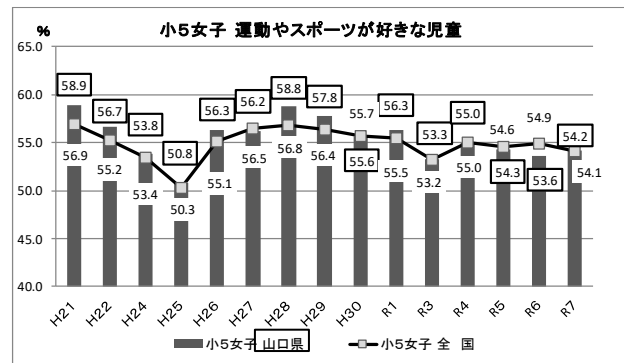
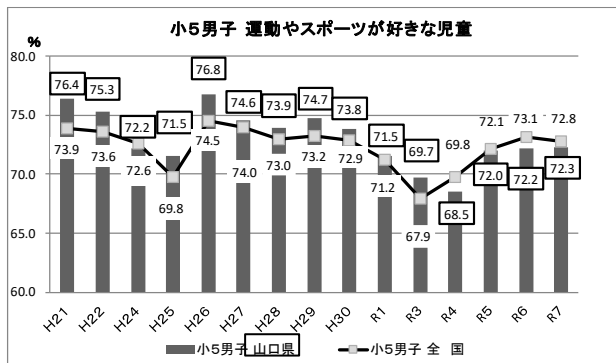
6 運動習慣等の状況

(1) 児童生徒の運動時間（体育・保健体育の授業を除く）



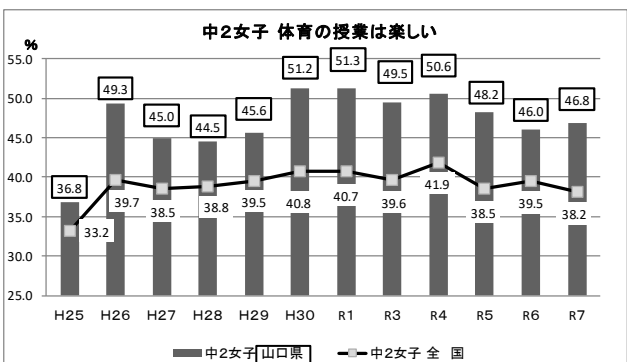
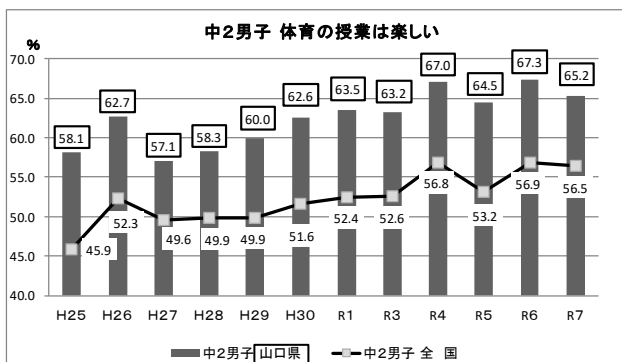
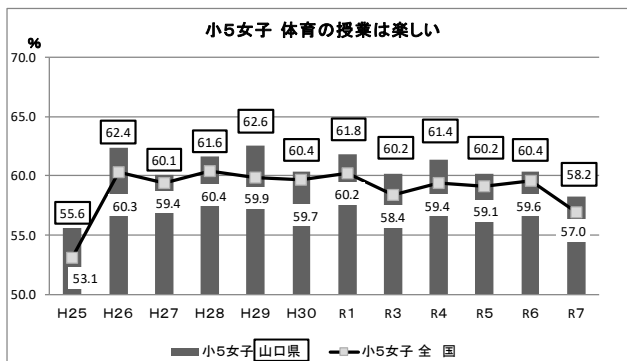
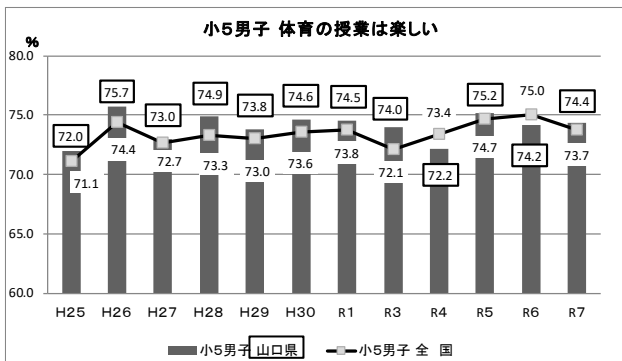
7 運動やスポーツに対する意識

(1) 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合



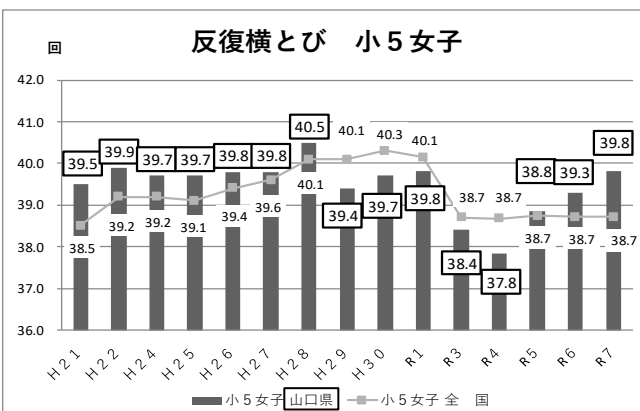
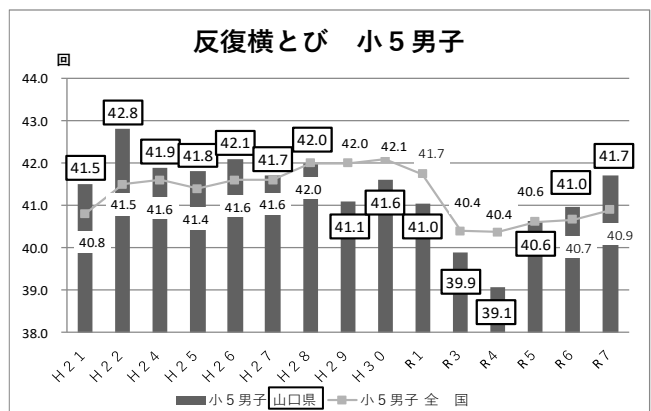
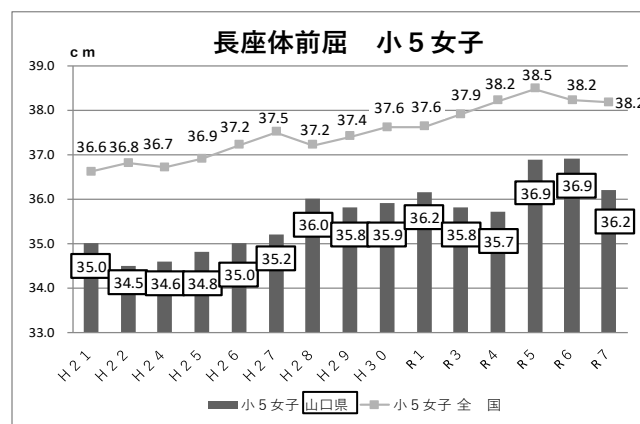
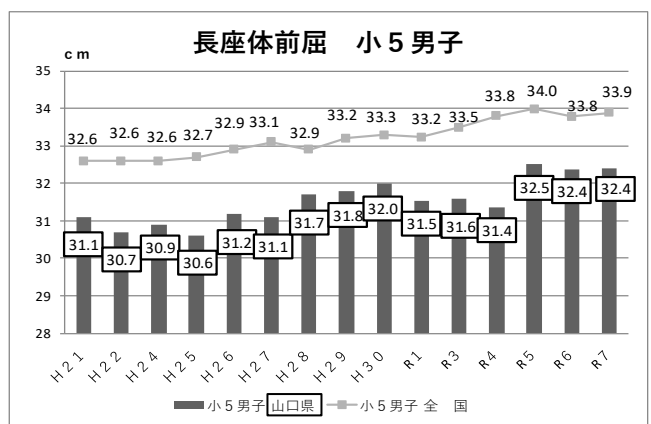
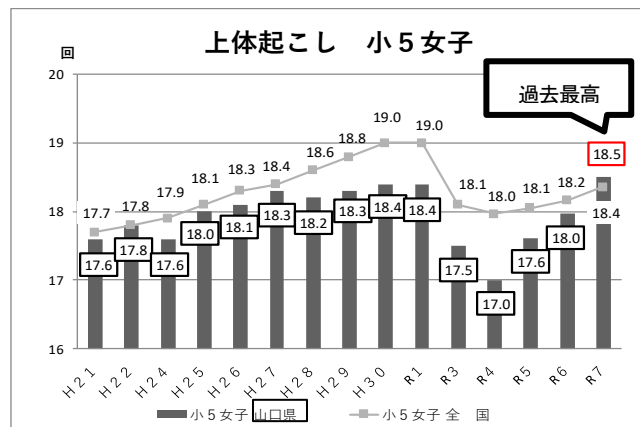
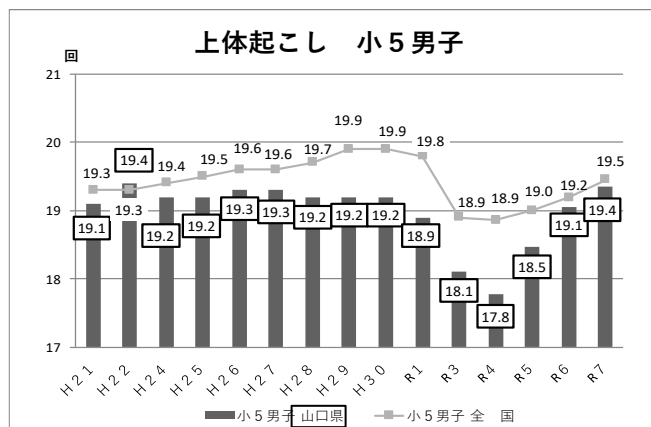
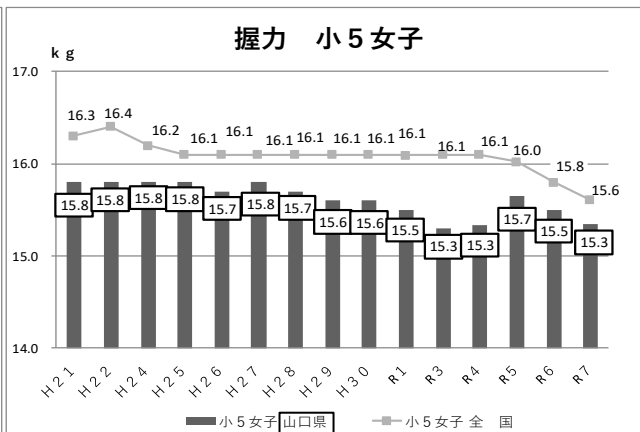
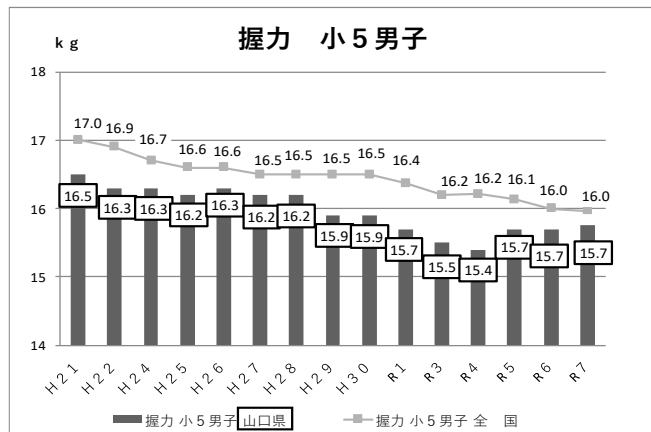
令和6年度との比較	小5男子	↑	小5女子	↑	中2男子	↓	中2女子	↓
全国との比較	小5男子	↓	小5女子	↑	中2男子	↑	中2女子	↑

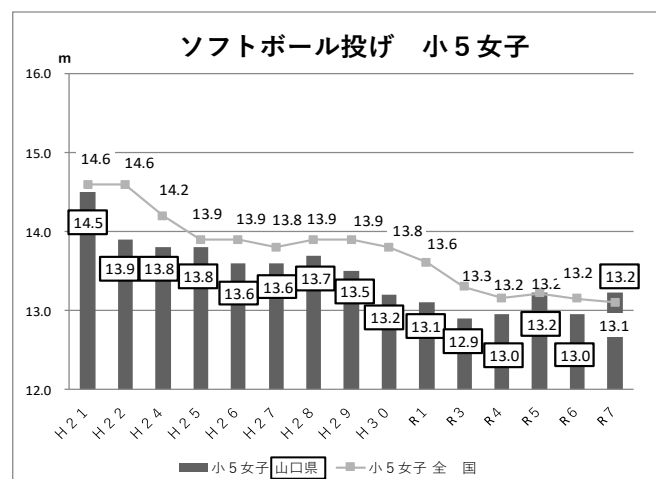
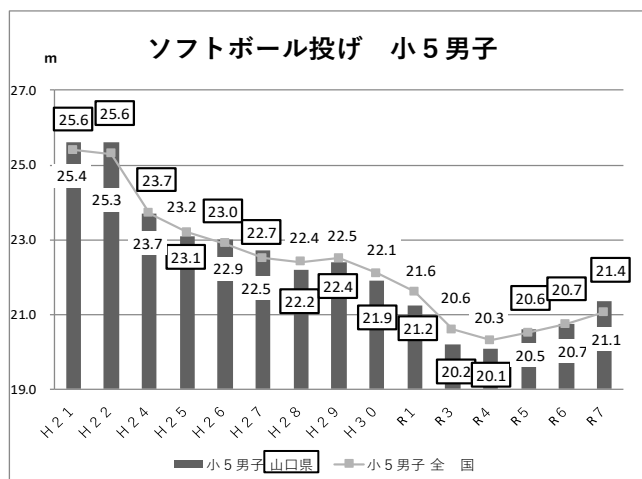
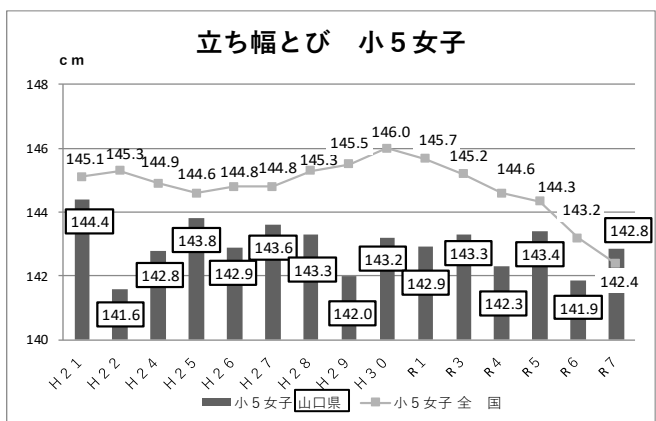
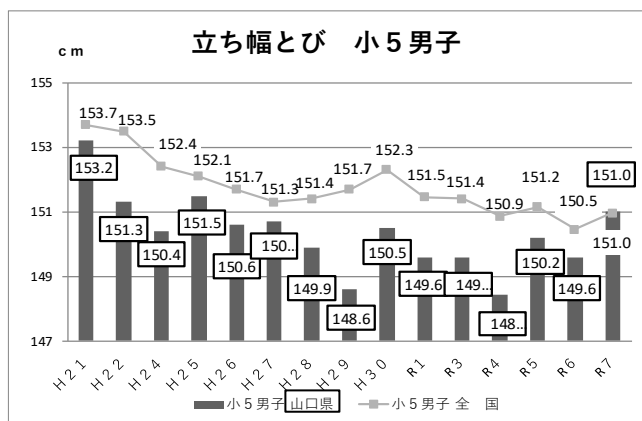
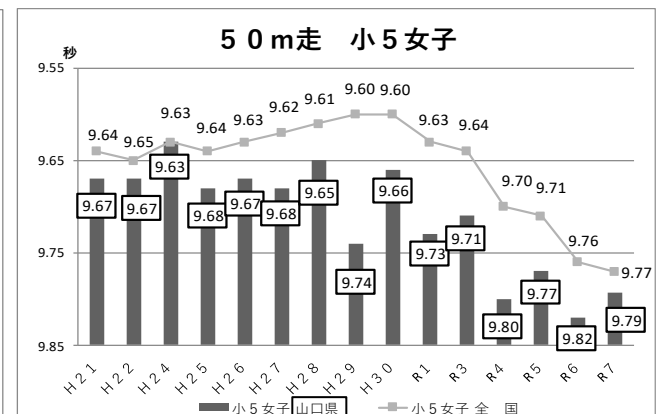
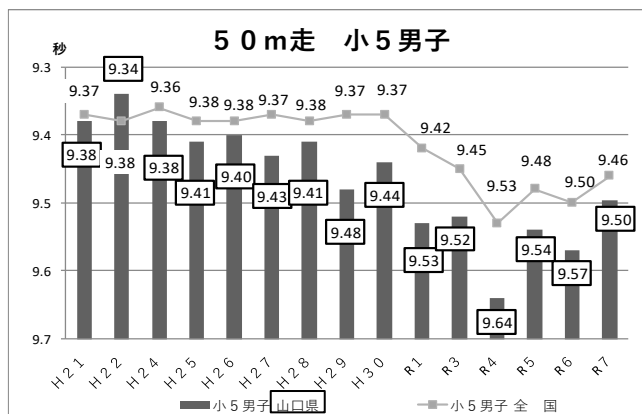
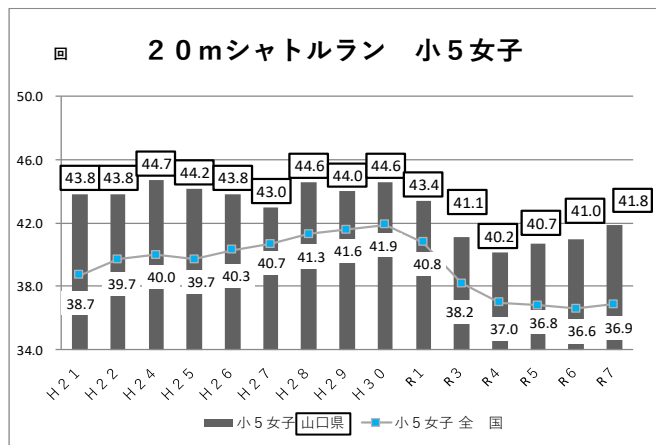
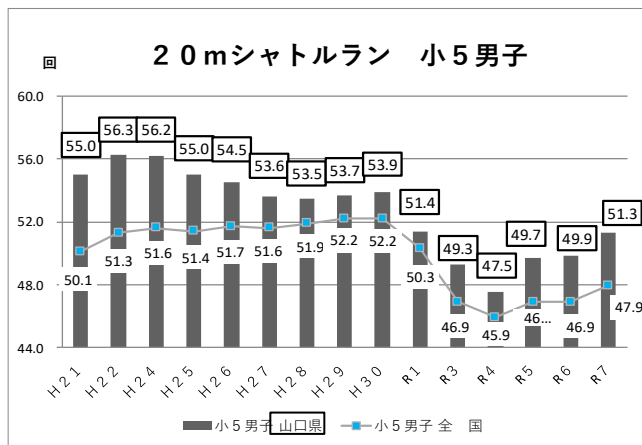
(2) 体育（保健体育）の授業が楽しいと思う児童生徒の割合



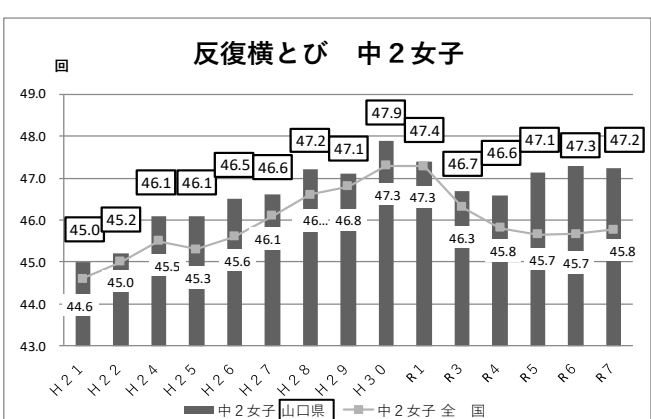
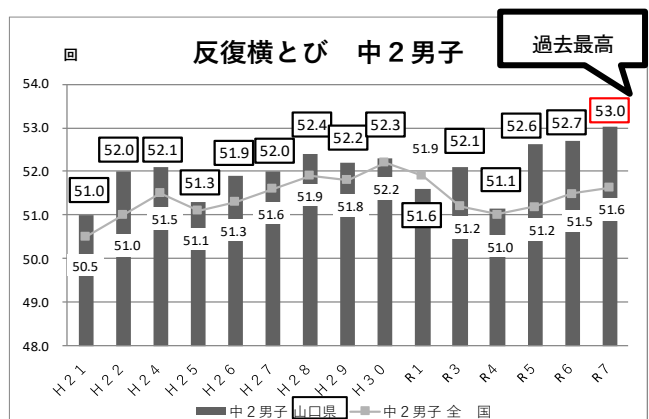
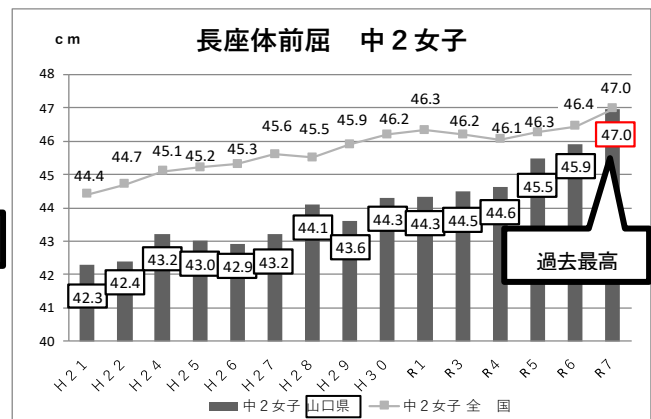
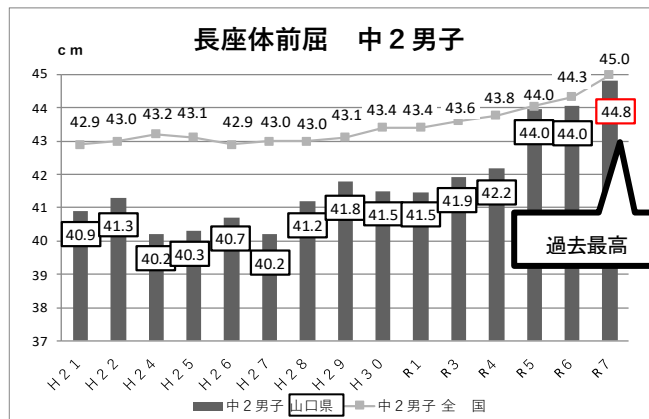
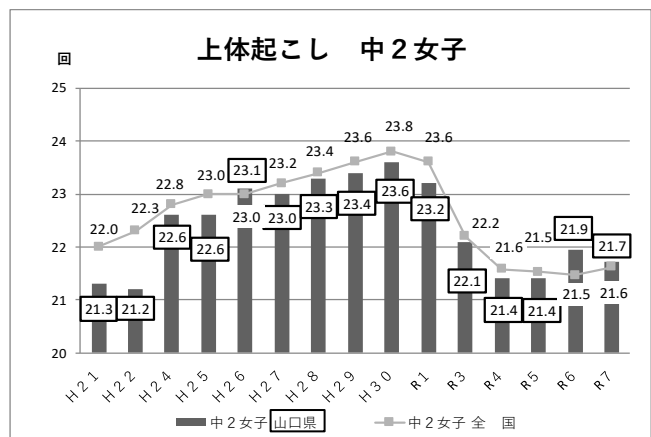
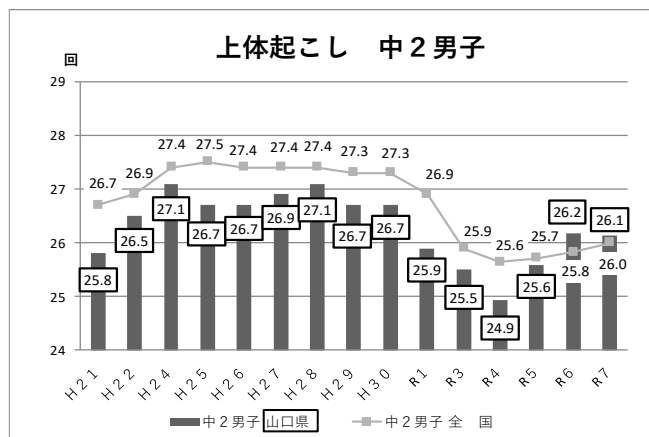
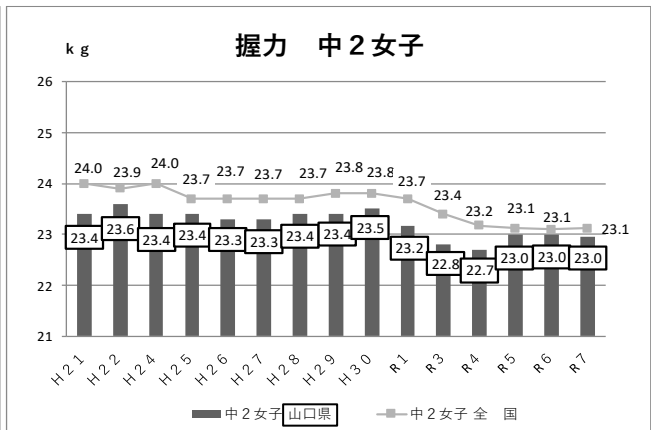
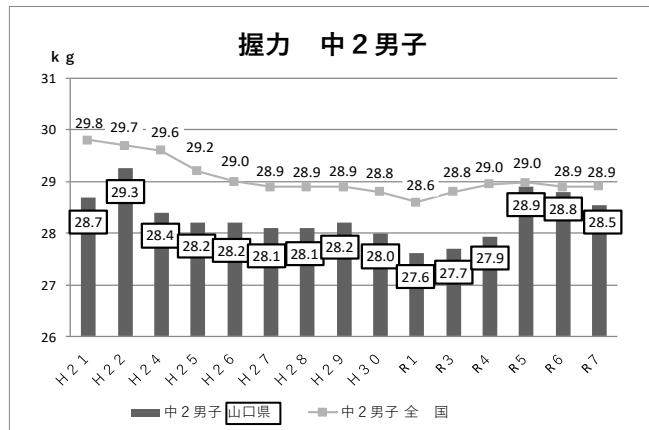
令和6年度との比較	小5男子	↑	小5女子	↓	中2男子	↓	中2女子	↑
全国との比較	小5男子	↑	小5女子	↑	中2男子	↑	中2女子	↑

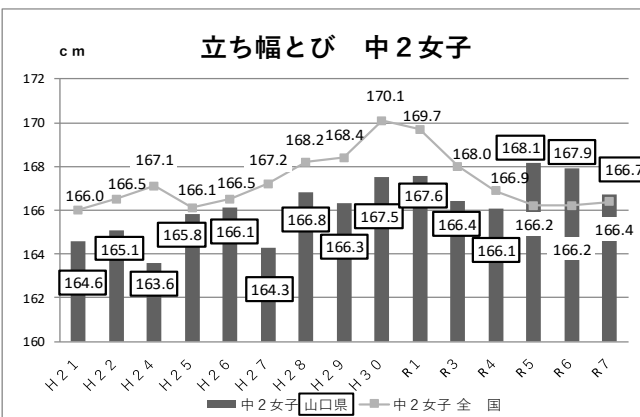
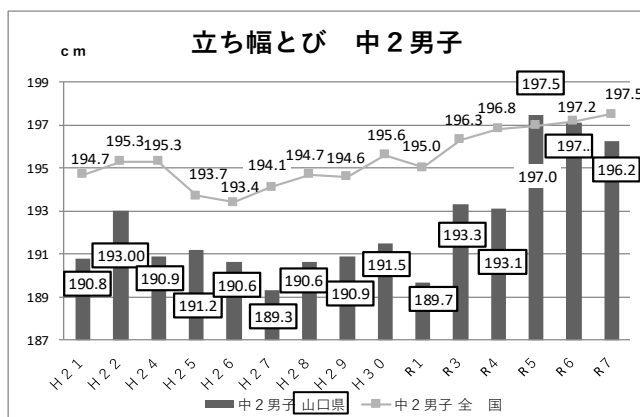
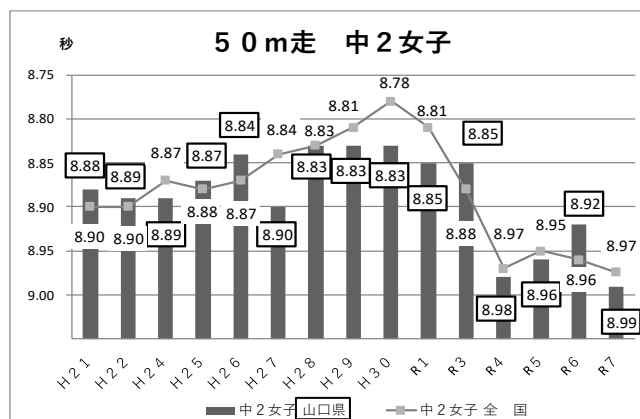
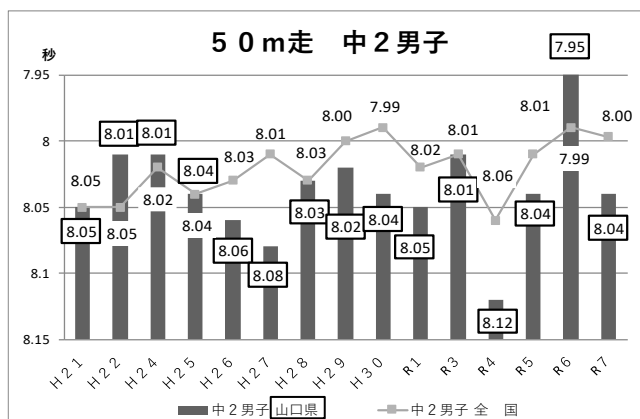
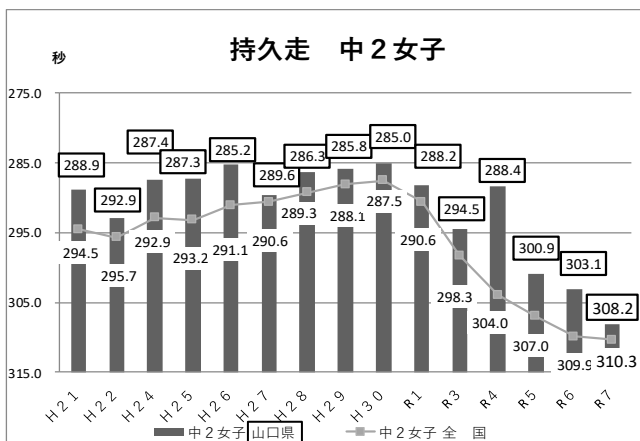
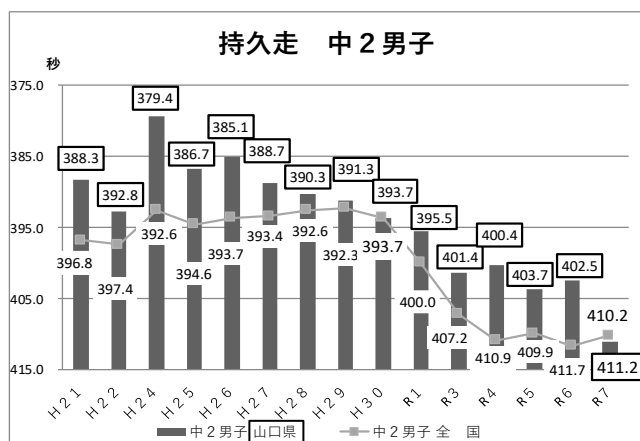
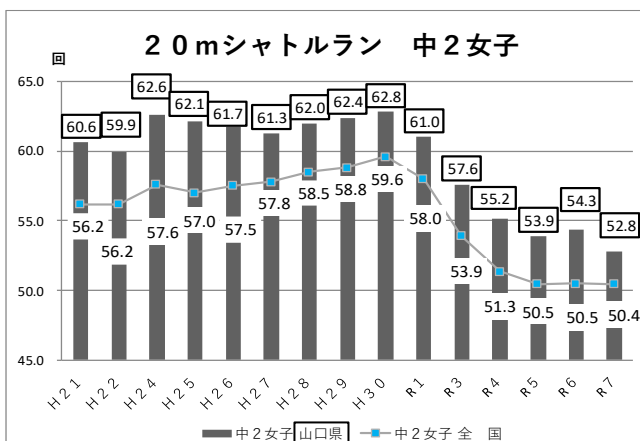
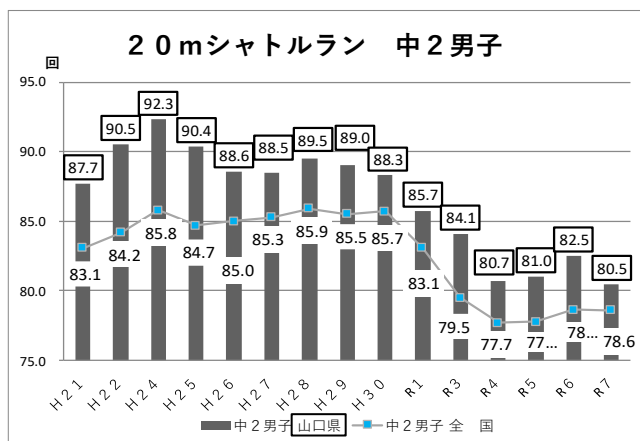
資料 各種目の結果と推移【小学校】

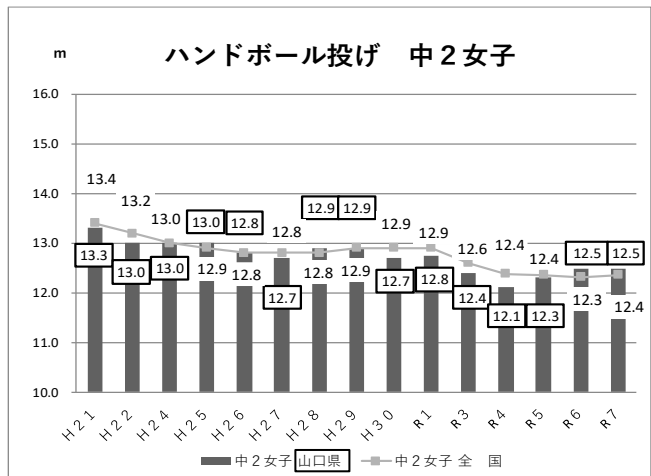
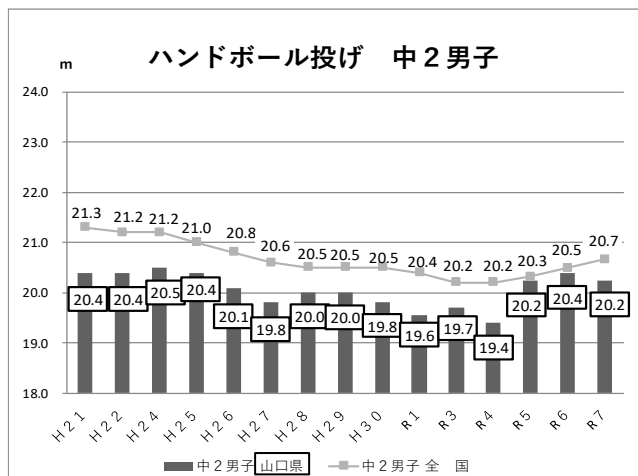




各種目の結果と推移【中学校】

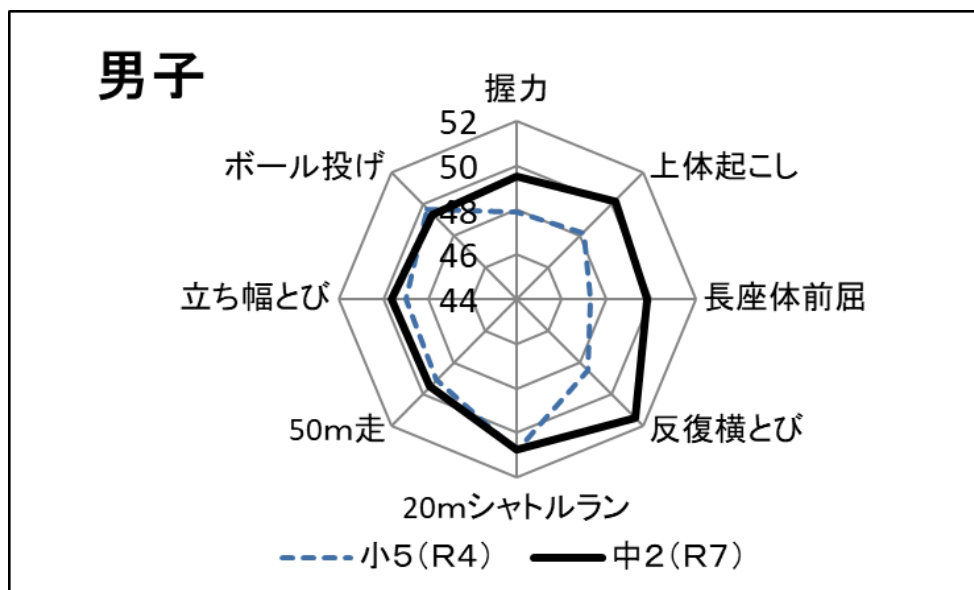






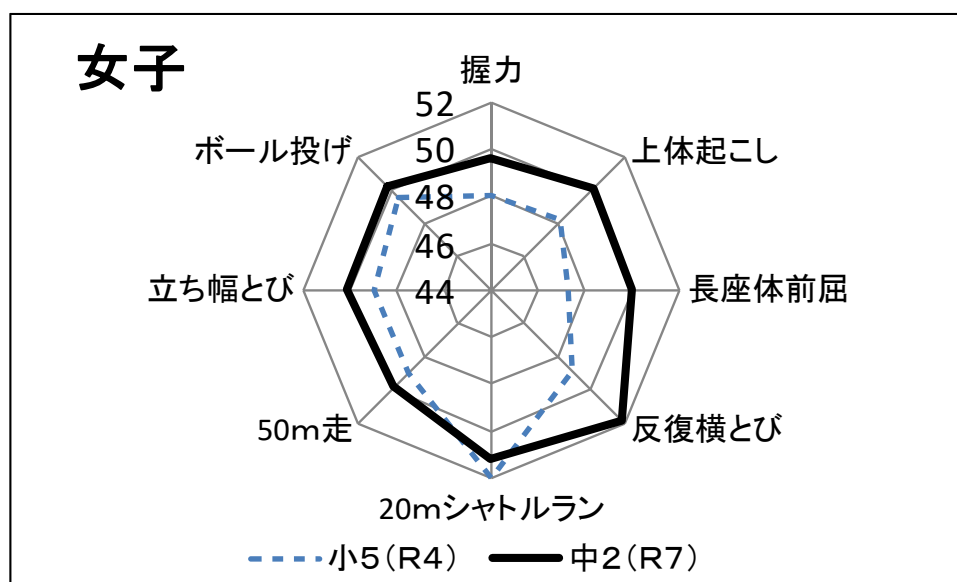
参 考 現中学校2年生（令和7年度）の小学校5年生時点（令和4年度）との比較

【レーダーチャート：全国平均を50としたときのT得点による比較】



＜男子＞

- 小学校5年生の時と比較して、20mシャトルラン、ハンドボール投げ以外で向上した。
- 小学校5年生の時には、全国平均を上回った種目は、20mシャトルランのみであったが、中学校2年生になり、20mシャトルランに加え、上体起こし、反復横とびについても、全国平均を上回った。
- 長座体前屈、反復横とびは、本県の過去最高値を記録した。



＜女子＞

- 小学校5年生の時と比較して、20mシャトルラン以外の種目で向上した。
- 小学校5年生の時には、全国平均を上回った種目は、20mシャトルランのみであったが、中学校2年生になり、20mシャトルランに加え、上体起こし、反復横とび、立ち幅跳び、ボール投げについても、全国平均を上回った。
- 長座体前屈は、本県の過去最高値を記録した。